

平成24年度事業報告

概況

《事業実施の総括》

公益財団法人への移行初年度の平成24年度においては、公益法人改革により必置機関となった評議員会を設置し、当該機関の意見、意向等に沿って、業務執行機関である理事会における決定に基づいて、業務を運営、実施しました。

機構の事業運営に当たっては、県内中小企業を取り巻く経営環境が大きく変化するなかにあつて、県内の中核的支援機関としての機能を果たすものとなるよう、県内企業の経営基盤の強化の支援、県内企業の技術及び経営の革新の支援、高度産業人材等の育成の支援、産学金官連携促進の支援の4項目に重点的に取り組んできました。

県内企業の経営基盤の強化の支援では、

- ① 販路開拓等の支援においては、自立型企业への転換を見据えて、専門展示会への出展や提案型商談会の開催を積極的に進めました。
- ② 海外展開の支援においては、平成23年7月に開設した「とっとり国際ビジネスセンター」を中心として、食品関係を中心に専門展示会への出展を推進するとともに、コーディネーター等が企業の海外展開を支援しました。

県内企業の技術及び経営の革新の支援では、

- ① 新たに「創業支援センター」を設置し、とっとり発ベンチャー企業補助金による助成やビジネスプランコンテストの開催を行うとともに、ベンチャーマーケットへの参加を支援しました。
- ② 平成24年度新たにLED産業競争力強化事業に取り組むとともに、引き続き、環境技術や地域資源の活用、農商工連携の促進、知財の活用等により、新分野への進出や新技術の開発などを支援しました。

高度産業人材等の育成の支援では、

- ① 県内企業の経営者向けのトップセミナー等を開催するほか、経営革新計画推進の役割を担う中堅リーダーを育成する事業に新たにに取り組むとともに、
- ② 担い手人材の確保のため、インターンシップ事業を実施するとともに、工業系高等学校と産業界の連携を支援しました。

産学金官連携促進の支援では、

- ① 地域イノベーションシステム整備事業の総合調整機関として、県内外の企業と鳥取大学との共同研究を支援するとともに、
- ② とっとりバイオフィロンティアの管理運営を通じて、県内企業のバイオ専門人材の育成、施設・機器等の利用促進を実施しました。

また、公益法人の管理運営体制の強化のため、新たにプロパー職員2名を採用するなど、自主的・自律的な財団の運営体制の確保にも取り組みました。

そのような中であつて、生産拠点の海外進出や企業の再編、景気の低迷等により受注環境が悪化している企業に対し、緊急発注開拓プロジェクトとして、県外の取引先の開拓、受注量の拡大を進めるなど、県内の経済環境に即応した事業を進めました。

これらの事業実施に係る実績については、別表にとりまとめました。

なお、平成24年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので、附属明細書は作成しません。

《今後の業務運営に当たって留意する事項》

平成24年度事業・業務の運営については、「第2 事業活動の状況」で説明しますが、全体として適切に実施しました。

なお、今後の業務運営に当たっては、次のような事項に留意して実施することとします。

- ① 企業の支援に当たっては、自立型企业への成長を促す施策への重点化が必要であること。発注開拓・受注促進や展示会への出展等の支援から提案型商談会への支援へ重点化することにより、企業が自ら受注量を確保できる体質となるよう支援の方向を発展させます。今後、チーム型支援を取り入れることとし、これらの支援に当たって、必要なメニューの再構築を行います(発注開拓、受注促進のあり方、ものづくりカイゼン塾・専門家派遣事業、トップセミナー等)。
- ② ベンチャー企業の創出及びLED産業の競争力強化については、新規の体制及び事業実施について成果を見ているところです。今後、企業のニーズを踏まえて、支援を強化するとともに、既存の企業へのフォローも充実することとします。
- ③ 太陽光発電システム施工・維持管理研修及び大学生等のインターンシップ事業については、機構の事業として再構築していきます。研修等による基本的な知識の習得と企業の発展の方策が具体的に合致するものとなるよう、個別の企業支援において活用していきます。また、インターンシップ事業については、大学との連携のもとに必要な事業を再構築していきます。
- ④ 農商工連携の促進、地域資源の推進事業においては、特に農商工連携促進ファンド事業で提案件数が減少しているところであり、関係機関と連携を保ちながら、新規の案件の掘りおこしを進めていきます。連携の促進に当たって、特に

出口戦略が必要となることから、農商工連携・地域資源担当コーディネーターや食品担当のマネージャーが強力にバックアップする等支援体制の再構築を図ります。

- ⑤ バイオフロンティア関連事業については、事業目標を明確にするとともに、成果を早急に出すことができるよう仕組みを再構築します。
- ⑥ 機構における事業が全体として、さらに有機的に組み合わせられることが必要と考えています。例えば、新たな販路開拓において、国内・海外の販路開拓に係る事業が組み合わせられること、「研究開発事業」に取り組む企業やベンチャー企業が「戦略的基盤技術高度化支援事業」(サポイン)に発展していくなど、企業の発展段階に応じて適切な措置を取ることができるよう支援します。
- ⑦ 最後に、機構の運営に当たっては、自主的・自立的な組織体制の整備や財源の基盤の充実が重要であることから、平成25年度において、基本的な事項のとりまとめを行うこととします。

第1 運営組織の状況

1 設立年月日

平成12年4月1日

2 定款に定める目的

この法人は、県内中小企業等の経営基盤の強化、技術及び経営の革新、人材の育成及び産学金官の連携促進等を支援することにより、県内における新たな産業の創出を推進するとともに、地域経済の活性化を図り、もって鳥取県の産業の発展に寄与することを目的とする。

3 定款に定める事業内容

- (1) 取引情報の収集及び提供並びに県内企業の取引先開拓の支援
- (2) 県内企業の経営改善の支援
- (3) 資金等の支援
- (4) 県内企業の国際ビジネスの支援
- (5) 大学等の研究成果及び特許等の技術移転の促進
- (6) 地域資源の活用並びに農商工の連携による事業化の促進
- (7) 県内企業の技術研究開発の支援及び技術交流の促進
- (8) 県内企業の高度産業人材等の育成
- (9) 県内企業の情報化の支援
- (10) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4 会員の状況

賛助会員数 655(平成25年3月31日現在)

5 主たる事務所・従たる事務所

- (1) 主たる事務所
鳥取県鳥取市若葉台南七丁目5番1号
- (2) その他の事務所
鳥取県米子市日下1239番地(西部支所)
鳥取県米子市西町86番地(バイオフロンティア推進室)
鳥取県境港市竹内団地255番地3(とっとり国際ビジネスセンター)

6 役員等に関する事項 (平成25年3月31日現在)

(1) 評議員(18人)

氏名	所属・役職名	住所(所在地)
青 砥 隆 志	鳥取県信用金庫協会会長	
青 木 茂	鳥取県信用保証協会会長	
石 丸 文 男	榊山陰合同銀行代表取締役専務執行役員	
川 口 正 男	鳥取県商工会連合会専務理事	
川 口 康 子	鳥取短期大学入試広報部長	
河 原 正 彦	鳥取環境大学副理事長	
児 嶋 太 一	鳥取ガス㈱代表取締役社長	
坂 出 徹	鳥取県商工会議所連合会幹事長	
佐々木 慶 宏	三洋テクノソリューションズ鳥取株式会社商品開発 GMG	
清 水 徹 男	鳥取県中小企業団体中央会専務理事	
成 田 裕 介	(独)日本貿易振興機構鳥取情報センター所長	

氏名	所属・役職名	住所(所在地)
新田 陽一	米子工業高等専門学校地域共同テクノセンター長	
林 喜久治	鳥取大学理事	
福嶋 登美子	日本ランドメタル(株)副社長	
法橋 誠	鳥取県統轄監	
宮崎 正彦	(株)鳥取銀行代表取締役頭取	
村江 清志	地方独立行政法人鳥取県産業技術センター理事長	
山根 昭彦	(株)氷温研究所代表取締役社長	

(2) 理事(14人)

氏名	所属・役職名	住所(所在地)
岡村 整 諳	鳥取県商工労働部長	
後藤 優	株式会社ケイズ専務取締役	
斎木 憲久	(株)明治製作所代表取締役社長	
坂本 トヨ子	(株)サカモト代表取締役社長	
武田 行雄	鳥取市経済観光部長	
羽馬 好幸	気高電機(株)代表取締役社長	
房安 寿美枝	いなば和紙協業組合総務部長	
向井 保	地方独立行政法人鳥取県産業技術センター理事	
森下 哲也	(株)ゼンヤクノー代表取締役社長	
森脇 孝	(協業) 菊水フォーミング理事長	
安田 晴雄	安田精工(株)代表取締役社長	
金田 昭	公益財団法人鳥取県産業振興機構理事長	
徳村 純一郎	公益財団法人鳥取県産業振興機構常務理事・事務局長	
小林 福実	公益財団法人鳥取県産業振興機構理事・事務局次長	

(3) 監事(3人)

氏名	所属役職名	住所(所在地)
泉谷 英明	(公財) 鳥取県産業振興機構監事	
上山 謙一	株式会社山陰合同銀行 鳥取県庁支店支店長	
小野澤 弘成	株式会社鳥取銀行 ふるさと振興部部長	

6 職員に関する事項

(平成25年3月31日現在)

所属等	常勤職員	任期付職員	非常勤職員	委託等	合計	
常勤役員	3				3	理事長、常務理事、理事
総務企画部	5	3	1	4	13	事務局次長1含む。
企業支援部	6	8	2		16	県派遣1含む。
新事業創出部	3	9	3		15	
創業支援センター	1	2	1		4	
企業再生支援室	—	5	1		6	
知的所有権センター	—	5	—		5	
バイオフィロンティア推進室	2	5	8		15	
とっとり国際ビジネスセンター	3	4	—		7	
西部支部	3	5	1		9	
合計	26	46	17	4	93	

注 6次産業化担当企画推進員 2(3/22 期間終了)

欠員 人材育成担当コーディネーター1、リサイクル製品販売開拓担当コーディネーター1

農商工連携販路開拓担当コーディネーター1

第2 事業活動の状況

事業名・内容	事業の実績等																																																																																														
県内企業の経営基盤の強化の支援																																																																																															
I 販路開拓や受注機会の拡大による取引量増大を通じ、県内企業の成長発展を支援する。																																																																																															
1 県内企業の受注促進・販路開拓の支援																																																																																															
<p>(1) 事業化育成支援事業 中小企業応援センターのコーディネーターが、県内企業等の経営課題に応じて外部専門家と連携し、新商品開発、販路開拓、情報化促進等取組を支援する。 また、起業家や中小企業者の新事業創出や新規市場開拓をサポートするため、専門分野（電機・機械、食品、企画・広告、次世代産業）別のマネージャーが関係機関と連携して事業化へ向けて支援する。</p>	<p>専門分野（電機・機械、食品、企画・広告、次世代産業）別のマネージャーが関係機関と連携して事業化へ向けて支援するとともに、県内企業等の経営課題に応じて外部専門家と連携し、新商品開発、販路開拓、情報化促進等の取組みを支援した。 延べ支援件数 1,065 件、実支援企業数 296 社</p> <p>○マネージャーの支援状況</p> <table border="1" data-bbox="454 638 1484 1153"> <thead> <tr> <th rowspan="2">担当・項目名</th> <th colspan="7">件数</th> <th rowspan="2">備考 (実支援企業数)</th> </tr> <tr> <th>合計</th> <th>製造業</th> <th>建設業</th> <th>卸売業</th> <th>小売業</th> <th>サービス業</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電機・機械</td> <td>152</td> <td>116</td> <td>16</td> <td></td> <td>1</td> <td>3</td> <td>16</td> <td>(80社)</td> </tr> <tr> <td>食品</td> <td>378</td> <td>125</td> <td>1</td> <td>16</td> <td>97</td> <td>37</td> <td>102</td> <td>(124社)</td> </tr> <tr> <td>企画・広告</td> <td>341</td> <td>218</td> <td>4</td> <td>23</td> <td>11</td> <td>41</td> <td>44</td> <td>(52社)</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>871</td> <td>459</td> <td>21</td> <td>39</td> <td>109</td> <td>81</td> <td>162</td> <td>(256社)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">次世代産業</td> <td>LED関係</td> <td>182</td> <td>182</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(31社)</td> </tr> <tr> <td>再生エネルギー関係</td> <td>11</td> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(8社)</td> </tr> <tr> <td>通信（スマートグリッド関係）</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(1社)</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>194</td> <td>194</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(40社)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,065</td> <td>653</td> <td>21</td> <td>39</td> <td>109</td> <td>81</td> <td>162</td> <td>296社</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎販路開拓・受注拡大に関する新たな事業・テーマ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○電機・機械担当マネージャー： 平成23年度から準備してきた「デンソー向け展示商談会」の実施等自立型企业への成長を支援 ○食品担当マネージャー： 東日本大震災以降に東北地方のバイヤーとのつながりを持ち、24年度催事を実施 ○企画・広告担当マネージャー： 県西部食品関連企業の広告・計画の立案を支援 ○次世代産業担当マネージャー： <ul style="list-style-type: none"> ・「LED関連産業企業商談会 in 関西」の企画・実施、県内5社(延べ面談数42件) ※成約4件(サンプル納品)、継続7件 ・LED商品開発の支援 LED商品企画支援チームの立上げ・運用、次世代環境産業創出プロジェクト事業、成長産業振興・発展対策支援事業等を通じて企業の商品開発を支援 ※植物栽培用LED、LEDソーラー灯、LED投光器等の開発・サンプル出荷 	担当・項目名	件数							備考 (実支援企業数)	合計	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	その他	電機・機械	152	116	16		1	3	16	(80社)	食品	378	125	1	16	97	37	102	(124社)	企画・広告	341	218	4	23	11	41	44	(52社)	小計	871	459	21	39	109	81	162	(256社)	次世代産業	LED関係	182	182					(31社)	再生エネルギー関係	11	11					(8社)	通信（スマートグリッド関係）	1	1					(1社)	小計	194	194					(40社)	合計	1,065	653	21	39	109	81	162	296社
担当・項目名	件数							備考 (実支援企業数)																																																																																							
	合計	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	その他																																																																																								
電機・機械	152	116	16		1	3	16	(80社)																																																																																							
食品	378	125	1	16	97	37	102	(124社)																																																																																							
企画・広告	341	218	4	23	11	41	44	(52社)																																																																																							
小計	871	459	21	39	109	81	162	(256社)																																																																																							
次世代産業	LED関係	182	182					(31社)																																																																																							
	再生エネルギー関係	11	11					(8社)																																																																																							
	通信（スマートグリッド関係）	1	1					(1社)																																																																																							
	小計	194	194					(40社)																																																																																							
合計	1,065	653	21	39	109	81	162	296社																																																																																							
<p>(2) 県内企業海外チャレンジ支援事業 県内企業独自による海外見本市・商談会出展、海外市場調査、サンプル輸入などにより販路開拓に取り組む場合に要する経費の一部を助成する。(補助率 1/2、限度額 100万円)</p>	<p>海外見本市への出展、市場調査等に対し補助金を交付し、企業の海外展開を支援した。 採択13件、交付10件（3件は事業取り下げ等）</p> <p>○補助金の採択状況 (単位:千円)</p> <table border="1" data-bbox="454 1960 1476 2105"> <thead> <tr> <th>申請者</th> <th>事業内容</th> <th>金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広岡農場</td> <td>香港、シンガポール、タイ等市場調査</td> <td>749</td> <td>事業終了</td> </tr> <tr> <td>ファイナル</td> <td>米国お茶専門見本市出展及び市場調査</td> <td>1,000</td> <td>事業終了</td> </tr> <tr> <td>一善や</td> <td>台湾、香港、タイ等市場調査</td> <td>900</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	申請者	事業内容	金額	備考	広岡農場	香港、シンガポール、タイ等市場調査	749	事業終了	ファイナル	米国お茶専門見本市出展及び市場調査	1,000	事業終了	一善や	台湾、香港、タイ等市場調査	900																																																																															
申請者	事業内容	金額	備考																																																																																												
広岡農場	香港、シンガポール、タイ等市場調査	749	事業終了																																																																																												
ファイナル	米国お茶専門見本市出展及び市場調査	1,000	事業終了																																																																																												
一善や	台湾、香港、タイ等市場調査	900																																																																																													

事業名・内容	事業の実績等			
	鳥取ウォーター	中国での水飲料市場調査及び見本市出展	1,000	事業終了
	ワールドビジット	各国市場調査、物産展出展	654	事業終了
	KSトレード	江原道アンテナショップ開設に係る輸入検査	625	
	稲田本店	韓国・タイ市場調査	279	
	オーク	オーストラリア市場調査	235	事業終了
	リバート・コーポレーション	バングラデシュへの市場調査	1,000	
	KSトレード	韓国市場調査	125	事業終了
	計(採択)	13件(うち3件事業取り下げ)	6,567	

◎販路開拓等の状況

- ・ 現地企業からの打診案件もあり、先方と引き続き条件等詳細な商談を実施中のものその他事業継続案件が多数(具体的な成約状況は今後確認)
- ・ 各市場の市場性は確認されたことから、海外展開の事業スキームを構築中(補助要件の見直し等)

○本年度増額補正(2,684千円)を行ったところであるが、年度末になり申請以降の状況の変化等により事業実施が困難で、事業取下げの案件が増加(3件)

2. 県内企業の大都市圏における情報収集、展示会の出展支援

(1) 受発注情報等収集提供事業

県内中小企業の取引量の確保を図るため、県内・県外発注企業の取引情報の収集や取引のあっ旋を行う。

発注開拓・企業間ネットワークの構築・生産効率の支援により、下請企業の経営体質を強化するとともに、独自技術・新商品開発による脱下請化を支援する。

東京、名古屋、大阪を担当する発注開発コーディネーターを各1名配置し、大都市圏の発注開拓を行う。また、県内での取引の促進を図るため、企業取引コーディネーターを配置し販路開拓を支援する。

① 大手電機メーカーでの業務経験・人脈を活かした支援や機械加工に係る図面の読み込み・指導等企業へ深く入り込んだ支援を実施するとともに、商談会参加の技術提案書の作成指導等も併せて実施した。

成立件数 372 件(成立金額 248,981 千円)

○コーディネーターの支援件数

区分		企業訪問件数等
発注開拓件数	発注開拓CD(3)・受注促進CD(1)	1,034
	企業取引CD(2)	1,404
	合計	2,438
発注案件数	あっ旋紹介件数	880
	成立件数	372
	取引成立金額(※)	(※) 248,981千円

(※) 成立当初受注額を積算

◎販路開拓・受注拡大に結びついた事例等

- ・ 平成23年度中国ブロック商談会、発掘企業商談会でつながりが出来た県外企業と県内受注企業数社が、現在も取引を継続中
- ・ 京都の展示会で知り合った京都の企業をコーディネーターが県内企業訪問に案内した結果、訪問した7社のうち4社が取引成立となる高い成約率を実現できた。

②緊急発注プロジェクトの取組状況

(重点支援対象企業40社への受注金額 88,889千円)

○概要

- ・ 大手電機メーカーの再編成等により、厳しい状況に陥った県内企業を支援するため、H24.11月からH25.2月まで緊急発注開拓プロジェクトを実施した。
- ・ 本プロジェクトは、訪問対象企業として過去に機構に接触実績のある企業88社に全国中小企業取引振興協会(全取協)が紹介している企業22社を加えた110社を選定し、景気変動の影響を強く受けた県内企業40社に対して重点的に仕事の斡旋を行うものである。
- ・ H25.1月からは、販路開拓担当部署以外からも7名を動員、組織横断的な体制を組むことで更に強力な支援を行った。
- ・ その結果、プロジェクト実施期間中に、重点支援対象企業40社のうち12社に対して総額88,889千円の契約を成立させることができた。

○緊急発注対策プロジェクトを実施結果 県外企業110社(重点支援対象県内企業40社)

事業名・内容	事業の実績等		
	項目	進捗状況	達成率
	アポイント取得先数	110社/110社	100%
	訪問実施先数	96社/110社	87.3%
	※訪問していない14社は、近隣県以外の発注なし等で面談していないもの。		
	○期間中の成立当初受注金額		
	対象月	成立当初受注金額(全体)	緊急発注開拓 県外企業(110社) からの受注金額 重点支援対象 県内企業(40社) の受注金額
	H24/11月	28,896千円/22社	21,469千円/19社 16,864千円/7社
	H24/12月	44,789千円/33社	35,601千円/11社 34,692千円/4社
	H25/1月	27,704千円/32件	22,593千円/10社 19,511千円/4社
	H25/2月	22,786千円/32件	19,252千円/6社 17,822千円/7社
	合計金額	124,175千円	98,915千円 88,889千円
(2) 海外市場調査団派遣事業 9月の吉林投資貿易博覧会の時期に、日系、民族系自動車会社が生産拠点とする吉林省长春市において、技術交流や共同生産、部品輸出など取引の可能性を探る経済団を派遣する。	昨年度のタイに引き続き「チャイナプラス1」の海外展開の方策を探るため、インドネシアに調査団を派遣した。(注：吉林省への派遣を振り替えて、緊急性の高いインドネシアへの派遣実施)		
	○調査団の派遣状況		
	期日	視察先	目的 参加者
	12/4～ 12/8	インドネシア(ジャカルタ)：日系工業団地視察、インドネシア政府表敬、進出企業視察、商談会実施、意見交換等	同国との技術交流や共同生産、部品輸出等取引の可能性を探るため、日系進出企業、同国最大級の総合工作機械の展示会「Manufacturing Indonesia2012」を視察 ものづくり系企業、貿易支援機関等 25名
	○ものづくり系企業分野での海外展開の方向性及び支援手法の整理		
	平成23年度、24年度の調査結果を踏まえ、平成25年度、県で「鳥取県東南アジアビューロー」を委託開設されることとなっており、同拠点を中心に支援を実施する予定		
	また、2年度の経済団派遣による視察結果を基に、技術交流、共同生産及び部品輸出など県内ものづくり系企業の海外展開に向けたロードマップ作成を行い、今後の海外展開の方向性及び支援のあり方を示す予定		
(3) 海外市場調査事業 台湾、上海、韓国ソウル(新規)での現地専門家(外部委託)による海外市場調査、有望バイヤー発掘等の販路開拓支援を行う。	海外コーディネーターによる海外市場動向等の収集を行い、県内企業に情報を提供した。また、企業の要望に応じて海外展開を支援した。		
	○市場調査等状況		
	区分	内容	備考
	現地専門家	毎月レポートを提出(最新現地経済情報等)	台湾、上海、ソウルに配置
	情報提供	毎月情報提供(とっとりグローバルウオッチ)	
	その他	各国の輸入規制情報、原材料調達可能企業、パートナー企業情報収集など個別の県内企業ニーズへの調査	各項目5件程度

事業名・内容	事業の実績等																																			
<p>(4) 専門展示会出展支援事業</p> <p>①国内</p> <p>大都市圏で開催される専門フェアへの出展機会を提供し、県内企業の開発した新技術・新商品等を展示することにより、新規取引先の獲得・販路拡大を支援する。</p> <p>さらに、統一的な独自装飾を施した「鳥取県ブース」に共同で出展することで来場者に鳥取県の「ものづくり」を特徴的にPRし、集客力を高める。</p>	<p>専門展示会への出展機会を提供することにより、新規取引先の獲得等を支援した。 専門展示会出展6回18社(成立金額14,741千円) 23年度、24年度の専門展示会のフォローの状況は、資料編(43. 44ページ)に記載</p> <p>○専門展示会(国内)出展状況</p> <table border="1" data-bbox="456 367 1473 651"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>名称・場所</th> <th>企業数</th> <th>商談件数</th> <th>成立金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/20～6/22</td> <td>「機械要素技術展」</td> <td>4社</td> <td>59件→25件</td> <td>2,600千円</td> </tr> <tr> <td>10/2～10/6</td> <td>CEATEC JAPAN2012</td> <td>2社</td> <td>7件→8件</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>10/24～10/26</td> <td>モノづくりフェア</td> <td>2社</td> <td>2件→2件</td> <td>7,500千円</td> </tr> <tr> <td>11/7～11/10</td> <td>メッセナゴヤ</td> <td>2社</td> <td>57件→16件</td> <td>4,641千円</td> </tr> <tr> <td>1/16～1/18</td> <td>カーエレクトロニクス技術展</td> <td>2社</td> <td>28件→28件</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>3/5～3/8</td> <td>フーデックスJAPAN2013</td> <td>6社</td> <td>155件→155件</td> <td>0千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○販路開拓等に関係した事例等(最近の顕著な事例等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 23年度のCEATEC、カーエレ技術展で大手企業からの試作・見積依頼案件が半年後に成立、以後量産にまで結びついた。 24年度は、機械要素技術展、メッセナゴヤで商談件数が増加、今後成約が期待できる。 デンソー展示商談会でつながりのできた法人がメッセナゴヤに来場、商談の期待できる企業を紹介いただき、180万円の商談成立となった。さらにその他の企業でヨットハーバーにも採用され、280万円の商談が成立した。 <p>○展示会の出展希望アンケートを実施(1月) ⇒アンケート結果をもとに企業ニーズに合わせた展示会を選定し、平成25年度出展計画を作成した。</p>	期日	名称・場所	企業数	商談件数	成立金額	6/20～6/22	「機械要素技術展」	4社	59件→25件	2,600千円	10/2～10/6	CEATEC JAPAN2012	2社	7件→8件	0千円	10/24～10/26	モノづくりフェア	2社	2件→2件	7,500千円	11/7～11/10	メッセナゴヤ	2社	57件→16件	4,641千円	1/16～1/18	カーエレクトロニクス技術展	2社	28件→28件	0千円	3/5～3/8	フーデックスJAPAN2013	6社	155件→155件	0千円
期日	名称・場所	企業数	商談件数	成立金額																																
6/20～6/22	「機械要素技術展」	4社	59件→25件	2,600千円																																
10/2～10/6	CEATEC JAPAN2012	2社	7件→8件	0千円																																
10/24～10/26	モノづくりフェア	2社	2件→2件	7,500千円																																
11/7～11/10	メッセナゴヤ	2社	57件→16件	4,641千円																																
1/16～1/18	カーエレクトロニクス技術展	2社	28件→28件	0千円																																
3/5～3/8	フーデックスJAPAN2013	6社	155件→155件	0千円																																
<p>②海外</p> <p>食品を主体とした海外見本市に鳥取県ブースとして共同出展し、県内企業の海外への販路開拓支援と効果的な情報発信を行う。</p> <p>8月：香港FOOD EXPO 9月：吉林投資貿易博覧会 10月：鳥取ブランド展 in ロシア(DALAGRO 食品専門展) 11月：シンガポールOishii JAPAN</p> <p>その他、韓国での物産展及び商談会開催につき調整中。</p>	<p>海外における専門展示会への出展機会を提供することにより、新規取引先の獲得等を支援した。 専門展示会出展4回、19社(成立金額1,620千円)</p> <p>○専門展示会(海外)出展状況</p> <table border="1" data-bbox="456 1263 1473 1928"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>名称・場所</th> <th>出展企業数</th> <th>商談件数</th> <th>成立金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8/16～8/18</td> <td>香港FOOD EXPO：香港会議展覧中心 出展形態：JAPANパビリオン内に鳥取県ブース1小間出展</td> <td>2社(エムケイ開発、エムコ)</td> <td>56件</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>9/6～9/11</td> <td>吉林投資貿易博覧会：長春国際会議展示センター(長春市内) 出展形態：鳥取県ブースとして6小間程度出展</td> <td>5社(澤井珈琲、山根農機、Kストロード、石田商事、片山電気)</td> <td>100件</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>10/3～10/5</td> <td>鳥取ブランド展inロシア(DALAGRO食品専門展出展)：スポーツコンプレックス「チャンピオン」(ウラジオストク市内) 出展形態：鳥取県ブースとして3小間出展</td> <td>7社(南部町役場、澤井珈琲、エムコ、かのや、JA鳥取、シャルビー)</td> <td>輸入者確定済のため現地での販促を実施。</td> <td>約42万円(現地での販売金額。店舗販売分を除く。)</td> </tr> <tr> <td>11/1～11/3</td> <td>シンガポールOishii Japan：サンズ・エキスポ&コンベンションセンター 出展形態：鳥取県ブースとして3小間出展</td> <td>5社(稲田本店、エムケイ開発、越河、さんこうえん、ファイナル)</td> <td>93件</td> <td>120万円 成約3件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○販路開拓等に関係した事例等については、資料編(34ページ)に記載</p>	期日	名称・場所	出展企業数	商談件数	成立金額	8/16～8/18	香港FOOD EXPO：香港会議展覧中心 出展形態：JAPANパビリオン内に鳥取県ブース1小間出展	2社(エムケイ開発、エムコ)	56件	0円	9/6～9/11	吉林投資貿易博覧会：長春国際会議展示センター(長春市内) 出展形態：鳥取県ブースとして6小間程度出展	5社(澤井珈琲、山根農機、Kストロード、石田商事、片山電気)	100件	0円	10/3～10/5	鳥取ブランド展inロシア(DALAGRO食品専門展出展)：スポーツコンプレックス「チャンピオン」(ウラジオストク市内) 出展形態：鳥取県ブースとして3小間出展	7社(南部町役場、澤井珈琲、エムコ、かのや、JA鳥取、シャルビー)	輸入者確定済のため現地での販促を実施。	約42万円(現地での販売金額。店舗販売分を除く。)	11/1～11/3	シンガポールOishii Japan：サンズ・エキスポ&コンベンションセンター 出展形態：鳥取県ブースとして3小間出展	5社(稲田本店、エムケイ開発、越河、さんこうえん、ファイナル)	93件	120万円 成約3件										
期日	名称・場所	出展企業数	商談件数	成立金額																																
8/16～8/18	香港FOOD EXPO：香港会議展覧中心 出展形態：JAPANパビリオン内に鳥取県ブース1小間出展	2社(エムケイ開発、エムコ)	56件	0円																																
9/6～9/11	吉林投資貿易博覧会：長春国際会議展示センター(長春市内) 出展形態：鳥取県ブースとして6小間程度出展	5社(澤井珈琲、山根農機、Kストロード、石田商事、片山電気)	100件	0円																																
10/3～10/5	鳥取ブランド展inロシア(DALAGRO食品専門展出展)：スポーツコンプレックス「チャンピオン」(ウラジオストク市内) 出展形態：鳥取県ブースとして3小間出展	7社(南部町役場、澤井珈琲、エムコ、かのや、JA鳥取、シャルビー)	輸入者確定済のため現地での販促を実施。	約42万円(現地での販売金額。店舗販売分を除く。)																																
11/1～11/3	シンガポールOishii Japan：サンズ・エキスポ&コンベンションセンター 出展形態：鳥取県ブースとして3小間出展	5社(稲田本店、エムケイ開発、越河、さんこうえん、ファイナル)	93件	120万円 成約3件																																

事業名・内容	事業の実績等																																																																									
<p>3. 各種商談会の開催</p> <p>(1) 商談会等開催事業 脱下請け体質を促進する、大都市圏の大手メーカー向けの「提案型商談会」・「技術展示会」や食品バイヤー向けの「食品商談会」を開催する。 県内企業の優れた技術・製品を近隣県企業へ紹介し、受注案件の拡大や取引量確保を目的とした広域商談会を開催する。</p>	<p>提案型商談会や食品商談会を開催し、自立型企业への成長を支援するとともに、広域商談会等を開催し、受注量の拡大等を支援した。</p> <p>○商談会等開催状況 食品関連(4回、70社(成立金額11,785千円))</p> <table border="1" data-bbox="454 405 1474 788"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>名称・場所</th> <th>参加者数</th> <th>商談件数</th> <th>成立金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/19～ 4/21</td> <td>おーばん水産商談会</td> <td>店舗視察；4店、工場視察；12社</td> <td>2件</td> <td>452千円</td> </tr> <tr> <td>4/25～30 5/2～7</td> <td>催事 鳥取県物産展 (福島中合店) (中合三春屋店)</td> <td>6社 3社</td> <td></td> <td>6,067千円 2,496千円</td> </tr> <tr> <td>6/27～ 6/28</td> <td>鳥銀食品商談会：ホテルサンルート米子</td> <td>バイヤー；4社、セラー；31社、工場視察；7社</td> <td>成立15件 推進22件</td> <td>2,770千円</td> </tr> <tr> <td>7/10 7/12</td> <td>マルイ車尾店との商談</td> <td>工場視察；11社</td> <td>マルイ車尾店による商品取扱い</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>電機・機械関連(提案型)(5回、57社(成立金額510千円))</p> <table border="1" data-bbox="454 826 1474 1509"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>名称</th> <th>参加者</th> <th>商談件数・折衝状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/28</td> <td>シャープ(株)ニーズプレゼン会・個別商談会</td> <td>・ニーズプレゼン会27社1大学、1高校、3機関 計70名</td> <td>10件 ⇒継続8件が9/12のSHARP商談会へ、断念2件</td> </tr> <tr> <td>7/3 7/4</td> <td>デンソー展示商談会</td> <td>22社</td> <td>44件、672名来場 ⇒商談中成立見込あり5件、継続中37件、断念2件(3/31)</td> </tr> <tr> <td>7/12 7/13</td> <td>積水ハウス商談会</td> <td>20社</td> <td>20件 ⇒成立1件(510千円)、継続5件、断念14件(3/31)</td> </tr> <tr> <td>7/25</td> <td>鳥取県LED関連産業企業商談会 in 関西</td> <td>発注18社、県内受注5社</td> <td>42件 ⇒継続7件(うち4件サンプル成立)・保留0件・断念35件(3/31)</td> </tr> <tr> <td>9/12</td> <td>SHARP商談会</td> <td>5社</td> <td>8件⇒継続8件(3/31)</td> </tr> <tr> <td>2/13</td> <td>マツダ展示商談会</td> <td>5社</td> <td>来場者の関心高く好感触 126件⇒継続中・5社とも再訪問してプレゼンを実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>モノづくり系(4回、106社(成立金額2,768千円))</p> <table border="1" data-bbox="454 1547 1474 2083"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>名称</th> <th>参加者</th> <th>商談件数・折衝状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8/7</td> <td>中国ブロック商談会</td> <td>発注62社、県内受注29社</td> <td>83件 ⇒成立4件(837千円)、継続62件、断念17件(3/31)</td> </tr> <tr> <td>9/12</td> <td>企業発掘商談会in津山</td> <td>発注8社、県内受注29社</td> <td>87件 ⇒成立5件(570千円)、継続49件、断念33件(3/31)</td> </tr> <tr> <td>12/11</td> <td>鳥取県進出企業等商談会</td> <td>発注10社 県内受注26社</td> <td>65件 ⇒成立3件(1,361千円)、継続48件、断念14件(3/31)</td> </tr> <tr> <td>2/21、 2/22</td> <td>近畿・四国合同商談会</td> <td>発注133社 県内受注22社</td> <td>61件 図面見積を多数いただいた⇒成立0件、継続55件、断念6件(3/31)</td> </tr> </tbody> </table>	期日	名称・場所	参加者数	商談件数	成立金額	4/19～ 4/21	おーばん水産商談会	店舗視察；4店、工場視察；12社	2件	452千円	4/25～30 5/2～7	催事 鳥取県物産展 (福島中合店) (中合三春屋店)	6社 3社		6,067千円 2,496千円	6/27～ 6/28	鳥銀食品商談会：ホテルサンルート米子	バイヤー；4社、セラー；31社、工場視察；7社	成立15件 推進22件	2,770千円	7/10 7/12	マルイ車尾店との商談	工場視察；11社	マルイ車尾店による商品取扱い		期日	名称	参加者	商談件数・折衝状況	6/28	シャープ(株)ニーズプレゼン会・個別商談会	・ニーズプレゼン会27社1大学、1高校、3機関 計70名	10件 ⇒継続8件が9/12のSHARP商談会へ、断念2件	7/3 7/4	デンソー展示商談会	22社	44件、672名来場 ⇒商談中成立見込あり5件、継続中37件、断念2件(3/31)	7/12 7/13	積水ハウス商談会	20社	20件 ⇒成立1件(510千円)、継続5件、断念14件(3/31)	7/25	鳥取県LED関連産業企業商談会 in 関西	発注18社、県内受注5社	42件 ⇒継続7件(うち4件サンプル成立)・保留0件・断念35件(3/31)	9/12	SHARP商談会	5社	8件⇒継続8件(3/31)	2/13	マツダ展示商談会	5社	来場者の関心高く好感触 126件⇒継続中・5社とも再訪問してプレゼンを実施	期日	名称	参加者	商談件数・折衝状況	8/7	中国ブロック商談会	発注62社、県内受注29社	83件 ⇒成立4件(837千円)、継続62件、断念17件(3/31)	9/12	企業発掘商談会in津山	発注8社、県内受注29社	87件 ⇒成立5件(570千円)、継続49件、断念33件(3/31)	12/11	鳥取県進出企業等商談会	発注10社 県内受注26社	65件 ⇒成立3件(1,361千円)、継続48件、断念14件(3/31)	2/21、 2/22	近畿・四国合同商談会	発注133社 県内受注22社	61件 図面見積を多数いただいた⇒成立0件、継続55件、断念6件(3/31)
期日	名称・場所	参加者数	商談件数	成立金額																																																																						
4/19～ 4/21	おーばん水産商談会	店舗視察；4店、工場視察；12社	2件	452千円																																																																						
4/25～30 5/2～7	催事 鳥取県物産展 (福島中合店) (中合三春屋店)	6社 3社		6,067千円 2,496千円																																																																						
6/27～ 6/28	鳥銀食品商談会：ホテルサンルート米子	バイヤー；4社、セラー；31社、工場視察；7社	成立15件 推進22件	2,770千円																																																																						
7/10 7/12	マルイ車尾店との商談	工場視察；11社	マルイ車尾店による商品取扱い																																																																							
期日	名称	参加者	商談件数・折衝状況																																																																							
6/28	シャープ(株)ニーズプレゼン会・個別商談会	・ニーズプレゼン会27社1大学、1高校、3機関 計70名	10件 ⇒継続8件が9/12のSHARP商談会へ、断念2件																																																																							
7/3 7/4	デンソー展示商談会	22社	44件、672名来場 ⇒商談中成立見込あり5件、継続中37件、断念2件(3/31)																																																																							
7/12 7/13	積水ハウス商談会	20社	20件 ⇒成立1件(510千円)、継続5件、断念14件(3/31)																																																																							
7/25	鳥取県LED関連産業企業商談会 in 関西	発注18社、県内受注5社	42件 ⇒継続7件(うち4件サンプル成立)・保留0件・断念35件(3/31)																																																																							
9/12	SHARP商談会	5社	8件⇒継続8件(3/31)																																																																							
2/13	マツダ展示商談会	5社	来場者の関心高く好感触 126件⇒継続中・5社とも再訪問してプレゼンを実施																																																																							
期日	名称	参加者	商談件数・折衝状況																																																																							
8/7	中国ブロック商談会	発注62社、県内受注29社	83件 ⇒成立4件(837千円)、継続62件、断念17件(3/31)																																																																							
9/12	企業発掘商談会in津山	発注8社、県内受注29社	87件 ⇒成立5件(570千円)、継続49件、断念33件(3/31)																																																																							
12/11	鳥取県進出企業等商談会	発注10社 県内受注26社	65件 ⇒成立3件(1,361千円)、継続48件、断念14件(3/31)																																																																							
2/21、 2/22	近畿・四国合同商談会	発注133社 県内受注22社	61件 図面見積を多数いただいた⇒成立0件、継続55件、断念6件(3/31)																																																																							

事業名・内容	事業の実績等																													
	◎販路開拓等に結びついた事例等については、資料編(34ページ)に記載																													
<p>(2)海外商談会開催事業 食品を主体とした商談会を開催し、県内企業の海外販路開拓支援を行う。海外見本市参加等の機会がある地域においては、可能な限り同時期に開催できるように調整する。 夏～冬：香港、シンガポール、韓国、ロシア等での商談会開催につき調整中。 また、海外見本市及び海外商談会における成約率の向上に向け、バイヤー招聘により、事前の相談商材調整、事後のフォローアップ等を実施する。</p>	<p>商談会を開催し、海外への販路開拓を支援した。 商談会開催4件、34社(成立金額12,520千円)</p> <p>○商談会開催状況</p> <table border="1" data-bbox="454 443 1476 1265"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>名称・場所</th> <th>参加者数</th> <th>商談件数</th> <th>成立金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7/17</td> <td>香港事前商談会：米子商工会議所 ※香港商談会に向け、バイヤーを招聘して商材選定等の事前商談会を開催</td> <td>5社（一善や、広岡農場、エムケイ開発、越河、エムコ）</td> <td>10件</td> <td>本商談会に商談を引継ぎ</td> </tr> <tr> <td>8/20</td> <td>香港商談会：ノボテルセンチュリー 出展形態：香港バイヤー30社程度との商談会実施</td> <td>6社（一善や、広岡農場、エムケイ開発、越河、エムコ、オーク）</td> <td>45件</td> <td>1,200万円</td> </tr> <tr> <td>5/28</td> <td>ロシアの事前商談会：米子CC ※鳥取ブランド展に向け、バイヤーを招聘して商材選定等の事前商談会を開催</td> <td>11社</td> <td>23件</td> <td>約52万円</td> </tr> <tr> <td>3/11</td> <td>食品輸出商談会 in 山陰 2013：松江東急イン</td> <td>12社（澤井珈琲、大谷酒造、共和産業、ダイマツ、中井酒造、さんこうえん、トレードマーク鳥取、福羅酒造、一善や、広岡農場、寿製菓、あぶい蒲鉾）</td> <td>21件</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎販路開拓等に結びついた事例等については、資料編(35ページ)に記載</p>					期日	名称・場所	参加者数	商談件数	成立金額	7/17	香港事前商談会：米子商工会議所 ※香港商談会に向け、バイヤーを招聘して商材選定等の事前商談会を開催	5社（一善や、広岡農場、エムケイ開発、越河、エムコ）	10件	本商談会に商談を引継ぎ	8/20	香港商談会：ノボテルセンチュリー 出展形態：香港バイヤー30社程度との商談会実施	6社（一善や、広岡農場、エムケイ開発、越河、エムコ、オーク）	45件	1,200万円	5/28	ロシアの事前商談会：米子CC ※鳥取ブランド展に向け、バイヤーを招聘して商材選定等の事前商談会を開催	11社	23件	約52万円	3/11	食品輸出商談会 in 山陰 2013：松江東急イン	12社（澤井珈琲、大谷酒造、共和産業、ダイマツ、中井酒造、さんこうえん、トレードマーク鳥取、福羅酒造、一善や、広岡農場、寿製菓、あぶい蒲鉾）	21件	—
期日	名称・場所	参加者数	商談件数	成立金額																										
7/17	香港事前商談会：米子商工会議所 ※香港商談会に向け、バイヤーを招聘して商材選定等の事前商談会を開催	5社（一善や、広岡農場、エムケイ開発、越河、エムコ）	10件	本商談会に商談を引継ぎ																										
8/20	香港商談会：ノボテルセンチュリー 出展形態：香港バイヤー30社程度との商談会実施	6社（一善や、広岡農場、エムケイ開発、越河、エムコ、オーク）	45件	1,200万円																										
5/28	ロシアの事前商談会：米子CC ※鳥取ブランド展に向け、バイヤーを招聘して商材選定等の事前商談会を開催	11社	23件	約52万円																										
3/11	食品輸出商談会 in 山陰 2013：松江東急イン	12社（澤井珈琲、大谷酒造、共和産業、ダイマツ、中井酒造、さんこうえん、トレードマーク鳥取、福羅酒造、一善や、広岡農場、寿製菓、あぶい蒲鉾）	21件	—																										
4. 環日本海圏における経済交流の支援																														
<p>(1)ロシアビジネスサポートセンター事業 外部への業務委託によりウラジオストク及び境港のロシアビジネスサポートセンターの設置・運営を行い、県内企業の海外展開支援を通じた日露間のビジネス創出と環日本海貨客船航路の安定通航を図る。</p>	<p>サポートセンターの運営をセンコン物流に業務委託し、県内企業の海外展開等を支援した。 相談・来訪等支援件数367件</p> <p>○サポートセンター運営状況（日露双方合計）</p> <table border="1" data-bbox="454 1534 1476 1736"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">件数等</th> <th colspan="2">ウラジオ</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>ウラジオ</th> <th>境港</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">支援件数</td> <td>相談・来訪</td> <td>367</td> <td>240</td> <td></td> </tr> <tr> <td>翻訳支援</td> <td>299</td> <td>193</td> <td></td> </tr> <tr> <td>通訳支援等</td> <td>39</td> <td>17</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎主な支援状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 鳥取ブランド展出展を念頭に、ALLJAPAN社等を通じたトライアル輸出・販売に向けた手続きを中心に企業支援を実施 観光情報発信など現地での情報発信、メディア対応のほか医療ツアー実施支援等も実施 鳥取ブランド展、松江ブランド展など現地での販売体制構築、イベント事前準備などで着実な実施 鳥取県関係の訪露団受け入れも現地日程の円滑な実施に対する支援 					区分	件数等	ウラジオ		備考	ウラジオ	境港	支援件数	相談・来訪	367	240		翻訳支援	299	193		通訳支援等	39	17						
区分	件数等	ウラジオ		備考																										
		ウラジオ	境港																											
支援件数	相談・来訪	367	240																											
	翻訳支援	299	193																											
	通訳支援等	39	17																											

事業名・内容	事業の実績等																									
<p>(2) 貿易支援体制整備事業 国際ビジネスセンターに韓国担当、ロシア担当のコーディネーターを配置するとともに、国際ビジネス支援アドバイザー助成等により海外展開を行う企業の支援を行う。また、当機構と業務協力協定を締結している江原TPに食品や電気機械分野における共同研究の協議のため経済団を派遣。</p>	<p>とっとり国際ビジネスセンターに配置したコーディネーターが企業からの相談に応ずるとともに、より専門的な項目についてはアドバイザーを活用するなど、県内企業の海外展開を支援した。また、江原テクノパークを訪問し、共同研究の実施等について協議した。</p> <p>○とっとり国際ビジネスセンターによる支援状況 ・コーディネーター等による企業支援件数：817件（3月末時点）</p> <p>○アドバイザー助成制度の活用状況(1件)</p> <table border="1" data-bbox="456 483 1485 602"> <thead> <tr> <th>活用企業</th> <th>金額等</th> <th>主な活用内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フジ化成工業</td> <td>70千円</td> <td>技術指導契約、秘密保持契約等の海外取引契約書作成支援業務</td> </tr> </tbody> </table> <p>○経済団派遣等の状況（共同研究の状況を含む）</p> <table border="1" data-bbox="456 678 1485 911"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>場所</th> <th>参加者数</th> <th>成果等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5/15 ～ 5/18</td> <td>原州テクノパーク 他（韓国 江原道）</td> <td>9名 （金田理事長ほか 県内企業4社(A&M、 おしどり、e-base、 LASSIC)）</td> <td>・同研究マッチング商談12件 ・今回覚書締結4件(業務提携)、共同研究に向けた継続協議中1件（おしどり） ・現状：共同研究に向けた協議のやり取りにつき国際BCにて支援中</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎販路開拓等に結びついた事例等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DBS船内での販売業者として、定期的な商材供給の案件が成約 ・石田商事経由での中国東北部への試験販売スキームを構築 ・鳥取ブランド展開催を機に、定期的なロシア輸出を実施 ・中国からの部材輸入の実施、ロシア販売代理店設置に向けた交渉を支援 ・江原道企業との業務提携、共同研究覚書の締結を支援 	活用企業	金額等	主な活用内容	フジ化成工業	70千円	技術指導契約、秘密保持契約等の海外取引契約書作成支援業務	期日	場所	参加者数	成果等	5/15 ～ 5/18	原州テクノパーク 他（韓国 江原道）	9名 （金田理事長ほか 県内企業4社(A&M、 おしどり、e-base、 LASSIC)）	・同研究マッチング商談12件 ・今回覚書締結4件(業務提携)、共同研究に向けた継続協議中1件（おしどり） ・現状：共同研究に向けた協議のやり取りにつき国際BCにて支援中											
活用企業	金額等	主な活用内容																								
フジ化成工業	70千円	技術指導契約、秘密保持契約等の海外取引契約書作成支援業務																								
期日	場所	参加者数	成果等																							
5/15 ～ 5/18	原州テクノパーク 他（韓国 江原道）	9名 （金田理事長ほか 県内企業4社(A&M、 おしどり、e-base、 LASSIC)）	・同研究マッチング商談12件 ・今回覚書締結4件(業務提携)、共同研究に向けた継続協議中1件（おしどり） ・現状：共同研究に向けた協議のやり取りにつき国際BCにて支援中																							
<p>(3) 環日本海圏経済交流支援事業 今般の円高や東日本大震災の影響を受けている県内中小企業の海外企業との取引、販路開拓における貿易支援を目的として、とっとり国際ビジネスセンター内に企業支援コーディネーターを配置し、貿易業務の支援を行う。併せて、韓国語に精通した人材を国際ビジネスセンターに配置し、国内外において商談会や物産展を実施し、県内産品の販路拡大と県内製品の正確な情報発信による風評被害の払拭を図る。</p>	<p>企業支援コーディネーター及び韓国語スタッフを配置し、県内企業の海外展開、販路開拓を支援した。 企業支援コーディネーター支援件数64件、韓国語スタッフ支援件数542件</p> <table border="1" data-bbox="456 1335 1485 1534"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">件数(3月末現在)</th> <th colspan="3"></th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>翻訳</th> <th>通訳</th> <th>相談</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">支援件数</td> <td>企業支援</td> <td>64</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>韓国翻訳等</td> <td>542</td> <td>356</td> <td>141</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>情報発信</td> <td>169</td> <td></td> <td></td> <td>グローバルウォッチ/月</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 県は別途ロシア語に精通した人材1名を境港(RBSC)へ配置。</p> <p>◎販路開拓等に係る効率的な支援内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江原道アンテナショップの開設を支援することにより、江原道商材の日本での直接的な販路の構築を支援した。今後韓国側での日本商材の販路の構築を図る。 	区分	件数(3月末現在)				備考	翻訳	通訳	相談	支援件数	企業支援	64				韓国翻訳等	542	356	141	45	情報発信	169			グローバルウォッチ/月
区分	件数(3月末現在)							備考																		
		翻訳	通訳	相談																						
支援件数	企業支援	64																								
	韓国翻訳等	542	356	141	45																					
	情報発信	169			グローバルウォッチ/月																					

事業名・内容	事業の実績等																																												
II 県内企業の経営改善のための支援を行い、県内企業の経営基盤の安定を図る。																																													
1. 相談窓口対応及び専門家の派遣																																													
<p>(1) 専門家派遣事業 中小企業者の依頼により「ISO取得」「技術相談」「IT化の推進」「ビジネスプランの作成」「情報セキュリティ対応」など各分野の専門家（経営革新アドバイザー）を派遣する。</p>	<p>経営戦略の強化に向けて、ITを活用した販売体制の強化や店長マニュアルを策定し、組織づくりを支援するなど、県内中小企業の経営革新を支援した。</p> <p>○専門家派遣件数 派遣実施先数：42先(派遣決定先数：44先)</p> <table border="1" data-bbox="456 376 1485 730"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>件数</th> <th>主な内容</th> <th>備考(特徴的なもの)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経営全般</td> <td>11</td> <td>経営全般に関するアドバイス</td> <td>生産管理改善支援他</td> </tr> <tr> <td>労務</td> <td>7</td> <td>労務管理、福利厚生等</td> <td>管理職養成研修他</td> </tr> <tr> <td>技術</td> <td>1</td> <td>商品開発にかかる技術レベルアップ</td> <td>技術力ブラッシュアップ</td> </tr> <tr> <td>ビジネスプラン</td> <td>2</td> <td>新商品開発にかかるブランディング等</td> <td>自社ブランド開発支援他</td> </tr> <tr> <td>IT</td> <td>12</td> <td>情報化支援</td> <td>効率的なHPの構築他</td> </tr> <tr> <td>ISO</td> <td>7</td> <td>ISO取得支援</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2</td> <td>人材育成他</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考)</p> <table border="1" data-bbox="456 770 1230 913"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>派遣決定(3月末)</th> <th>最終実績</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24年度</td> <td>44社</td> <td>42社</td> <td>2社取下げ</td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td>47社</td> <td>47社</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目名	件数	主な内容	備考(特徴的なもの)	経営全般	11	経営全般に関するアドバイス	生産管理改善支援他	労務	7	労務管理、福利厚生等	管理職養成研修他	技術	1	商品開発にかかる技術レベルアップ	技術力ブラッシュアップ	ビジネスプラン	2	新商品開発にかかるブランディング等	自社ブランド開発支援他	IT	12	情報化支援	効率的なHPの構築他	ISO	7	ISO取得支援		その他	2	人材育成他		区分	派遣決定(3月末)	最終実績	備考	24年度	44社	42社	2社取下げ	23年度	47社	47社	
項目名	件数	主な内容	備考(特徴的なもの)																																										
経営全般	11	経営全般に関するアドバイス	生産管理改善支援他																																										
労務	7	労務管理、福利厚生等	管理職養成研修他																																										
技術	1	商品開発にかかる技術レベルアップ	技術力ブラッシュアップ																																										
ビジネスプラン	2	新商品開発にかかるブランディング等	自社ブランド開発支援他																																										
IT	12	情報化支援	効率的なHPの構築他																																										
ISO	7	ISO取得支援																																											
その他	2	人材育成他																																											
区分	派遣決定(3月末)	最終実績	備考																																										
24年度	44社	42社	2社取下げ																																										
23年度	47社	47社																																											
<p>(2) 再生支援協議会事業 厳しい経済情勢の中で、大小の経営課題を抱えている中小企業に対し、経営相談から経営改善計画策定支援まで、きめ細かく様々な支援を行う。</p>	<p>鳥取県企業再生支援協議会により、県内企業の経営相談から経営改善計画の策定まで支援した。 2次対応件数(終了)8件</p> <p>○再生協議会の運営状況</p> <table border="1" data-bbox="456 1122 1485 1240"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>繰越</th> <th>新規</th> <th>終了</th> <th>完了</th> <th>対応中</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1次対応</td> <td>2</td> <td>26</td> <td>7</td> <td>12</td> <td>9</td> <td>完了の12件は2次へ移行</td> </tr> <tr> <td>2次対応</td> <td>5</td> <td>12</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎平成24年6月から事前相談制を導入し、企業支援を充実した。</p> <table border="1" data-bbox="456 1279 978 1397"> <tbody> <tr> <td>事前相談件数</td> <td>39件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">措置状況</td> <td>1次対応移行検討中</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>1次対応移行済</td> <td>19件</td> </tr> </tbody> </table>	項目名	繰越	新規	終了	完了	対応中	備考	1次対応	2	26	7	12	9	完了の12件は2次へ移行	2次対応	5	12	2	8	7		事前相談件数	39件	措置状況	1次対応移行検討中	8件	1次対応移行済	19件																
項目名	繰越	新規	終了	完了	対応中	備考																																							
1次対応	2	26	7	12	9	完了の12件は2次へ移行																																							
2次対応	5	12	2	8	7																																								
事前相談件数	39件																																												
措置状況	1次対応移行検討中	8件																																											
	1次対応移行済	19件																																											
<p>(3) 中小企業相談支援事業 経営改善を通じて県内企業の賃金支払能力の向上を図るとともに、経営改善によって変更される賃金制度、労働時間制度その他の各種労務問題の見直しを支援するため、機構に常駐する社会保険労務士が助言を行うほか、企業へ社会保険労務士の派遣を行う。</p>	<table border="1" data-bbox="456 1458 1485 1653"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>相談件数</th> <th>派遣件数</th> <th>主な相談内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最低賃金総合相談支援センター</td> <td>43</td> <td>112</td> <td rowspan="3">就業規則・賃金規程の作成アドバイス、 労使協定・社会保険事務手続き</td> </tr> <tr> <td>最低賃金相談支援コーナー</td> <td>23</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>66</td> <td>133</td> </tr> </tbody> </table> <p>最低賃金総合相談支援センター等の社会保険労務士が賃金制度等に係る相談に応じた。</p> <p>(参考)H23年度実績</p> <table border="1" data-bbox="456 1731 951 1850"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>相談件数</th> <th>派遣件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援センター</td> <td>49</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>支援コーナー</td> <td>12</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>	項目名	相談件数	派遣件数	主な相談内容	最低賃金総合相談支援センター	43	112	就業規則・賃金規程の作成アドバイス、 労使協定・社会保険事務手続き	最低賃金相談支援コーナー	23	21	合計	66	133	項目名	相談件数	派遣件数	支援センター	49	62	支援コーナー	12	7																					
項目名	相談件数	派遣件数	主な相談内容																																										
最低賃金総合相談支援センター	43	112	就業規則・賃金規程の作成アドバイス、 労使協定・社会保険事務手続き																																										
最低賃金相談支援コーナー	23	21																																											
合計	66	133																																											
項目名	相談件数	派遣件数																																											
支援センター	49	62																																											
支援コーナー	12	7																																											

事業名・内容	事業の実績等																																							
2. 経営改善等に関する各種セミナーの開催																																								
<p>(1) ものづくりカイゼン塾事業</p> <p>ものづくり企業の競争力を高めるため、生産管理の重要性、提案力・プレゼンテーションの向上を目指したセミナーを開催する。</p>	<p>県内企業の新たな課題への対応力の向上や新分野への進出等に資するセミナーを開催した。特に、平成24年度は、企業に対するヒアリングやアンケート等の実施によるニーズの汲み上げを重視して開催した。(平成23年度までは、県の意向及び担当者の判断により決定)</p> <p>6講座開催、410名参加</p> <p>○ものづくりカイゼン塾の実施状況</p> <table border="1" data-bbox="454 409 1485 1529"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>名称・場所</th> <th>参加者数</th> <th>特記事項</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/24</td> <td>「自動車産業新規参入者支援セミナー」</td> <td>30名</td> <td>商談会とリンクした「自動車産業新規参入者支援セミナー」</td> <td>満足、やや満足と回答78.7%</td> </tr> <tr> <td>第1回：8/25 第2回：9/8 第3回：9/21</td> <td>「経営者のための販売戦略塾」</td> <td>43名 47名 43名</td> <td>内容の密度を勘案し3日間で実施。企業の参加増加を勘案し、これまで例のない土曜日開催</td> <td>満足、やや満足と回答95.2%</td> </tr> <tr> <td>10/16</td> <td>「医療・福祉・健康機器分野新規参入者支援セミナー」</td> <td>80名</td> <td>「医療・福祉・健康機器分野新規参入者支援セミナー」を実施(昨今非常に注目を集めている成長分野である医療関連産業への参入を支援することを目的に開催)</td> <td>満足、やや満足と回答93%</td> </tr> <tr> <td>11/8</td> <td>「商品開発・企画力向上セミナー」</td> <td>54名</td> <td>自社の強みを活かした少しの転換でヒット商品が生まれる実例等があり、参加者から好評 また、本セミナーは(地独)鳥取県産業技術センターと共催し、H25年1月及び3月に、本セミナー講師である山村氏による個別相談会を実施(個別相談会申込企業：9社)</td> <td>満足、やや満足と回答79%</td> </tr> <tr> <td>第1回：2/7 第2回：2/8</td> <td>「生産現場カイゼン講座」</td> <td>37名 37名</td> <td>「生産現場カイゼン塾」～QCについて実践的に学ぶ研修を実施。</td> <td>満足、やや満足と回答87%</td> </tr> <tr> <td>3/6</td> <td>「知的財産活用グローバル展開セミナー」</td> <td>39名</td> <td>「知的財産活用グローバル展開セミナー」～鳥取県との共催により主に医療分野の海外展開についてのセミナーを実施。</td> <td>役に立った、まあ役に立ったと回答88%</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎講師、講演内容等については、資料編(36ページ)に記載</p>					期日	名称・場所	参加者数	特記事項	備考	4/24	「自動車産業新規参入者支援セミナー」	30名	商談会とリンクした「自動車産業新規参入者支援セミナー」	満足、やや満足と回答78.7%	第1回：8/25 第2回：9/8 第3回：9/21	「経営者のための販売戦略塾」	43名 47名 43名	内容の密度を勘案し3日間で実施。企業の参加増加を勘案し、これまで例のない土曜日開催	満足、やや満足と回答95.2%	10/16	「医療・福祉・健康機器分野新規参入者支援セミナー」	80名	「医療・福祉・健康機器分野新規参入者支援セミナー」を実施(昨今非常に注目を集めている成長分野である医療関連産業への参入を支援することを目的に開催)	満足、やや満足と回答93%	11/8	「商品開発・企画力向上セミナー」	54名	自社の強みを活かした少しの転換でヒット商品が生まれる実例等があり、参加者から好評 また、本セミナーは(地独)鳥取県産業技術センターと共催し、H25年1月及び3月に、本セミナー講師である山村氏による個別相談会を実施(個別相談会申込企業：9社)	満足、やや満足と回答79%	第1回：2/7 第2回：2/8	「生産現場カイゼン講座」	37名 37名	「生産現場カイゼン塾」～QCについて実践的に学ぶ研修を実施。	満足、やや満足と回答87%	3/6	「知的財産活用グローバル展開セミナー」	39名	「知的財産活用グローバル展開セミナー」～鳥取県との共催により主に医療分野の海外展開についてのセミナーを実施。	役に立った、まあ役に立ったと回答88%
期日	名称・場所	参加者数	特記事項	備考																																				
4/24	「自動車産業新規参入者支援セミナー」	30名	商談会とリンクした「自動車産業新規参入者支援セミナー」	満足、やや満足と回答78.7%																																				
第1回：8/25 第2回：9/8 第3回：9/21	「経営者のための販売戦略塾」	43名 47名 43名	内容の密度を勘案し3日間で実施。企業の参加増加を勘案し、これまで例のない土曜日開催	満足、やや満足と回答95.2%																																				
10/16	「医療・福祉・健康機器分野新規参入者支援セミナー」	80名	「医療・福祉・健康機器分野新規参入者支援セミナー」を実施(昨今非常に注目を集めている成長分野である医療関連産業への参入を支援することを目的に開催)	満足、やや満足と回答93%																																				
11/8	「商品開発・企画力向上セミナー」	54名	自社の強みを活かした少しの転換でヒット商品が生まれる実例等があり、参加者から好評 また、本セミナーは(地独)鳥取県産業技術センターと共催し、H25年1月及び3月に、本セミナー講師である山村氏による個別相談会を実施(個別相談会申込企業：9社)	満足、やや満足と回答79%																																				
第1回：2/7 第2回：2/8	「生産現場カイゼン講座」	37名 37名	「生産現場カイゼン塾」～QCについて実践的に学ぶ研修を実施。	満足、やや満足と回答87%																																				
3/6	「知的財産活用グローバル展開セミナー」	39名	「知的財産活用グローバル展開セミナー」～鳥取県との共催により主に医療分野の海外展開についてのセミナーを実施。	役に立った、まあ役に立ったと回答88%																																				
<p>(2) ISO等取得促進事業</p> <p>県内企業のISO認証取得に必要な人材を育成するため、ISO(9000,14001)内部監査員の養成セミナーを実施する。</p>	<p>ISO内部監査員養成セミナーを4回開催し、人材育成を支援した。</p> <p>4回開催、91名参加</p> <table border="1" data-bbox="454 1709 1469 2063"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>名称</th> <th>講師</th> <th>参加者数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8/21～8/23 (鳥取会場)</td> <td>ISO9000内部監査員養成セミナー</td> <td>(株)テクノファ 久司陽清氏</td> <td>27名</td> <td rowspan="4">満足、やや満足と回答78.9%</td> </tr> <tr> <td>10/9～10/11 (鳥取会場)</td> <td>ISO14001内部監査員養成セミナー</td> <td>(株)テクノファ 高野和幸氏</td> <td>24名</td> </tr> <tr> <td>11/20～11/22 (倉吉会場)</td> <td>ISO9000内部監査員養成セミナー</td> <td>(株)テクノファ 久司陽清氏</td> <td>20名</td> </tr> <tr> <td>12/5～12/7 (倉吉会場)</td> <td>ISO14001内部監査員養成セミナー</td> <td>(株)テクノファ 高野和幸氏</td> <td>20名</td> </tr> </tbody> </table>					期日	名称	講師	参加者数	備考	8/21～8/23 (鳥取会場)	ISO9000内部監査員養成セミナー	(株)テクノファ 久司陽清氏	27名	満足、やや満足と回答78.9%	10/9～10/11 (鳥取会場)	ISO14001内部監査員養成セミナー	(株)テクノファ 高野和幸氏	24名	11/20～11/22 (倉吉会場)	ISO9000内部監査員養成セミナー	(株)テクノファ 久司陽清氏	20名	12/5～12/7 (倉吉会場)	ISO14001内部監査員養成セミナー	(株)テクノファ 高野和幸氏	20名													
期日	名称	講師	参加者数	備考																																				
8/21～8/23 (鳥取会場)	ISO9000内部監査員養成セミナー	(株)テクノファ 久司陽清氏	27名	満足、やや満足と回答78.9%																																				
10/9～10/11 (鳥取会場)	ISO14001内部監査員養成セミナー	(株)テクノファ 高野和幸氏	24名																																					
11/20～11/22 (倉吉会場)	ISO9000内部監査員養成セミナー	(株)テクノファ 久司陽清氏	20名																																					
12/5～12/7 (倉吉会場)	ISO14001内部監査員養成セミナー	(株)テクノファ 高野和幸氏	20名																																					

事業名・内容	事業の実績等																								
3. 県内企業の情報化の支援																									
<p>(1) 情報化基盤整備促進事業</p> <p>当財団内に情報化に対応する専門の職員を配置し、県内中小企業の情報化の支援を図り、ソフトウェアや情報機器、ICTを活用するためのセミナー等を開催する。</p>	<p>ITを活用した販売戦略に係るセミナーを開催し、情報化を支援した。 1回開催、46名参加</p> <p>○情報化の支援状況</p> <table border="1" data-bbox="475 371 1449 723"> <thead> <tr> <th>実施項目</th> <th>実施概要</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ITニーズアンケート実施（8月）</td> <td>送付：659件 回収：174件 ～HPの構築や活用についてのセミナー実施要望が多かったこと。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>セミナー開催回数、参加者数</td> <td>3/5 IT関連セミナー開催 46名 「今がチャンス！中小企業はWEB活用で新規市場を開拓せよ！ えっ！こんな小さな会社が・・・儲かる中小企業ネット活用成功事例」</td> <td>満足、やや満足と回答 100% (32件回収)</td> </tr> <tr> <td>メルマガ発信</td> <td>35回（H25.3月末）</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実施項目	実施概要	備考	ITニーズアンケート実施（8月）	送付：659件 回収：174件 ～HPの構築や活用についてのセミナー実施要望が多かったこと。		セミナー開催回数、参加者数	3/5 IT関連セミナー開催 46名 「今がチャンス！中小企業はWEB活用で新規市場を開拓せよ！ えっ！こんな小さな会社が・・・儲かる中小企業ネット活用成功事例」	満足、やや満足と回答 100% (32件回収)	メルマガ発信	35回（H25.3月末）													
実施項目	実施概要	備考																							
ITニーズアンケート実施（8月）	送付：659件 回収：174件 ～HPの構築や活用についてのセミナー実施要望が多かったこと。																								
セミナー開催回数、参加者数	3/5 IT関連セミナー開催 46名 「今がチャンス！中小企業はWEB活用で新規市場を開拓せよ！ えっ！こんな小さな会社が・・・儲かる中小企業ネット活用成功事例」	満足、やや満足と回答 100% (32件回収)																							
メルマガ発信	35回（H25.3月末）																								
<p>(2) 情報センター事業</p> <p>プロバイダ事業トリトン会の運営を行う。賛助会員、トリトン会員への情報化支援を図る。当財団ホームページのリニューアルを実施する。</p>	<p>ホームページをリニューアルするとともに、トリトン会事業の運営を行った。</p> <p>○情報センター事業の状況※プロバイダ事業 3月末日で終了 ・トリトン会員数 19社（H25.3月末時点）</p> <p>○HPのリニューアルの状況 ・平成25年2月12日公開</p>																								
4. その他																									
<p>(1) 中小企業ハイテク設備貸与事業</p>	<p>生産設備の導入、融資・投資等について支援、平成19年度から新規貸付を停止。現在は債権の管理回収のみ。</p>																								
<p>(2) 設備貸与事業</p>																									
<p>(3) 設備資金貸付事業</p>	<p>○債権回収等の状況(単位：社)</p>																								
<p>(4) 創造的中小企業育成支援事業</p>	<table border="1" data-bbox="456 1227 1485 1429"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>中小企業ハイテク設備貸与事業</th> <th>設備貸与事業</th> <th>創造的中小企業育成支援事業</th> <th>新産業創造支援事業</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正常先</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>未収先</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>破綻先</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	中小企業ハイテク設備貸与事業	設備貸与事業	創造的中小企業育成支援事業	新産業創造支援事業	備考	正常先	0	5	0	0		未収先	3	6	0	0		破綻先	4	4	0	0	
区分	中小企業ハイテク設備貸与事業	設備貸与事業	創造的中小企業育成支援事業	新産業創造支援事業	備考																				
正常先	0	5	0	0																					
未収先	3	6	0	0																					
破綻先	4	4	0	0																					
<p>(5) 新産業創造支援事業</p>	<p>※現在は上記債権及び償却済み債権の求償権の管理・回収のみ</p>																								

事業名・内容	事業の実績等																											
県内企業の技術及び経営の革新の支援																												
I 新規分野への参入や新技術の導入の支援を通じて、県内企業の技術面及び経営面の革新を図る。																												
1 自動車部品関連産業の育成の支援																												
<p>(1) 自動車部品関連産業育成事業</p> <p>自動車メーカー向けに新たに技術提案に取り組む企業や、新規参入に意欲的な企業など「やる気ある」企業を対象に、「鳥取県自動車部品機能構造研究会」を設立した。</p> <p>当研究会は、鳥取県内の産学金官連携強化はもとより、従来の地域内サプライヤーや県外の自動車メーカー、その関連企業及び次世代自動車に向けて先進的な活動を行う広島、岡山等の研究会等と情報交流することで、県内企業の自動車業界への参入等を支援する。</p>	<p>鳥取県自動車部品機能構造研究会参加企業の活動を支援するとともに、意見交換会等に参加し、事業等を推進した。</p> <p>○本年度の活動状況</p> <table border="1" data-bbox="464 450 1485 1115"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>活動内容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/24</td> <td>ワールドテック（元株デンソー）によるセミナー「自動車産業新規参入者支援セミナー」を開催（再掲）</td> <td>デンソー展示商談会の参加につなげた。</td> </tr> <tr> <td>6/18</td> <td>三菱自動車工業株・久米建夫氏による講演会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7/3～7/4</td> <td>デンソー商談会に出展の9社を支援</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8/1</td> <td>「中国5県自動車振興施策に係る意見交換会」に参加</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8/2</td> <td>大手自動車メーカーとの展示商談会に係る連絡調整会議に参加</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10/3、1/29</td> <td>中国・九州地域の自動車に係る合同会議に参加し、支援の方向性、連携の在り方を協議</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1/16～1/18</td> <td>「国際エレクトロニクス技術展」鳥取県ブースに出展の2社を支援</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2/13</td> <td>マツダ展示商談会に出展した5社を支援</td> <td>1社・受注内定 1社・省エネ効果検証中 3社・交渉継続中</td> </tr> </tbody> </table>	期日	活動内容	備考	4/24	ワールドテック（元株デンソー）によるセミナー「自動車産業新規参入者支援セミナー」を開催（再掲）	デンソー展示商談会の参加につなげた。	6/18	三菱自動車工業株・久米建夫氏による講演会		7/3～7/4	デンソー商談会に出展の9社を支援		8/1	「中国5県自動車振興施策に係る意見交換会」に参加		8/2	大手自動車メーカーとの展示商談会に係る連絡調整会議に参加		10/3、1/29	中国・九州地域の自動車に係る合同会議に参加し、支援の方向性、連携の在り方を協議		1/16～1/18	「国際エレクトロニクス技術展」鳥取県ブースに出展の2社を支援		2/13	マツダ展示商談会に出展した5社を支援	1社・受注内定 1社・省エネ効果検証中 3社・交渉継続中
期日	活動内容	備考																										
4/24	ワールドテック（元株デンソー）によるセミナー「自動車産業新規参入者支援セミナー」を開催（再掲）	デンソー展示商談会の参加につなげた。																										
6/18	三菱自動車工業株・久米建夫氏による講演会																											
7/3～7/4	デンソー商談会に出展の9社を支援																											
8/1	「中国5県自動車振興施策に係る意見交換会」に参加																											
8/2	大手自動車メーカーとの展示商談会に係る連絡調整会議に参加																											
10/3、1/29	中国・九州地域の自動車に係る合同会議に参加し、支援の方向性、連携の在り方を協議																											
1/16～1/18	「国際エレクトロニクス技術展」鳥取県ブースに出展の2社を支援																											
2/13	マツダ展示商談会に出展した5社を支援	1社・受注内定 1社・省エネ効果検証中 3社・交渉継続中																										
<p>(2) エコカー関連産業育・支援事業</p> <p>自動車全般にかかる幅広い知識を持ったマネージャー、スタッフを配置し、エコカー関連の新規事業創出や、自動車関連産業の販路開拓支援など、県内企業の次世代自動車への参入を支援する。</p>	<p>自動車部品関連企業の販路開拓等を支援するとともに、EVメーカーの開発等を支援した。</p> <p>支援件数83件</p> <p>○エコカー関連企業の支援状況</p> <table border="1" data-bbox="464 1272 1485 1697"> <thead> <tr> <th>支援項目</th> <th>件数等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談(訪問)件数</td> <td>76件</td> <td>○マツダ関連企業（NSウエスト、マツダE&T、ダイキョーニシカワ）及びアイシン九州に対して県内企業の売込み ○県内企業の自動車産業への参入支援（リチウムイオン電池等）</td> </tr> <tr> <td>販路開拓件数</td> <td>7件</td> <td>○EVメーカー支援 ・ナノ社の生産立上げに関する支援開始（設備業者紹介、アスタモビルリティ用部品県内調達のマッチング） ・デンバジャパンへの具体的なサポートを開始（型式認定取得に向けた支援等）</td> </tr> <tr> <td>販路開拓金額等</td> <td>—</td> <td>・鳥取県次世代EV共同研究協議会への参加</td> </tr> </tbody> </table>	支援項目	件数等	備考	相談(訪問)件数	76件	○マツダ関連企業（NSウエスト、マツダE&T、ダイキョーニシカワ）及びアイシン九州に対して県内企業の売込み ○県内企業の自動車産業への参入支援（リチウムイオン電池等）	販路開拓件数	7件	○EVメーカー支援 ・ナノ社の生産立上げに関する支援開始（設備業者紹介、アスタモビルリティ用部品県内調達のマッチング） ・デンバジャパンへの具体的なサポートを開始（型式認定取得に向けた支援等）	販路開拓金額等	—	・鳥取県次世代EV共同研究協議会への参加															
支援項目	件数等	備考																										
相談(訪問)件数	76件	○マツダ関連企業（NSウエスト、マツダE&T、ダイキョーニシカワ）及びアイシン九州に対して県内企業の売込み ○県内企業の自動車産業への参入支援（リチウムイオン電池等）																										
販路開拓件数	7件	○EVメーカー支援 ・ナノ社の生産立上げに関する支援開始（設備業者紹介、アスタモビルリティ用部品県内調達のマッチング） ・デンバジャパンへの具体的なサポートを開始（型式認定取得に向けた支援等）																										
販路開拓金額等	—	・鳥取県次世代EV共同研究協議会への参加																										
2. 宇宙航空科学技術の活用及び普及の支援																												
<p>(1) 最先端技術マッチング支援事業</p> <p>宇宙技術など国内の最先端技術・特許を活用し、県内に新たな産業を創出する新分野への参入を支援するため、日本宇宙フォーラム等と連携し宇宙航空研究開発機構（JAXA）が持つ、技術・ライセンスを活用した成功事例等を紹介するセミナー</p>	<p>鳥取県宇宙技術開発研究会セミナーを開催した。</p> <p>1回開催、39名参加</p> <p>○セミナー「宇宙ステーションを利用して何ができるか」</p> <table border="1" data-bbox="464 1850 1485 2116"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>講演内容</th> <th>参加人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3/9</td> <td>①「JAXAの活動と宇宙ステーションの概要」 JAXA 成果活用促進グループ長 三保和之氏 ②「宇宙ステーションでの暮らし 宇宙日本食や「きぼう」利用について」 JAXA 成果活用促進グループ主任 田辺久美子氏 ③「宇宙ステーションを利用した鹿児島宇宙焼酎</td> <td>39名</td> <td>講演① 大変参考になった、参考になったと回答 96% 講演② 大変参考になった、参考になったと回答 100%</td> </tr> </tbody> </table>	期日	講演内容	参加人数	備考	3/9	①「JAXAの活動と宇宙ステーションの概要」 JAXA 成果活用促進グループ長 三保和之氏 ②「宇宙ステーションでの暮らし 宇宙日本食や「きぼう」利用について」 JAXA 成果活用促進グループ主任 田辺久美子氏 ③「宇宙ステーションを利用した鹿児島宇宙焼酎	39名	講演① 大変参考になった、参考になったと回答 96% 講演② 大変参考になった、参考になったと回答 100%																			
期日	講演内容	参加人数	備考																									
3/9	①「JAXAの活動と宇宙ステーションの概要」 JAXA 成果活用促進グループ長 三保和之氏 ②「宇宙ステーションでの暮らし 宇宙日本食や「きぼう」利用について」 JAXA 成果活用促進グループ主任 田辺久美子氏 ③「宇宙ステーションを利用した鹿児島宇宙焼酎	39名	講演① 大変参考になった、参考になったと回答 96% 講演② 大変参考になった、参考になったと回答 100%																									

事業名・内容	事業の実績等																										
や、個別相談会を開催する。		プロジェクト!」 ・(有) 大山甚七商店 代表取締役 大山修一氏		講演③ 大変参考になった、参考になったと回答 90%																							
3. 特許技術の流通及び活用の支援																											
<p>(1) 知的財産活用ビジネス支援事業</p> <p>鳥取県知的所有権センターの体制を強化するため、知財ビジネスプロデューサー(知的所有権センター長)を配置して、各コーディネーターの事業化案件をフォローするとともに、知財を活用したアイデアから事業化までを一貫して支援し中小企業の業績向上に繋げる。</p>	<p>知財を活用したビジネスプランの策定段階から販売段階まで一貫した支援を実施した。</p> <p>事業化支援件数6件</p> <p>○知財事業化案件等の状況(知財ビジネスプロデューサーの支援状況)</p> <table border="1" data-bbox="456 504 1469 622"> <thead> <tr> <th>支援項目</th> <th>件数等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援件数</td> <td>4社</td> <td>(株)シャルビー、(株)フジタ、(株)ミトクハーネス、(株)LASSIC</td> </tr> <tr> <td>新規案件</td> <td>2件</td> <td>智頭木材ハウス産業、小坂板金工作所</td> </tr> </tbody> </table> <p>○事業化、新商品化を支援中</p> <table border="1" data-bbox="456 663 1187 927"> <thead> <tr> <th>法人名</th> <th>支援内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>シャルビー</td> <td>拡販、海外展開権利化</td> </tr> <tr> <td>フジタ</td> <td>新商品化</td> </tr> <tr> <td>ミトクハーネス</td> <td>新事業化(販売段階)</td> </tr> <tr> <td>LASSIC</td> <td>事業プラン構築、共同研究契約</td> </tr> <tr> <td>智頭木材</td> <td>新規事業化(姿勢安定化椅子製造販売)</td> </tr> <tr> <td>小坂板金</td> <td>新規事業化</td> </tr> </tbody> </table>				支援項目	件数等	備考	支援件数	4社	(株)シャルビー、(株)フジタ、(株)ミトクハーネス、(株)LASSIC	新規案件	2件	智頭木材ハウス産業、小坂板金工作所	法人名	支援内容	シャルビー	拡販、海外展開権利化	フジタ	新商品化	ミトクハーネス	新事業化(販売段階)	LASSIC	事業プラン構築、共同研究契約	智頭木材	新規事業化(姿勢安定化椅子製造販売)	小坂板金	新規事業化
支援項目	件数等	備考																									
支援件数	4社	(株)シャルビー、(株)フジタ、(株)ミトクハーネス、(株)LASSIC																									
新規案件	2件	智頭木材ハウス産業、小坂板金工作所																									
法人名	支援内容																										
シャルビー	拡販、海外展開権利化																										
フジタ	新商品化																										
ミトクハーネス	新事業化(販売段階)																										
LASSIC	事業プラン構築、共同研究契約																										
智頭木材	新規事業化(姿勢安定化椅子製造販売)																										
小坂板金	新規事業化																										
<p>(2) 特許流通支援事業</p> <p>特許流通コーディネーター2名を県東部・西部に各1名ずつ配置し、企業の特許の活用、技術移転などの相談に応じるなど、未利用特許の利用促進(ライセンス、共同開発、技術指導、OEM)を図る。</p>	<p>企業が保有している特許の活用、技術移転等の相談に応ずるなど、未利用特許の利用促進、契約締結等を支援した。</p> <p>成約件数32件</p> <p>○特許流通コーディネーターの支援状況</p> <table border="1" data-bbox="456 1171 1485 1368"> <thead> <tr> <th>支援項目</th> <th>件数等</th> <th>うち新規</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企業訪問件数</td> <td>337件</td> <td>87件</td> <td>企業の新商品化、新事業化に繋がる知財マッチングを継続中</td> </tr> <tr> <td>成約件数</td> <td>32件</td> <td></td> <td>特許実施許諾契約、オプション契約、不実施補償契約、共同開発契約、秘密保持契約</td> </tr> </tbody> </table> <p>○成約の内訳</p> <table border="1" data-bbox="456 1406 1414 1581"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>申請件数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ライセンス契約</td> <td>8件</td> <td>(ライセンス元企業) スポリカ(株)、(有) 樽屋、竹田氏</td> </tr> <tr> <td>オプション契約等(※)</td> <td>24件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ライセンスにつながる共同開発、不実施補償等オプション各契約</p>				支援項目	件数等	うち新規	備考	企業訪問件数	337件	87件	企業の新商品化、新事業化に繋がる知財マッチングを継続中	成約件数	32件		特許実施許諾契約、オプション契約、不実施補償契約、共同開発契約、秘密保持契約	区分	申請件数	備考	ライセンス契約	8件	(ライセンス元企業) スポリカ(株)、(有) 樽屋、竹田氏	オプション契約等(※)	24件			
支援項目	件数等	うち新規	備考																								
企業訪問件数	337件	87件	企業の新商品化、新事業化に繋がる知財マッチングを継続中																								
成約件数	32件		特許実施許諾契約、オプション契約、不実施補償契約、共同開発契約、秘密保持契約																								
区分	申請件数	備考																									
ライセンス契約	8件	(ライセンス元企業) スポリカ(株)、(有) 樽屋、竹田氏																									
オプション契約等(※)	24件																										
<p>(3) 特許流通フェア事業</p> <p>県内企業が保有する特許技術の県外への売り込みに向け、許諾先となり得る企業数の多い大都市圏において開催される展示会に特許技術・商品を出展し、特許流通の促進を図る。</p>	<p>県内企業が保有する知財の県外企業への技術移転を目的に専門展示会に出展した。</p> <p>展示会出展1回、4社</p> <p>○特許フェアへの出展状況</p> <table border="1" data-bbox="456 1771 1485 1968"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>名称・場所</th> <th>参加者数</th> <th>商談件数</th> <th>流通マッチング有望案件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25. 2/7, 8</td> <td>「震災対策技術展」 (パシフィコ横浜)</td> <td>出展4社 (スポリカ(株)、フォレストリア用瀬、ユシー産業、(株)日本マイクロシステム)</td> <td>185件</td> <td>13件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 昨年度の出展(エコポラダク2011)により、スポリカ(株)は東日本でのライセンス契約2件につながった。</p>				期日	名称・場所	参加者数	商談件数	流通マッチング有望案件	H25. 2/7, 8	「震災対策技術展」 (パシフィコ横浜)	出展4社 (スポリカ(株)、フォレストリア用瀬、ユシー産業、(株)日本マイクロシステム)	185件	13件													
期日	名称・場所	参加者数	商談件数	流通マッチング有望案件																							
H25. 2/7, 8	「震災対策技術展」 (パシフィコ横浜)	出展4社 (スポリカ(株)、フォレストリア用瀬、ユシー産業、(株)日本マイクロシステム)	185件	13件																							

事業名・内容	事業の実績等								
<p>(4) 中小企業外国出願支援事業</p> <p>国の補助事業として、県内企業が海外展開を見据えて積極的に行う外国出願を支援し国際競争力の強化を図るために、国内に比べかなり高額な海外特許・意匠・商標登録に係る出願手数料・代理人費用等に対して助成を行う。</p> <p>また、今年度より県補助事業として、国補助事業の対象外となっている国際特許出願や国際商標出願で日本特許庁に支払う出願費用に対しても助成を行う。</p>	<p>中小企業の外国出願に係る費用の一部を助成した。2社4出願（国事業により助成、県事業については該当なし。）</p> <p>○外国出願補助金の状況</p> <table border="1" data-bbox="454 331 1485 450"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>件数等</th> <th>金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請件数</td> <td>4件</td> <td>1,037千円</td> <td>(株)ビック・ツール(米国、中国、韓国) TANOSeY研究所(米国特許)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○事業開始以降の状況</p> <p>平成22年度より開始し、延べ8社17出願を支援 過去助成案件のうち2件(台湾、韓国)は登録査定</p>	区分	件数等	金額	備考	申請件数	4件	1,037千円	(株)ビック・ツール(米国、中国、韓国) TANOSeY研究所(米国特許)
区分	件数等	金額	備考						
申請件数	4件	1,037千円	(株)ビック・ツール(米国、中国、韓国) TANOSeY研究所(米国特許)						
<p>(5) 特許等取得活用支援事業</p> <p>中小企業の知財活用支援の県中核機関として知財の課題等を一元的に受け入れる「知財総合支援窓口」を設置し、弁理士等の知財専門家の活用や商工会議所/商工会連合会等の支援機関との連携を図りながらワンストップサービスを提供する。</p> <p>尚、当該事業では一般社団法人鳥取県発明協会とコンソーシアムを組み、窓口支援担当者(知財コーディネーター)を2名配置し、知財を有効に活用できていない中小企業の発掘・活用促進を図る活動も併せて実施する。</p>	<p>機構と鳥取県発明協会がコンソーシアムを組み、鳥取県知財総合窓口を設置し、知財コーディネーターが、弁理士等及び県内支援機関と連携を図りながらワンストップサービスを提供するとともに、企業の知財の発掘・活用促進を支援した。</p> <p>○知財コーディネーターの支援状況</p> <table border="1" data-bbox="454 943 1485 1061"> <thead> <tr> <th>支援項目</th> <th>件数等</th> <th>備考(相談内容)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>窓口支援</td> <td>712件</td> <td rowspan="2">特許、商標、意匠の出願手続き支援、類似案件調査、事業モデル構築、知財契約関連、ブランド構築等の支援</td> </tr> <tr> <td>企業訪問</td> <td>85件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○知財総合支援窓口を開設、知財に関する相談対応を継続中(昨年度からの累計で1,574件) ○単なる知財相談対応だけでなく、背後にある経営課題(事業化、新商品化、等)にまで踏み込んだ支援を志向し、H24年度は3件(株)大陸、小坂板金工作所、(有)竹本園)を支援中。</p>	支援項目	件数等	備考(相談内容)	窓口支援	712件	特許、商標、意匠の出願手続き支援、類似案件調査、事業モデル構築、知財契約関連、ブランド構築等の支援	企業訪問	85件
支援項目	件数等	備考(相談内容)							
窓口支援	712件	特許、商標、意匠の出願手続き支援、類似案件調査、事業モデル構築、知財契約関連、ブランド構築等の支援							
企業訪問	85件								
<p>4. ベンチャー企業の創出及び育成の支援</p>									
<p>(1) ベンチャー企業創出育成支援事業</p> <p>ベンチャー企業に対し、創業前から成長軌道に乗るまでの間コーディネーター等が各種課題に対し、一貫した総合支援を行う。</p> <p>① 専門家による相談対応</p> <p>ベンチャー企業の法務、会計その他企業経営に係る諸課題に関し、顧問契約をした専門家による相談体制を構築する。</p> <p>② とっとり発ベンチャー企業補助金</p> <p>創業時の資金負担を大きく軽</p>	<p>新たな技術や経営ノウハウ等を武器に新規市場を開拓しようとする革新的な中小企業を支援することで、県経済の活性化や雇用創出に資することを目的に、企業が抱える経営上の諸課題に対し、商工団体や機構マネージャー等と連携して、企業の状況に応じた総合支援を行った。</p> <p>① 専門家による相談対応</p> <p>法務、会計その他企業経営に係る諸課題に関し、創業支援グループが専門家に相談できる体制を構築した。</p> <table border="1" data-bbox="454 1787 1485 1944"> <thead> <tr> <th>支援項目</th> <th>件数等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門家の配置等</td> <td>12件</td> <td>・多様な相談に対応するため、新たに専門家に中小企業診断士(東部・西部)、デザイナー(東部)を追加 ・利便性向上のため、西部地区に弁護士、税理士を追加配置</td> </tr> </tbody> </table> <p>② とっとり発ベンチャー企業補助金(採択分のみ)</p> <p>ベンチャー企業の創業時における資金負担を軽減し、活発な起業を促進するため、創業に係る経費及び創業直後一定期間に要する家賃や光熱費などの一般的な管理費を対象に助成した。</p> <p>24年度交付決定額合計 12件、42,275千円</p>	支援項目	件数等	備考	専門家の配置等	12件	・多様な相談に対応するため、新たに専門家に中小企業診断士(東部・西部)、デザイナー(東部)を追加 ・利便性向上のため、西部地区に弁護士、税理士を追加配置		
支援項目	件数等	備考							
専門家の配置等	12件	・多様な相談に対応するため、新たに専門家に中小企業診断士(東部・西部)、デザイナー(東部)を追加 ・利便性向上のため、西部地区に弁護士、税理士を追加配置							

事業名・内容	事業の実績等												
減し、活発な起業を促進するため、創業に係る経費及び創業後一定期間に要する家賃や光熱費など一般的な経費を助成する。	審査会開催	申請件数	採択件数	備考									
	第1回審査会 (H24. 6. 29)	4件	2件										
	第2回審査会 (H24. 8. 21)	6件	5件										
	第3回審査会 (H24. 10. 5)	1件	不採択										
	第4回審査会	-											
	第5回審査会 (H25. 1. 31)	3件	3件										
	第6回審査会 (H25. 3. 15)	2件	2件										
	合計	16件	12件										
	◎審査会ごとの採択状況については、資料編(36ページ)に記載												
	○育成支援事業開始以降の事業化状況												
区分	申請	起業	準備中	備考									
採択	17社	14社	3社										
不採択	5社	4社	0社	不採択先についても、県制度融資や補助金等を紹介し、起業化をフォロー									
合計	22社	18社	3社										
③ビジネスプランコンテスト及びシンポジウムの開催 鳥取県内にて、今後起業しようとする者の技術・ビジネスモデル等に関して、専門家が評価・アドバイスを行うビジネスプランコンテストを開催する。	<p>③第2回ビジネスプランコンテスト・シンポジウム (年1回開催)</p> <p>起業者の掘り起こし及び事業の高度化を目的に、技術・ビジネスモデルに関して専門家が客観的な評価・アドバイスを行うビジネスプランコンテストを開催した。また、コンテスト表彰式に併せて企業成功家による講演及びコンテスト受賞者による発表会等で構成するシンポジウムを開催した。</p> <p>○申請件数 11件</p> <p>○シンポジウム 12/17開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演講師 三木 雄信 氏(ジャパン・フラッグシップ・プロジェクト(株)代表取締役(元ソフトバンク(株)社長室長)) ・講演内容、参加者数 「ベンチャーが変える日本ーまず最初の一步を踏み出そう」・参加者数 96名 <p>○受賞者</p> <table border="1" data-bbox="488 1290 1461 1644"> <thead> <tr> <th>受賞名</th> <th>会社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取県知事賞 (最優秀賞)</td> <td>ジーライト株式会社代表取締役 遠藤 光 氏</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">理事長賞 打って出る鳥取賞 (優秀賞)</td> <td>合同会社うかぶL L C代表社員 三宅 航太郎 氏 同 蛇谷 りえ 氏</td> </tr> <tr> <td>明倫まちづくり合同会社 氏代表社員 川部 洋</td> </tr> <tr> <td>理事長賞 県民生活向上賞 (優秀賞)</td> <td>株式会社エルフィス 代表取締役 阿部 節夫 氏 事業責任者 杉村 卓哉 氏</td> </tr> </tbody> </table>				受賞名	会社名	鳥取県知事賞 (最優秀賞)	ジーライト株式会社代表取締役 遠藤 光 氏	理事長賞 打って出る鳥取賞 (優秀賞)	合同会社うかぶL L C代表社員 三宅 航太郎 氏 同 蛇谷 りえ 氏	明倫まちづくり合同会社 氏代表社員 川部 洋	理事長賞 県民生活向上賞 (優秀賞)	株式会社エルフィス 代表取締役 阿部 節夫 氏 事業責任者 杉村 卓哉 氏
受賞名	会社名												
鳥取県知事賞 (最優秀賞)	ジーライト株式会社代表取締役 遠藤 光 氏												
理事長賞 打って出る鳥取賞 (優秀賞)	合同会社うかぶL L C代表社員 三宅 航太郎 氏 同 蛇谷 りえ 氏												
	明倫まちづくり合同会社 氏代表社員 川部 洋												
理事長賞 県民生活向上賞 (優秀賞)	株式会社エルフィス 代表取締役 阿部 節夫 氏 事業責任者 杉村 卓哉 氏												
※第1回ビジネスプランコンテスト・シンポジウム受賞企業4社すべて事業化済													
第2回ビジネスプランコンテスト・シンポジウム受賞企業4社のうち3社は事業化済、1社は事業化準備中													
④中国地域ベンチャーマーケット in 岡山 (中国5県産業支援団体共催事業)													
中国地域を中心に資金調達や販路開拓を希望するベンチャー企業と融機関やベンチャーキャピタルなどの投資家を中心としたビジネスパートナーとの幅広いマッチング等を実施することにより、成長志向企業の育成・支援した。													
2回開催、5社出展													

事業名・内容	事業の実績等														
	<p>○第1回開催 (H24.10.29) (プレゼン出展企業2社)</p> <table border="1" data-bbox="497 215 1485 333"> <thead> <tr> <th data-bbox="497 215 783 253">出展企業</th> <th data-bbox="783 215 1485 253">事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="497 253 783 291">(株)沢田防災技研</td> <td data-bbox="783 253 1485 291">「大型シャッターガード」の製品開発及び販路開拓</td> </tr> <tr> <td data-bbox="497 291 783 333">(株)スーパー・フェイズ</td> <td data-bbox="783 291 1485 333">「使用済み紙おむつ燃料化システム」</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスプラン発表企業 15社 ・ブース展示企業 22社 ・参加者数 135人 ・鳥取県参加企業の状況 <ul style="list-style-type: none"> 資金調達を目的とした商談件数 3件 ・講演講師 (株)東京証券取引所 上場推進部矢口課長 ・講演内容 「東京証券取引所のベンチャー企業支援の取り組みについて」 <p>○第2回開催 (H25.2.5) (プレゼン出展企業3社)</p> <table border="1" data-bbox="497 680 1485 913"> <thead> <tr> <th data-bbox="497 680 783 719">出展企業</th> <th data-bbox="783 680 1485 719">事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="497 719 783 797">ジーライト(株)</td> <td data-bbox="783 719 1485 797">「廃ガラスと鶏糞を材料とするガラス発泡材を使用した高リン酸肥料の製造方法の確立」</td> </tr> <tr> <td data-bbox="497 797 783 835">(有)ビーフリー</td> <td data-bbox="783 797 1485 835">「市町村防災行政無線補完システムの整備事業」</td> </tr> <tr> <td data-bbox="497 835 783 913">(株)レゾ ネットプランニング</td> <td data-bbox="783 835 1485 913">「3G/WCDMA通信ネットワークを駆使した車両等の遠隔監視・管理システム開発事業」</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスプラン発表企業 14社 ・参加者数 109人 ・鳥取県参加企業の状況 <ul style="list-style-type: none"> 資金調達を目的とした商談件数 4件 ・出展者同士のマッチング件数 1件 	出展企業	事業内容	(株)沢田防災技研	「大型シャッターガード」の製品開発及び販路開拓	(株)スーパー・フェイズ	「使用済み紙おむつ燃料化システム」	出展企業	事業内容	ジーライト(株)	「廃ガラスと鶏糞を材料とするガラス発泡材を使用した高リン酸肥料の製造方法の確立」	(有)ビーフリー	「市町村防災行政無線補完システムの整備事業」	(株)レゾ ネットプランニング	「3G/WCDMA通信ネットワークを駆使した車両等の遠隔監視・管理システム開発事業」
出展企業	事業内容														
(株)沢田防災技研	「大型シャッターガード」の製品開発及び販路開拓														
(株)スーパー・フェイズ	「使用済み紙おむつ燃料化システム」														
出展企業	事業内容														
ジーライト(株)	「廃ガラスと鶏糞を材料とするガラス発泡材を使用した高リン酸肥料の製造方法の確立」														
(有)ビーフリー	「市町村防災行政無線補完システムの整備事業」														
(株)レゾ ネットプランニング	「3G/WCDMA通信ネットワークを駆使した車両等の遠隔監視・管理システム開発事業」														

事業名・内容	事業の実績等																																	
II 県内における企業誘致等による産業集積化を支援し、地域全体の活性化を図る。																																		
1. 成長期待産業の集積の支援																																		
<p>(1) リサイクル産業クラスター形成支援事業 リサイクル産業クラスターコーディネーターを設置し、リサイクル産業クラスターを形成し、新たなリサイクルビジネスの創出の促進を支援する。</p>	<p>環境リサイクル産業のクラスター形成に向けた意欲ある企業を新たに5テーマの研究開発を支援するとともに、新たにリサイクルビジネスに取り組む企業10社を支援した。 また、事業の取組みに当たって補助事業等の採択に向けて支援した。</p> <p>○コーディネーター活動状況 ・相談件数等</p> <table border="1" data-bbox="454 443 1485 685"> <thead> <tr> <th>支援項目</th> <th>件数等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企業訪問</td> <td>359社</td> <td>(延べ件数)</td> </tr> <tr> <td>うち 新規企業</td> <td>57社</td> <td></td> </tr> <tr> <td>研究会・検討会開催</td> <td>12回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>新たなクラスター形成</td> <td>5テーマ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>新たにリサイクルビジネスに取り組む企業</td> <td>10社</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○事業化、商品化に向けた補助事業の採択支援</p> <table border="1" data-bbox="454 763 1485 920"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>件数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リサイクル製品・実用化リサイクル技術製品実用化事業</td> <td>4件</td> <td>新規2件、継続2件</td> </tr> <tr> <td>ものづくり事業化応援補助金</td> <td>4件</td> <td>新規2件、継続2件</td> </tr> <tr> <td>研究開発事業補助金</td> <td>5件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎産業クラスターごとの研究開発及び補助事業の支援状況については、資料編(37ページ)に記載</p>	支援項目	件数等	備考	企業訪問	359社	(延べ件数)	うち 新規企業	57社		研究会・検討会開催	12回		新たなクラスター形成	5テーマ		新たにリサイクルビジネスに取り組む企業	10社		事業名	件数	備考	リサイクル製品・実用化リサイクル技術製品実用化事業	4件	新規2件、継続2件	ものづくり事業化応援補助金	4件	新規2件、継続2件	研究開発事業補助金	5件				
支援項目	件数等	備考																																
企業訪問	359社	(延べ件数)																																
うち 新規企業	57社																																	
研究会・検討会開催	12回																																	
新たなクラスター形成	5テーマ																																	
新たにリサイクルビジネスに取り組む企業	10社																																	
事業名	件数	備考																																
リサイクル製品・実用化リサイクル技術製品実用化事業	4件	新規2件、継続2件																																
ものづくり事業化応援補助金	4件	新規2件、継続2件																																
研究開発事業補助金	5件																																	
<p>(2) 成長産業振興・発展対策支援事業 成長分野において、企業立地の促進や新たな雇用創出、付加価値額増加を目的として、中国地方の各県が連携して行う広域的なネットワーク活動(産学官におけるネットワーク形成、専門家派遣、販路開拓支援、セミナー開催等)への県内企業の参加を支援する。連携する分野(2分野): LED関連分野、機能性食品分野</p>	<p>中国地域の参加県が、相互に連携・補完して新事業の創出や新商品の開発に関する活動の活性化と企業の成長、産業集積を実現するための活動を実施した。</p> <p>○成長・発展産業への支援状況</p> <table border="1" data-bbox="454 1171 1485 2132"> <thead> <tr> <th>支援項目</th> <th>期日</th> <th>名称</th> <th>参加者等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">LED分野</td> <td>7/5</td> <td>LEDセミナー</td> <td>81名参加</td> <td>○セミナーの満足度 ・満足17%, まあまあ満足46%, 普通37%</td> </tr> <tr> <td>11/26</td> <td>LEDセミナー</td> <td>33名参加</td> <td>○セミナーの満足度 ・満足35%, まあまあ満足50%, 普通15%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">マッチング事業</td> <td>H24/4 ～ H25.3</td> <td>専門家派遣</td> <td>4県地域13社に専門家派遣実施(鳥取7、島根3、広島2、山口1)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H25.1 .31</td> <td>中国地域LED関連産業技術交流会(福山市)</td> <td>発表展示8社 鳥取参加企業:鳥取電子、フィアライト</td> <td></td> </tr> <tr> <td>販路開拓事業</td> <td>H25/3 /5 ～3/8</td> <td>「ライティング・フェア2013」出展(東京ビッグサイト)</td> <td>鳥取出展企業:7社</td> <td>LED産業競争力強化事業と連携実施</td> </tr> <tr> <td>機能性食品分野</td> <td>10/3 ～ 10/5</td> <td>「食品開発展2012」出展</td> <td>鳥取出展企業:4社</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	支援項目	期日	名称	参加者等	備考	LED分野	7/5	LEDセミナー	81名参加	○セミナーの満足度 ・満足17%, まあまあ満足46%, 普通37%	11/26	LEDセミナー	33名参加	○セミナーの満足度 ・満足35%, まあまあ満足50%, 普通15%	マッチング事業	H24/4 ～ H25.3	専門家派遣	4県地域13社に専門家派遣実施(鳥取7、島根3、広島2、山口1)		H25.1 .31	中国地域LED関連産業技術交流会(福山市)	発表展示8社 鳥取参加企業:鳥取電子、フィアライト		販路開拓事業	H25/3 /5 ～3/8	「ライティング・フェア2013」出展(東京ビッグサイト)	鳥取出展企業:7社	LED産業競争力強化事業と連携実施	機能性食品分野	10/3 ～ 10/5	「食品開発展2012」出展	鳥取出展企業:4社	
支援項目	期日	名称	参加者等	備考																														
LED分野	7/5	LEDセミナー	81名参加	○セミナーの満足度 ・満足17%, まあまあ満足46%, 普通37%																														
	11/26	LEDセミナー	33名参加	○セミナーの満足度 ・満足35%, まあまあ満足50%, 普通15%																														
マッチング事業	H24/4 ～ H25.3	専門家派遣	4県地域13社に専門家派遣実施(鳥取7、島根3、広島2、山口1)																															
	H25.1 .31	中国地域LED関連産業技術交流会(福山市)	発表展示8社 鳥取参加企業:鳥取電子、フィアライト																															
販路開拓事業	H25/3 /5 ～3/8	「ライティング・フェア2013」出展(東京ビッグサイト)	鳥取出展企業:7社	LED産業競争力強化事業と連携実施																														
機能性食品分野	10/3 ～ 10/5	「食品開発展2012」出展	鳥取出展企業:4社																															

事業名・内容	事業の実績等																															
	業																															
<p>(3) 次世代環境産業創出プロジェクト事業</p> <p>経済成長戦略分野に掲げ、また、県の進める環境イニシアチブにおいても、再生可能エネルギー設備や省エネ設備の普及という観点から関係が深い太陽光発電関連産業及びLED関連産業において、県内企業の研究開発・販売の促進、人材の育成、業界側からの導入促進の環境づくりに取り組む。</p>	<p>太陽光発電関連産業やLED関連産業について、県内企業の研究開発、販売促進等を管理法人として、3プロジェクトを支援した。</p> <p>○平成24年度実施中の事業</p> <table border="1" data-bbox="456 577 1489 996"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>プロジェクト名</th> <th>受託者</th> <th>委託期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">LED分野</td> <td>花き栽培用LED照明器具の開発</td> <td>・(株)フィアイト ・(株)フジ電機 ・農林総合研究所</td> <td>H23/11/17～ H25/3/31</td> </tr> <tr> <td>屋外空間演出用LED照明機器の開発・実証</td> <td>・片山電機 ・トータルテクノ ・フィアライト</td> <td>H25/3/28～ H26/3/31</td> </tr> <tr> <td>再生エネルギー分野</td> <td>マイクロ風力発電機又は小型水力発電機に使用可能な発電機に係る製品開発及び実証実験(事業実施計画事業変更)</td> <td>・(株)スカイ電子 ※V・TECは10月末で事業終了</td> <td>H24/3/7～ H25/3/31</td> </tr> </tbody> </table> <p>○プロジェクトの進捗状況については、資料編(39ページ)に記載</p>					分野	プロジェクト名	受託者	委託期間	LED分野	花き栽培用LED照明器具の開発	・(株)フィアイト ・(株)フジ電機 ・農林総合研究所	H23/11/17～ H25/3/31	屋外空間演出用LED照明機器の開発・実証	・片山電機 ・トータルテクノ ・フィアライト	H25/3/28～ H26/3/31	再生エネルギー分野	マイクロ風力発電機又は小型水力発電機に使用可能な発電機に係る製品開発及び実証実験(事業実施計画事業変更)	・(株)スカイ電子 ※V・TECは10月末で事業終了	H24/3/7～ H25/3/31												
分野	プロジェクト名	受託者	委託期間																													
LED分野	花き栽培用LED照明器具の開発	・(株)フィアイト ・(株)フジ電機 ・農林総合研究所	H23/11/17～ H25/3/31																													
	屋外空間演出用LED照明機器の開発・実証	・片山電機 ・トータルテクノ ・フィアライト	H25/3/28～ H26/3/31																													
再生エネルギー分野	マイクロ風力発電機又は小型水力発電機に使用可能な発電機に係る製品開発及び実証実験(事業実施計画事業変更)	・(株)スカイ電子 ※V・TECは10月末で事業終了	H24/3/7～ H25/3/31																													
<p>(4) 太陽光発電システム施工・維持管理研修事業</p> <p>今後需要が伸びる太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギー設備の施工や維持管理のための基礎知識及び技術取得のための講座を開催する。</p>	<p>普及が進む太陽光発電システムについて、適切な施工・維持管理に対応可能な人材を育成し、県内企業の競争力強化を推進した。受講者数52名</p> <p>○太陽光発電システム施工・維持管理研修(全10講座)を以下のとおり実施(受講期間:6月～12月、受講者:東部会場31名、西部会場21名)</p> <table border="1" data-bbox="456 1211 1489 2056"> <thead> <tr> <th>名称・場所</th> <th>内容</th> <th>アンケート結果等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講座1, 2</td> <td>電気基礎 (太陽電池基礎、系統連系、関係法規)</td> <td>～アンケート結果は次のとおり。 ○技術・技能の習得や知識の向上に役立ったか 72%(とても役立った24%、まあまあ役立った48%)</td> </tr> <tr> <td>講座3, 4</td> <td>応用(施工) (関係法規、施工の留意点)、応用(保守管理)(電気測定基礎)</td> <td>○学んだ内容が実際の現場で生かせそうか 48%(大いに生かせる16%、まあまあ生かせる32%) ○どんな点が実際の現場で生かせそうか(抜粋) ・実際の現場経験はないが、特に電気の基礎技術(太陽光パネル)が興味深かった。 ・メーカーの立場でなく、現場としての問題点など具体的な話が聞けたこと。</td> </tr> <tr> <td>講座5</td> <td>応用(保守管理)(実技、解析)</td> <td>○研修内容の総合的な理解度 40%(理解できた8%、まあまあ理解できた32%)</td> </tr> <tr> <td>講座6</td> <td>構造基礎(関係法令解説)</td> <td>○研修の感想、意見等(抜粋) ・今まで、現場施工でのシステムの知識だけでしたが、今回の研修で、詳細な専門知識が少し分かるようになりました。</td> </tr> <tr> <td>講座7</td> <td>構造基礎応用(構造計算)</td> <td>・研修に参加して、太陽光パネルのことが少し分かってきたように思うが、もっと勉強したいと思った。 ・工種が違うので内容を理解できなかった。時間の問題もあるだろうけど、初歩的な内容から行ったほうがよかった。</td> </tr> <tr> <td>講座8</td> <td>構造基礎応用(構造計算その他)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>講座9</td> <td>システム設計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>講座10</td> <td>安全衛生(労働安全衛生)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○講座の内容等については、資料編(40ページ)に記載</p> <p>*アンケート結果において、現場での活用(48%)や総合理解度(40%)が低いところ。</p>					名称・場所	内容	アンケート結果等	講座1, 2	電気基礎 (太陽電池基礎、系統連系、関係法規)	～アンケート結果は次のとおり。 ○技術・技能の習得や知識の向上に役立ったか 72%(とても役立った24%、まあまあ役立った48%)	講座3, 4	応用(施工) (関係法規、施工の留意点)、応用(保守管理)(電気測定基礎)	○学んだ内容が実際の現場で生かせそうか 48%(大いに生かせる16%、まあまあ生かせる32%) ○どんな点が実際の現場で生かせそうか(抜粋) ・実際の現場経験はないが、特に電気の基礎技術(太陽光パネル)が興味深かった。 ・メーカーの立場でなく、現場としての問題点など具体的な話が聞けたこと。	講座5	応用(保守管理)(実技、解析)	○研修内容の総合的な理解度 40%(理解できた8%、まあまあ理解できた32%)	講座6	構造基礎(関係法令解説)	○研修の感想、意見等(抜粋) ・今まで、現場施工でのシステムの知識だけでしたが、今回の研修で、詳細な専門知識が少し分かるようになりました。	講座7	構造基礎応用(構造計算)	・研修に参加して、太陽光パネルのことが少し分かってきたように思うが、もっと勉強したいと思った。 ・工種が違うので内容を理解できなかった。時間の問題もあるだろうけど、初歩的な内容から行ったほうがよかった。	講座8	構造基礎応用(構造計算その他)		講座9	システム設計		講座10	安全衛生(労働安全衛生)	
名称・場所	内容	アンケート結果等																														
講座1, 2	電気基礎 (太陽電池基礎、系統連系、関係法規)	～アンケート結果は次のとおり。 ○技術・技能の習得や知識の向上に役立ったか 72%(とても役立った24%、まあまあ役立った48%)																														
講座3, 4	応用(施工) (関係法規、施工の留意点)、応用(保守管理)(電気測定基礎)	○学んだ内容が実際の現場で生かせそうか 48%(大いに生かせる16%、まあまあ生かせる32%) ○どんな点が実際の現場で生かせそうか(抜粋) ・実際の現場経験はないが、特に電気の基礎技術(太陽光パネル)が興味深かった。 ・メーカーの立場でなく、現場としての問題点など具体的な話が聞けたこと。																														
講座5	応用(保守管理)(実技、解析)	○研修内容の総合的な理解度 40%(理解できた8%、まあまあ理解できた32%)																														
講座6	構造基礎(関係法令解説)	○研修の感想、意見等(抜粋) ・今まで、現場施工でのシステムの知識だけでしたが、今回の研修で、詳細な専門知識が少し分かるようになりました。																														
講座7	構造基礎応用(構造計算)	・研修に参加して、太陽光パネルのことが少し分かってきたように思うが、もっと勉強したいと思った。 ・工種が違うので内容を理解できなかった。時間の問題もあるだろうけど、初歩的な内容から行ったほうがよかった。																														
講座8	構造基礎応用(構造計算その他)																															
講座9	システム設計																															
講座10	安全衛生(労働安全衛生)																															

事業名・内容	事業の実績等																			
	<ul style="list-style-type: none"> 現場での活用については、製造メーカー等ごとに施工業者が決まっているのが現状であり、新たに参入するということが難しいためと考えられること。 また、総合的な理解度については、工法等の相違により理解が進めないということが原因を考えられること。 平成25年度においては、基礎部分の習熟を図ること等に留意して講習を行うこととし、全体の理解度の向上に結びつけたい。 また、当該研修により、概要部分を習得した後、必要に応じて個別企業への支援に結びつけ、技術の活用を指向していくこととします。 																			
<p>(5) LED産業競争力強化事業</p> <p>市場が急拡大し競争が激化するLED照明市場で、鳥取県内産のLED製品の認知度向上(ブランド化)を図るとともに、企業の商品開発における課題解決を支援する体制を確保し、LED産業のさらなる集積化と事業拡大を促進する。</p>	<p>県内LED産業の商品開発における諸課題の解決を支援する体制を整備し、新商品の開発や新技術の導入を支援した。 支援案件数9件</p> <p>鳥取県LED関連産業企業商談会 in 関西を開催し、LED産業の販路の拡大を支援した。</p> <p>○LED産業の支援状況</p> <table border="1" data-bbox="454 712 1485 987"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体制の整備状況</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> LED支援員3名(商品企画・光学設計・機構設計)を配置 実施要領の施行 </td> <td></td> </tr> <tr> <td>技術支援等の状況</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 支援9案件(年間目標:10件) (光電気通信システム(株)、鳥取電子(株)、(株)フジ電機:各2件 アロー産業(株)、(株)三友、あおやサイエンス(株):各1件) 企業打合せ173回、資料提供171回 </td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【再掲】・商談会の開催</p> <table border="1" data-bbox="454 1025 1485 1570"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>名称</th> <th>参加者数</th> <th>商談件数</th> <th>成立金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7/25 ～ 7/26</td> <td>鳥取県LED 関連産業 企業商談 会 in 関 西</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 受注側企業 5社計13名 (アロー産業(株)、(株)HRD、(株)DSコーポレーション、トータルテック(株)、鳥取電子(株)) 発注側企業(関西地域企業等) 17社・1団体計28名 (阪神電気鉄道(株)、京阪電気鉄道(株)、(株)大林組、大林ファシリティーズ(株)、大和ハウス工業(株)、(株)島津製作所、(株)因幡電機製作所、星和電機(株)、池田市役所、(株)中央電機計器製作所、パナソニックフォトライティング(株)、(株)SKライティング、サンユレック(株)、セイコー電気株式会社、(株)近藤電子、オーエスエレクトロニクス(株)) </td> <td>42件</td> <td>430千円 (サンプル納入4件:島津製作所、因幡電機製作所、阪神電気鉄道、中央電機計器製作所)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○県内製品のブランド化に係る関連事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 統一性能評価基準、県内製品の要件等を制定し、合格品に統一マークを貼付 ～県産LED製品の安全安心を展示会出展等で全国へアピール(ブランド化) 県有施設へ導入する直管形LEDランプの性能に関する標準仕様書を制定(H24/9/6) 製品安全に係る基準適合確認リストを企業に提供 (JIS C 8015-1照明器具、JIS C 8154一般照明用LEDビギナル、JEL801基準適合確認リスト) LED製品安全セミナーの開催 12/13, 3/21 LED測光検査機器、信頼性試験機器等(鳥取県産業技術センター所有) ～充実したLED開発・評価環境をベースに、集積化・事業拡大を推進 半導体デバイスアナライザーを導入1/25(企業講習会3/5実施) 	区分	内容	備考	体制の整備状況	<ul style="list-style-type: none"> LED支援員3名(商品企画・光学設計・機構設計)を配置 実施要領の施行 		技術支援等の状況	<ul style="list-style-type: none"> 支援9案件(年間目標:10件) (光電気通信システム(株)、鳥取電子(株)、(株)フジ電機:各2件 アロー産業(株)、(株)三友、あおやサイエンス(株):各1件) 企業打合せ173回、資料提供171回 		期日	名称	参加者数	商談件数	成立金額	7/25 ～ 7/26	鳥取県LED 関連産業 企業商談 会 in 関 西	<ul style="list-style-type: none"> 受注側企業 5社計13名 (アロー産業(株)、(株)HRD、(株)DSコーポレーション、トータルテック(株)、鳥取電子(株)) 発注側企業(関西地域企業等) 17社・1団体計28名 (阪神電気鉄道(株)、京阪電気鉄道(株)、(株)大林組、大林ファシリティーズ(株)、大和ハウス工業(株)、(株)島津製作所、(株)因幡電機製作所、星和電機(株)、池田市役所、(株)中央電機計器製作所、パナソニックフォトライティング(株)、(株)SKライティング、サンユレック(株)、セイコー電気株式会社、(株)近藤電子、オーエスエレクトロニクス(株)) 	42件	430千円 (サンプル納入4件:島津製作所、因幡電機製作所、阪神電気鉄道、中央電機計器製作所)
区分	内容	備考																		
体制の整備状況	<ul style="list-style-type: none"> LED支援員3名(商品企画・光学設計・機構設計)を配置 実施要領の施行 																			
技術支援等の状況	<ul style="list-style-type: none"> 支援9案件(年間目標:10件) (光電気通信システム(株)、鳥取電子(株)、(株)フジ電機:各2件 アロー産業(株)、(株)三友、あおやサイエンス(株):各1件) 企業打合せ173回、資料提供171回 																			
期日	名称	参加者数	商談件数	成立金額																
7/25 ～ 7/26	鳥取県LED 関連産業 企業商談 会 in 関 西	<ul style="list-style-type: none"> 受注側企業 5社計13名 (アロー産業(株)、(株)HRD、(株)DSコーポレーション、トータルテック(株)、鳥取電子(株)) 発注側企業(関西地域企業等) 17社・1団体計28名 (阪神電気鉄道(株)、京阪電気鉄道(株)、(株)大林組、大林ファシリティーズ(株)、大和ハウス工業(株)、(株)島津製作所、(株)因幡電機製作所、星和電機(株)、池田市役所、(株)中央電機計器製作所、パナソニックフォトライティング(株)、(株)SKライティング、サンユレック(株)、セイコー電気株式会社、(株)近藤電子、オーエスエレクトロニクス(株)) 	42件	430千円 (サンプル納入4件:島津製作所、因幡電機製作所、阪神電気鉄道、中央電機計器製作所)																

事業名・内容	事業の実績等																													
(6) リサイクル産業育成・支援事業 リサイクル製品販路開拓コーディネーターを配置し、県内リサイクル関連業者等が持つ優れた技術や製品に係る販路開拓や展開を支援する。	<p>県内企業のリサイクル製品等の販路開拓を支援した。 企業訪問等件数99件</p> <p>○コーディネーター活動状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援項目</th> <th>件数等</th> <th>備考(相談内容)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企業訪問</td> <td>92社</td> <td rowspan="2">企業訪問の内県認定グリーン商品登録企業の訪問は38社</td> </tr> <tr> <td>団体・学校訪問</td> <td>7件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○販路開拓支援状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>企業名</th> <th>商品名</th> <th>支援状況等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>赤松産業</td> <td>草難です</td> <td>商品販路と施行委託先の整備</td> </tr> <tr> <td>北溟産業</td> <td>液体肥料</td> <td>回収先と受注先を調整(入出口)</td> </tr> <tr> <td>アウトウッド</td> <td>再生ALホイル</td> <td>バレル研磨改善で研磨機対策中</td> </tr> <tr> <td>三光(株)</td> <td>再生砂</td> <td>油汚染土のリサイクル化の新規販路開拓</td> </tr> <tr> <td>(株)ジーライト</td> <td>ガラスカレット</td> <td>ガラスカレットを焼却灰溶融炉の塩基度調整剤の荏原エンジニアリングへの販路支援</td> </tr> <tr> <td>(有)アースウェイ</td> <td>ママサポート</td> <td>生ごみ処理装置販路支援(パナソニック(株))</td> </tr> </tbody> </table>	支援項目	件数等	備考(相談内容)	企業訪問	92社	企業訪問の内県認定グリーン商品登録企業の訪問は38社	団体・学校訪問	7件	企業名	商品名	支援状況等	赤松産業	草難です	商品販路と施行委託先の整備	北溟産業	液体肥料	回収先と受注先を調整(入出口)	アウトウッド	再生ALホイル	バレル研磨改善で研磨機対策中	三光(株)	再生砂	油汚染土のリサイクル化の新規販路開拓	(株)ジーライト	ガラスカレット	ガラスカレットを焼却灰溶融炉の塩基度調整剤の荏原エンジニアリングへの販路支援	(有)アースウェイ	ママサポート	生ごみ処理装置販路支援(パナソニック(株))
支援項目	件数等	備考(相談内容)																												
企業訪問	92社	企業訪問の内県認定グリーン商品登録企業の訪問は38社																												
団体・学校訪問	7件																													
企業名	商品名	支援状況等																												
赤松産業	草難です	商品販路と施行委託先の整備																												
北溟産業	液体肥料	回収先と受注先を調整(入出口)																												
アウトウッド	再生ALホイル	バレル研磨改善で研磨機対策中																												
三光(株)	再生砂	油汚染土のリサイクル化の新規販路開拓																												
(株)ジーライト	ガラスカレット	ガラスカレットを焼却灰溶融炉の塩基度調整剤の荏原エンジニアリングへの販路支援																												
(有)アースウェイ	ママサポート	生ごみ処理装置販路支援(パナソニック(株))																												

2. 地域産業活性化の支援

(1) 中心市街地商業活性化事業	<p>中心市街地商業活性化基金の運用益により中心市街地の活性化に関する法律(平成10年法律第92号)の趣旨に鑑み、商工会、商工会議所等が行う中心市街地における中小商業の活性化のための事業に対し助成金を交付する事業であるが、昨年度で事業終了している。今年度は運用益の残金を鳥取県へ返還する。</p> <p>○鳥取県へ残金の返還を完了し、事業終了</p>
------------------	---

III 県内の経営資源を利用した新商品等の開発や事業化を支援する。

1. 研究開発への助成

(1) 研究開発事業 中小企業等が抱える課題の解決に向け、グループで共同開発をするために必要な新技術、新製品開発に必要な基礎的調査、研究費用をサポートする。	<p>中小企業等が抱える課題の解決に向け、グループで共同開発するために必要な新技術、新製品開発に要する基礎的調査、研究費用を助成した。</p> <p>○研究開発事業申請・採択の状況 申請8件、うち7件採択(採択額 3,863千円)、1件不採択(審査会の実施 2回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>採択企業名</th> <th>研究テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(株)田中造園土木</td> <td>竹真空抽出液の機構性研究と商品開発</td> </tr> <tr> <td>ウッドファクトリー(株)</td> <td>地場産木材ユニットトラスを用いた構造体</td> </tr> <tr> <td>(株)N i d o</td> <td>因州和紙と砂を用いたガーデニング用品の開発</td> </tr> <tr> <td>(有)カンダ技工</td> <td>環境観光資源として温泉熱駆動エンジン</td> </tr> <tr> <td>タングルウッド(株)</td> <td>山陰地方に生息する海藻より、化粧品・機能性食品として付加価値のある機能性成分だけを調査し、商品化の検討</td> </tr> <tr> <td>昭和化学工業(株)研究所</td> <td>多孔体構造体を用いた環境浄化材の開発と実用化</td> </tr> <tr> <td>日本ハイコン(株)</td> <td>鋳物砂を細骨材として利用したコンクリートの開発</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考)過去の実績:</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>申請</th> <th>採択</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21年度</td> <td>3件</td> <td>3件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>22年度</td> <td>3件</td> <td>3件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td>3件</td> <td>2件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	採択企業名	研究テーマ	(株)田中造園土木	竹真空抽出液の機構性研究と商品開発	ウッドファクトリー(株)	地場産木材ユニットトラスを用いた構造体	(株)N i d o	因州和紙と砂を用いたガーデニング用品の開発	(有)カンダ技工	環境観光資源として温泉熱駆動エンジン	タングルウッド(株)	山陰地方に生息する海藻より、化粧品・機能性食品として付加価値のある機能性成分だけを調査し、商品化の検討	昭和化学工業(株)研究所	多孔体構造体を用いた環境浄化材の開発と実用化	日本ハイコン(株)	鋳物砂を細骨材として利用したコンクリートの開発	区分	申請	採択	備考	21年度	3件	3件		22年度	3件	3件		23年度	3件	2件	
採択企業名	研究テーマ																																
(株)田中造園土木	竹真空抽出液の機構性研究と商品開発																																
ウッドファクトリー(株)	地場産木材ユニットトラスを用いた構造体																																
(株)N i d o	因州和紙と砂を用いたガーデニング用品の開発																																
(有)カンダ技工	環境観光資源として温泉熱駆動エンジン																																
タングルウッド(株)	山陰地方に生息する海藻より、化粧品・機能性食品として付加価値のある機能性成分だけを調査し、商品化の検討																																
昭和化学工業(株)研究所	多孔体構造体を用いた環境浄化材の開発と実用化																																
日本ハイコン(株)	鋳物砂を細骨材として利用したコンクリートの開発																																
区分	申請	採択	備考																														
21年度	3件	3件																															
22年度	3件	3件																															
23年度	3件	2件																															

事業名・内容	事業の実績等																																				
2. 次世代資源及び地域資源に関する研究開発又は販路開拓に対する助成																																					
<p>(1) 次世代・地域資源産業育成事業</p> <p>県内地域の特産物として認識されている地域資源（農林水産物等、産地技術、観光資源）や次世代産業の研究シーズ等を活用した製品・技術の研究開発、実用化や販路開拓等を行う県内中小企業者等に対し、次世代・地域資源産業育成事業基金の運用益を活用して助成する。</p>	<p>次世代・地域資源産業育成事業基金の運用益を活用して、県内地域の特産物として認識されている地域資源（農林水産物等、産地技術、観光資源）や次世代産業の研究シーズ等を活用した製品・技術の研究開発、実用化や販路開拓等を行う事業に対し助成した。</p> <p>○次世代・地域資源産業育成事業</p> <table border="1" data-bbox="478 409 1487 725"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>件数・金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24年度採択計画件数</td> <td>12件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H24年度採択計画金額</td> <td>86,000千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">H24.4月～ H25.3月</td> <td>提案件数</td> <td>25件</td> <td>提案金額：142,900千円</td> </tr> <tr> <td>採択件数</td> <td>19件</td> <td>採択金額：122,576千円</td> </tr> <tr> <td>交付決定件数</td> <td>20件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>交付決定金額</td> <td>126,465千円</td> <td>※H24第3回審査会採択分は次年度交付決定予定</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎平成24年度交付決定事業の内容については、資料編(40ページ)に記載</p> <p>○製品開発・実用化等の状況(H20.4月～H25.3月)</p> <table border="1" data-bbox="478 840 1342 1133"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>件数等</th> <th>実施状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>採択</td> <td>92件</td> <td>(H24第3回審査会採択分は次年度交付決定予定)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">交付決定</td> <td>事業化</td> <td>64件</td> </tr> <tr> <td>事業化予定</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>12件</td> <td>申請取止5件、支援機関4件等</td> </tr> </tbody> </table>	区分	件数・金額	備考	H24年度採択計画件数	12件		H24年度採択計画金額	86,000千円		H24.4月～ H25.3月	提案件数	25件	提案金額：142,900千円	採択件数	19件	採択金額：122,576千円	交付決定件数	20件		交付決定金額	126,465千円	※H24第3回審査会採択分は次年度交付決定予定	区分	件数等	実施状況	採択	92件	(H24第3回審査会採択分は次年度交付決定予定)	交付決定	事業化	64件	事業化予定	10件	その他	12件	申請取止5件、支援機関4件等
区分	件数・金額	備考																																			
H24年度採択計画件数	12件																																				
H24年度採択計画金額	86,000千円																																				
H24.4月～ H25.3月	提案件数	25件	提案金額：142,900千円																																		
	採択件数	19件	採択金額：122,576千円																																		
	交付決定件数	20件																																			
	交付決定金額	126,465千円	※H24第3回審査会採択分は次年度交付決定予定																																		
区分	件数等	実施状況																																			
採択	92件	(H24第3回審査会採択分は次年度交付決定予定)																																			
交付決定	事業化	64件																																			
	事業化予定	10件																																			
	その他	12件	申請取止5件、支援機関4件等																																		
	IV 農林水産業とその他の業種の連携促進支援を通じ、地域特有の新産業の創出を図る。																																				
1. 農林漁業者と県内企業との連携促進																																					
<p>(1) 農商工連携促進ファンド事業</p> <p>鳥取県農商工連携促進ファンドの運用益により、農林漁業者と中小企業者等との連携による新商品・新サービス等の開発、販路開拓、またはそれらを支援する事業に対し助成する。本年度より助成限度額を600万円に増額する。</p>	<p>鳥取県農商工連携促進ファンドの運用益を活用して、農林漁業者と中小企業者等との連携による新商品・新サービス等の開発、販路開拓、又はそれらを支援する事業に対し助成した。</p> <p>*新規案件の提案・採択件数が減少しているところ。(目標20件に対し実績7件)</p> <ul style="list-style-type: none"> 農林漁業者と中小企業者との連携が進んでいないことが大きな要因 地域の隠れた素材の発展・育成に努めるとともに、新たな素材の発掘に努めることとして、平成24年度新たに農商工連携コーディネーターを配置し、県内企業等の入口・出口戦略(売れる新商品企画、事業者間のマッチング、販路開拓等)の支援を強化したところ(地域資源活用・農商工連携促進事業)。平成25年度以降においても、さらにこれらの取組みを進めていく。 <p>○農商工連携促進ファンド事業 H24年度交付決定事業 H24.4.1～H25.3.31)</p> <table border="1" data-bbox="478 1675 1487 1951"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>件数・金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24年度採択計画件数</td> <td>20件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H24年度採択計画金額</td> <td>68,227千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">H24.4月～ H25.3月</td> <td>提案件数</td> <td>11件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>採択件数</td> <td>7件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>交付決定件数</td> <td>7件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>交付決定金額</td> <td>26,029千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎平成24年度交付決定事業の内容については、資料編(41ページ)に記載</p>	区分	件数・金額	備考	H24年度採択計画件数	20件		H24年度採択計画金額	68,227千円		H24.4月～ H25.3月	提案件数	11件		採択件数	7件		交付決定件数	7件		交付決定金額	26,029千円															
区分	件数・金額	備考																																			
H24年度採択計画件数	20件																																				
H24年度採択計画金額	68,227千円																																				
H24.4月～ H25.3月	提案件数	11件																																			
	採択件数	7件																																			
	交付決定件数	7件																																			
	交付決定金額	26,029千円																																			

事業名・内容	事業の実績等																												
	○新商品等の開発状況(H21年度事業開始から現在) <table border="1" data-bbox="475 215 1343 356"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>件数等</th> <th>実施状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>採択</td> <td>57件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業化</td> <td>35件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			区分	件数等	実施状況	採択	57件		事業化	35件																		
区分	件数等	実施状況																											
採択	57件																												
事業化	35件																												
(2) 農商工連携研究開発支援事業 農林漁業者と中小企業者等とのグループが行う研究開発に必要な基礎的調査・情報収集・開発検討に要する経費を助成する。	農林漁業者と中小企業者等のグループが行う研究開発に必要な基礎的調査・情報収集・開発検討に要する経費を助成した。 ○農商工連携研究開発事業 H24. 4. 1～H25. 3. 31 <ul style="list-style-type: none"> ・申請件数：3件・採択件数：3件 ・申請金額：1,800千円・採択金額：1,800千円 <table border="1" data-bbox="475 577 1485 772"> <thead> <tr> <th>採択企業名</th> <th>研究テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブリリアントアソシエイツ株式会社</td> <td>赤ビーツ栽培技術の確立と商品化の研究</td> </tr> <tr> <td>夢食研株式会社</td> <td>鳥取県産水産品の鮮度保持及びうまみの熟成の研究</td> </tr> <tr> <td>やさい工場net 足羽 覚</td> <td>LEDで育てる栄養価の高い野菜作りの研究と野菜工場の確立</td> </tr> </tbody> </table> ○製品開発・実用化等の状況(H21年度事業開始からの累計) <table border="1" data-bbox="475 853 946 987"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>件数等</th> <th>実施状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>採択</td> <td>7件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業化</td> <td>4件</td> <td>3件事業継続中</td> </tr> </tbody> </table>			採択企業名	研究テーマ	ブリリアントアソシエイツ株式会社	赤ビーツ栽培技術の確立と商品化の研究	夢食研株式会社	鳥取県産水産品の鮮度保持及びうまみの熟成の研究	やさい工場net 足羽 覚	LEDで育てる栄養価の高い野菜作りの研究と野菜工場の確立	区分	件数等	実施状況	採択	7件		事業化	4件	3件事業継続中									
採択企業名	研究テーマ																												
ブリリアントアソシエイツ株式会社	赤ビーツ栽培技術の確立と商品化の研究																												
夢食研株式会社	鳥取県産水産品の鮮度保持及びうまみの熟成の研究																												
やさい工場net 足羽 覚	LEDで育てる栄養価の高い野菜作りの研究と野菜工場の確立																												
区分	件数等	実施状況																											
採択	7件																												
事業化	4件	3件事業継続中																											
(3) 地域資源活用・農商工連携促進事業 農商工連携コーディネーターを配置し、県内企業等の入口・出口戦略(売れる新商品企画、事業者間のマッチング、販路開拓等)の支援を強化する。	県内企業等の入口・出口戦略(売れる新商品企画、事業者間のマッチング、販路開拓等)を支援した。 企業訪問等支援件数131件 ○コーディネーター(2名)を公募し、10月からマッチング担当1名を採用 <table border="1" data-bbox="475 1149 1485 1301"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>件数・金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問件数</td> <td>131件</td> <td>中小企業者、農林漁業者</td> </tr> <tr> <td>公募事業件数</td> <td>4案件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>継続支援件数</td> <td>11案件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			区分	件数・金額	備考	訪問件数	131件	中小企業者、農林漁業者	公募事業件数	4案件		継続支援件数	11案件															
区分	件数・金額	備考																											
訪問件数	131件	中小企業者、農林漁業者																											
公募事業件数	4案件																												
継続支援件数	11案件																												
2. 6次産業化支援																													
(1) 6次産業総合推進事業 農林漁業者等の6次産業化を支援するため、サポートセンターを設置し、プランナーによる経営の発展段階に即した個別相談や課題解決に向けた実践研修会などを実施する。	プランナーによる経営の発展段階に即した個別相談や課題解決に向けた実践研修会などを実施した。 事業化計画6件認定 ○6次産業化支援の状況【H24目標及び実績】 <table border="1" data-bbox="475 1503 1433 1738"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実績</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普及啓発・相談件数</td> <td>219件</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">研修会・交流会</td> <td>開催回数</td> <td>29回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>1,382人</td> </tr> <tr> <td>6次産業総合事業化計画の認定件数</td> <td>6件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総合化事業計画認定者へのフォローアップ件数</td> <td>41件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="475 1783 1485 2033"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>件数等</th> <th>実施状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加工施設整備事業</td> <td>2件</td> <td>ひよこカンパニー(八頭町)、真栄農産(倉吉市)</td> </tr> <tr> <td>6次産業総合事業化計画</td> <td>6件</td> <td>菌興椎茸協同組合(鳥取市)、山陰旋網漁業協同組合(境港)、(有)北村きのこ園(八頭町)、(有)小川養鶏場(大山町) 大山乳業農業協同組合(琴浦町)、鳥取県漁協販売(株)境港支部(境港市)</td> </tr> </tbody> </table>			区分	実績	備考	普及啓発・相談件数	219件		研修会・交流会	開催回数	29回	参加者数	1,382人	6次産業総合事業化計画の認定件数	6件		総合化事業計画認定者へのフォローアップ件数	41件		区分	件数等	実施状況	加工施設整備事業	2件	ひよこカンパニー(八頭町)、真栄農産(倉吉市)	6次産業総合事業化計画	6件	菌興椎茸協同組合(鳥取市)、山陰旋網漁業協同組合(境港)、(有)北村きのこ園(八頭町)、(有)小川養鶏場(大山町) 大山乳業農業協同組合(琴浦町)、鳥取県漁協販売(株)境港支部(境港市)
区分	実績	備考																											
普及啓発・相談件数	219件																												
研修会・交流会	開催回数	29回																											
	参加者数	1,382人																											
6次産業総合事業化計画の認定件数	6件																												
総合化事業計画認定者へのフォローアップ件数	41件																												
区分	件数等	実施状況																											
加工施設整備事業	2件	ひよこカンパニー(八頭町)、真栄農産(倉吉市)																											
6次産業総合事業化計画	6件	菌興椎茸協同組合(鳥取市)、山陰旋網漁業協同組合(境港)、(有)北村きのこ園(八頭町)、(有)小川養鶏場(大山町) 大山乳業農業協同組合(琴浦町)、鳥取県漁協販売(株)境港支部(境港市)																											

事業名・内容	事業の実績等																															
高度産業人材等の育成の支援																																
I 各種セミナー、研修、県内企業へのインターンシップ及びそれらについての情報発信を通じ、県内産業の人材育成及び確保を促進する。																																
<p>1. 技術力向上のための研修の実施</p> <p>県内企業の人材育成・確保を支援する基本的な枠組みを形成し、継続して支援することで、企業における人材育成、確保を促進し、県内企業の技術力、競争力向上等による事業拡大等を図る。</p>																																
<p>(1) 県内産業の人材育成・確保促進事業</p> <p>① トップセミナー開催事業 企業の経営者等を対象とした人材育成等に関するセミナーを開催し、経営者等の意識啓発を行うことで、県内企業の人材育成を促進する。</p> <p>② 中堅リーダー育成支援事業（新規） 平成21年度以降に経営診断等により人材育成計画を策定した県内企業の中堅リーダーを対象に研修会を開催し、県内企業の事業拡大を促進する。</p> <p>③ 産業人材育成支援情報発信事業 県内の教育機関、産業支援機関等が行っている研修・セミナー等人材育成に関する情報を一元化し、県内企業へ情報提供を行うウェブサイト（とっとりSTEP）の運営管理を行う。また、県内産業の人材育成に係る教育機関、産業支援機関、経</p>	<p>「県内産業の人材育成・確保促進事業」は、昨年までは「実践的技術者等育成確保事業」として実施していたが、今年度は事業内容を拡大し、取り組んだ。</p> <p>① トップセミナー開催事業（新規事業） 企業の経営者等を対象とした人材育成等に関するセミナーを開催した。 2回開催、116名参加</p> <table border="1" data-bbox="456 678 1487 987"> <thead> <tr> <th>開催箇所</th> <th>セミナー名</th> <th>講師</th> <th>講演テーマ</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東部地区 1回</td> <td rowspan="2">「企業経営 トップセミナー」</td> <td>株島根富士通 代表取締役社長 宇佐美隆一氏</td> <td>「人は仕事で成長し、社会に貢献する」</td> <td>73名</td> </tr> <tr> <td>西部地区 1回</td> <td>日東電工(株) 執行役員経営統括部門人 材統括部長 山本敏夫氏</td> <td>「経営“戦略としての 人材育成政策」</td> <td>43名</td> </tr> </tbody> </table> <p>～今年度、9月に東部地区で、11月には西部地区で実施(23年度は年度末に1度実施したのみ)</p> <p>○アンケート結果は次のとおり。 「参考になる・まあ参考になる」の割合 東部会場：76.5%、西部会場：60.8%</p> <p>② 中堅リーダー育成支援事業（新規事業） 平成21年度以降に経営診断等により人材育成計画を策定した県内企業の中堅リーダーを対象に研修会を開催した。</p> <table border="1" data-bbox="456 1413 1487 1532"> <thead> <tr> <th>開催箇所</th> <th>開催予定日</th> <th>研修名</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東部地区</td> <td>10/11、10/18、10/25、11/1</td> <td rowspan="2">「マネジメント・マーケティング研修」</td> <td>10名（10名）</td> </tr> <tr> <td>西部地区</td> <td>10/2、10/10、10/24、10/30</td> <td>16名（10名）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※括弧内の数字は全日程参加者数 ～今年度から県の委託を受けて開始</p> <p>・アンケート結果は次のとおり。 「理解できた・概ね理解できた」の割合 東部会場：95.0%、西部会場：78.5%</p> <p>③ 産業人材育成支援情報発信事業 県内の教育機関、産業支援機関等が行っている研修・セミナー等人材育成に関する情報を一元化し、県内企業へ情報提供を行うウェブサイト（とっとりSTEP）の運営管理を行うとともに、県内産業の人材育成に係る教育機関、産業支援機関、経済団体、行政等が連携した組織「とっとり産業人材育成支援ネットワーク」の運営を行った。 ○「とっとり産業人材育成支援ネットワーク」の運営状況</p> <table border="1" data-bbox="456 1991 1487 2110"> <thead> <tr> <th>テーマ名</th> <th>日程</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第5回『ネットワーク』運営会議開催(平成24年度1回目)</td> <td>5月25日</td> <td>加盟17団体中11団体</td> </tr> </tbody> </table>	開催箇所	セミナー名	講師	講演テーマ	参加者数	東部地区 1回	「企業経営 トップセミナー」	株島根富士通 代表取締役社長 宇佐美隆一氏	「人は仕事で成長し、社会に貢献する」	73名	西部地区 1回	日東電工(株) 執行役員経営統括部門人 材統括部長 山本敏夫氏	「経営“戦略としての 人材育成政策」	43名	開催箇所	開催予定日	研修名	受講者数	東部地区	10/11、10/18、10/25、11/1	「マネジメント・マーケティング研修」	10名（10名）	西部地区	10/2、10/10、10/24、10/30	16名（10名）	テーマ名	日程	備考	第5回『ネットワーク』運営会議開催(平成24年度1回目)	5月25日	加盟17団体中11団体
開催箇所	セミナー名	講師	講演テーマ	参加者数																												
東部地区 1回	「企業経営 トップセミナー」	株島根富士通 代表取締役社長 宇佐美隆一氏	「人は仕事で成長し、社会に貢献する」	73名																												
西部地区 1回		日東電工(株) 執行役員経営統括部門人 材統括部長 山本敏夫氏	「経営“戦略としての 人材育成政策」	43名																												
開催箇所	開催予定日	研修名	受講者数																													
東部地区	10/11、10/18、10/25、11/1	「マネジメント・マーケティング研修」	10名（10名）																													
西部地区	10/2、10/10、10/24、10/30		16名（10名）																													
テーマ名	日程	備考																														
第5回『ネットワーク』運営会議開催(平成24年度1回目)	5月25日	加盟17団体中11団体																														

事業名・内容	事業の実績等																																																																																												
<p>済団体、行政等が連携した組織「とっとり産業人材育成支援ネットワーク」の運営を行い、県内企業の人材育成を効果的に支援する。</p> <p>④地域産業の担い手人材育成・確保支援事業 大学生等を対象としたインターンシップを実施し、県内企業への関心を高めることにより、県内企業への就職促進と県内企業の優秀な人材確保を支援する。</p> <p>また、工業高校と産業界とが連携したインターンシップ等の実践的教育を支援することにより、企業ニーズに対応した人材の育成・確保を促進する。</p>	<p>○とっとりSTEPの運営状況（平成24年度）</p> <table border="1" data-bbox="454 250 1485 414"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>全体</th> <th>県内</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サイトアクセス件数</td> <td>7,123件</td> <td>3,309件(H24.4.1~H25.3.31)</td> </tr> <tr> <td>開設時以降</td> <td>17,033件</td> <td>8,931件(H22.2.25~H25.3.31)</td> </tr> <tr> <td>STEP登録件数</td> <td>132件</td> <td>(H24.4.1~H25.3.31)</td> </tr> </tbody> </table> <p>④産業の担い手人材育成・確保支援事業 県内企業への関心を高めることにより、県内企業への就職促進と県内企業の優秀な人材確保を支援するため、大学生等を対象としたインターンシップを実施した。 22名参加</p> <p>○インターンシップの状況(23年度は23名が参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度はこれまで対象外としていた米子高専のインターンシップも取組みを開始 鳥大の県外志向により参加者が減少している中、高専の希望者が増加したことにより、参加人数は前年度比横ばいで推移 <p>○大学生等を対象としたインターンシップの実施</p> <table border="1" data-bbox="454 833 1315 1113"> <thead> <tr> <th colspan="3">インターンシップ相談会（説明会含む）</th> <th colspan="2">インターンシップ</th> </tr> <tr> <th>対象機関</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> <th>参加希望</th> <th>参加確定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取大学工学部</td> <td>8回</td> <td>69名</td> <td>8名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>鳥取大学農学部</td> <td>1回</td> <td>12名</td> <td>3名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>鳥取環境大学</td> <td>3回</td> <td>7名</td> <td>2名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td>16名</td> <td>16名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>12回</td> <td>84名</td> <td>29名</td> <td>22名</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成22年度インターンシップ参加学生、進路状況</p> <table border="1" data-bbox="454 1189 1485 1267"> <thead> <tr> <th>参加学生数</th> <th>就職（内定者）数</th> <th>進学者数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12名</td> <td>4名（県外）</td> <td>8名</td> <td>就職者4名は、県外出身者</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成23年度インターンシップ参加学生、進路状況</p> <table border="1" data-bbox="454 1308 1485 1386"> <thead> <tr> <th>参加学生数</th> <th>就職（内定者）数</th> <th>進学者数</th> <th>就活中</th> <th>調査中</th> <th>不明</th> <th>不回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23名</td> <td>5名（県外）</td> <td>2名</td> <td>4名</td> <td>4名</td> <td>7名</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○アンケート結果は次のとおり。</p> <table border="1" data-bbox="454 1464 1485 1626"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①参加して良かったか</td> <td>良かった：100.0%</td> </tr> <tr> <td>②鳥取県企業への関心が高まったか</td> <td>高まった：72.7%</td> </tr> <tr> <td>③鳥取の企業を就職対象とするか</td> <td>就職先として考える：63.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○工業系高校と産業界とが連携したものづくり人材育成の取組支援</p> <ul style="list-style-type: none"> インターンシップ受入企業の紹介 <table border="1" data-bbox="454 1700 1485 1821"> <thead> <tr> <th>高校名</th> <th>紹介数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取県立境港総合技術高等学校</td> <td>5社紹介</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※米子南高等学校(商業高校)</td> <td>19社紹介</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="454 1859 1485 2013"> <thead> <tr> <th>高校名</th> <th>支援内容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取県立鳥取工業高等学校</td> <td>鳥工版デュアルシステムの受入支援企業紹介、サテライトルーム1の貸出し調整等</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	全体	県内	サイトアクセス件数	7,123件	3,309件(H24.4.1~H25.3.31)	開設時以降	17,033件	8,931件(H22.2.25~H25.3.31)	STEP登録件数	132件	(H24.4.1~H25.3.31)	インターンシップ相談会（説明会含む）			インターンシップ		対象機関	回数	参加者数	参加希望	参加確定	鳥取大学工学部	8回	69名	8名	1名	鳥取大学農学部	1回	12名	3名	3名	鳥取環境大学	3回	7名	2名	2名	その他			16名	16名	合計	12回	84名	29名	22名	参加学生数	就職（内定者）数	進学者数	備考	12名	4名（県外）	8名	就職者4名は、県外出身者	参加学生数	就職（内定者）数	進学者数	就活中	調査中	不明	不回答	23名	5名（県外）	2名	4名	4名	7名	1名	項目	回答	①参加して良かったか	良かった：100.0%	②鳥取県企業への関心が高まったか	高まった：72.7%	③鳥取の企業を就職対象とするか	就職先として考える：63.6%	高校名	紹介数	備考	鳥取県立境港総合技術高等学校	5社紹介		※米子南高等学校(商業高校)	19社紹介		高校名	支援内容	備考	鳥取県立鳥取工業高等学校	鳥工版デュアルシステムの受入支援企業紹介、サテライトルーム1の貸出し調整等	
項目	全体	県内																																																																																											
サイトアクセス件数	7,123件	3,309件(H24.4.1~H25.3.31)																																																																																											
開設時以降	17,033件	8,931件(H22.2.25~H25.3.31)																																																																																											
STEP登録件数	132件	(H24.4.1~H25.3.31)																																																																																											
インターンシップ相談会（説明会含む）			インターンシップ																																																																																										
対象機関	回数	参加者数	参加希望	参加確定																																																																																									
鳥取大学工学部	8回	69名	8名	1名																																																																																									
鳥取大学農学部	1回	12名	3名	3名																																																																																									
鳥取環境大学	3回	7名	2名	2名																																																																																									
その他			16名	16名																																																																																									
合計	12回	84名	29名	22名																																																																																									
参加学生数	就職（内定者）数	進学者数	備考																																																																																										
12名	4名（県外）	8名	就職者4名は、県外出身者																																																																																										
参加学生数	就職（内定者）数	進学者数	就活中	調査中	不明	不回答																																																																																							
23名	5名（県外）	2名	4名	4名	7名	1名																																																																																							
項目	回答																																																																																												
①参加して良かったか	良かった：100.0%																																																																																												
②鳥取県企業への関心が高まったか	高まった：72.7%																																																																																												
③鳥取の企業を就職対象とするか	就職先として考える：63.6%																																																																																												
高校名	紹介数	備考																																																																																											
鳥取県立境港総合技術高等学校	5社紹介																																																																																												
※米子南高等学校(商業高校)	19社紹介																																																																																												
高校名	支援内容	備考																																																																																											
鳥取県立鳥取工業高等学校	鳥工版デュアルシステムの受入支援企業紹介、サテライトルーム1の貸出し調整等																																																																																												

事業名・内容	事業の実績等		
	・工業系高校地域委員会等への参加		
	高校名	参加者	備考
	鳥取県立鳥取湖陵高校	濱田コーディネーター	
	鳥取県立境港総合技術高校	山内G長	
	鳥取県立鳥取工業高校	山内G長、濱田コーディネーター	

産学金官の連携促進の支援

I 県内産業における新技術等の開発のためその研究の拠点形成を担う中核機関として、産学金官の連携を促進する。

1. 染色体工学研究拠点の形成の支援

(1) イノベーションシステム整備事業

鳥取大学が有する染色体工学技術によるタンパク産生などの基盤研究の拡充と、医薬メーカー等との連携によるヒト人工染色体ベクター等を使用したヒト型遺伝子モデルマウス（CYP3Aなど）を保持したバイオマーカー評価系の高性能化、さらに産学官での研究連携による食品素材の機能性評価研究と商品化を目指すとともに、バイオ人材の育成も行う、染色体工学研究拠点の形成を目指す。

- ・ 県内食品関係企業は、鳥大と共同研究を行った食品素材の機能評価を活用し、今後、商品の開発や販売の促進を行うこととしている。
- ・ 研究成果の検証、効率向上、HAC/MACマウスでの機能性評価システムの構築等を行った。

○研究開発の実施・進捗状況

- ・ 研究総括：押村鳥取大学染色体工学研究センター長
- ・ 県内外の民間企業等の参加により3つの研究テーマを推進
- ・ 最終年度である今年度は、平成23年度の研究を引続き継続し、研究テーマを達成した。

テーマ名	リーダー	備考
①染色体工学技術に係る基盤研究開発	押村光雄教授	・公のセミナー・シンポジウム等で研究成果を発表
②染色体工学を用いた医薬品開発支援ツールの開発	押村光雄教授	・モデル細胞及びモデル動物を開発し、特許出願又は出願予定
③染色体工学を用いた食品機能性評価に係るシステムの開発と地域機能性食品の評価・商品化	佐藤健三教授	・骨形成等評価マウスの作製と食品素材の機能評価と臨床試験を実施

○コーディネーター等の支援状況

コーディネーター	人数	支援内容	備考
科学技術コーディネーター	1人	研究開発の推進 ・県内企業16社（4月に1社増）、県外企業11社が参画し、鳥取大学と共同研究 ・県内食品関係企業は、鳥大との共同研究で食品素材の機能評価	とっとりバイフロンティアに配置

○会議等の開催状況

- ・ 研究推進会議（平成22～24年度成果報告会）（11/13）

* これまでの取組や成果・実績

テーマ名	研究開発の実績
①染色体工学技術に係る基盤研究開発	
(24年度目標) HACベクターを医療・産業応用するための応用可能なツールの実用化	a 宿主細胞への人工染色体の導入効率の向上 b HACベクターを治療用ベクターとしての安定発現を確認(血友病関係) c 研究成果をベンチャー企業の設立に繋げた。
②染色体工学を用いた医薬品開発支援ツールの開発	
(24年度目標) ヒトCYP3A-HACマウスの医療品開発ツールと	a キメラマウスの作製技術を開発、薬物代謝能力について評価試験を実施

事業名・内容	事業の実績等																																															
	<p>しての実用化</p>	<p>b CYPA3A遺伝子を組み入れたHACを導入したモデルマウスの薬剤投与試験により評価解析を実施</p> <p>c 肝臓細胞作出の基礎技術の構築、毒性応答遺伝子発現を発光・蛍光モニターで再現するHACベクターの構築</p>	<p>染色体工学を用いた食品機能性評価に係るシステムの開発と地域機能性食品の評価・商品化</p>																																													
	<p>(24年度目標) モデル動物、モデル細胞を用いた食品の機能性評価システムの確立と地域食品の機能性評価</p>	<p>a 骨形成マーカーを用いた発光モデルマウスの作製による骨形成機能評価システムの開発、グルコサミン等が骨形成に寄与する素材であることを確認</p> <p>b ストレス、絶食、膵臓疾患による膵臓機能の亢進や黒ニンニクエキスによるPAL-1発現の誘導、脂肪蓄積の減少を確認</p> <p>c 地域製造ヨーグルト。桑の葉エキス等の臨床試験を実施</p>																																														
<p>(2) とっとりバイオフィロンティア管理運営事業</p> <p>鳥取県より指定管理者の指定(平成23～25年度)を受け、とっとりバイオフィロンティア施設の居室・機器の企業・大学への貸し出しを行うほか、施設内の清掃・機器管理等の業務を行う。</p> <p>また、施設利用者への機器操作の支援、研究開発・事業化に関する相談を行うほか、とっとりバイオフィロンティア内にバイオ人材育成コーディネーター・サブコーディネーターを配置し、バイオに係る専門人材育成のための研修プログラムの講義を行う。</p> <p>鳥取大学より動物実験施設を借り受け、マウス飼育部屋として企業等へ貸し出しを行う。</p>	<p>事業運営委員会、関係機関との会議を定期的に開催し、適切な施設の管理運営に努めている。人材育成講座を引き続き適切に実施するとともに、施設の利便性を高めたことで、機器利用の利用率が向上した。</p> <p>○コーディネーター等の支援状況</p> <table border="1" data-bbox="453 987 1493 1106"> <thead> <tr> <th>コーディネーター等</th> <th>人数</th> <th>支援内容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人材育成コーディネーター</td> <td>2人</td> <td>人材育成講座の実施</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機器管理担当スタッフ</td> <td>1人</td> <td>機器利用の促進</td> <td>24年度新規</td> </tr> </tbody> </table> <p>○専門人材育成研修講座の実施状況</p> <p>12講座開催、240名参加(参考 H23:参加延べ人数275名)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度は、鳥取大学の協力を受け連携講座を開催することで、産学官が連携してバイオ人材の育成を実施 地元企業、住民の方を対象とした講座を開催し、バイオフィロンティアの周知、バイオ人材の底辺を広げるきっかけづくり 講座参加者のアンケート結果 満足・やや満足の回答割合 92% <p>◎人材育成講座の開催状況については、資料編(41ページ)に記載</p> <p>○動物実験施設の貸出状況</p> <table border="1" data-bbox="453 1570 1493 1765"> <thead> <tr> <th>利用種別</th> <th>設置数</th> <th>利用数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>居室</td> <td>4室</td> <td>4室</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実験室</td> <td>4室</td> <td>2室</td> <td>(H25.4に2企業入居済み)</td> </tr> <tr> <td>動物飼育室</td> <td>4室</td> <td>0室</td> <td></td> </tr> <tr> <td>動物飼育室(鳥大5階)</td> <td>2室</td> <td>2室</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○2階機器利用回数</p> <table border="1" data-bbox="453 1845 951 2002"> <thead> <tr> <th>利用月</th> <th>利用回数</th> <th>月平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4～9月</td> <td>2,385回</td> <td>397回</td> </tr> <tr> <td>10～3月</td> <td>4,783回</td> <td>797回</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,168回</td> <td>597回</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 2階開放機器の利用促進と利用者へのサービス向上のために、9月21日に利用料金区分の追加(一般機器1日上限1,000円等)等の改定を実施 				コーディネーター等	人数	支援内容	備考	人材育成コーディネーター	2人	人材育成講座の実施		機器管理担当スタッフ	1人	機器利用の促進	24年度新規	利用種別	設置数	利用数	備考	居室	4室	4室		実験室	4室	2室	(H25.4に2企業入居済み)	動物飼育室	4室	0室		動物飼育室(鳥大5階)	2室	2室		利用月	利用回数	月平均	4～9月	2,385回	397回	10～3月	4,783回	797回	合計	7,168回	597回
コーディネーター等	人数	支援内容	備考																																													
人材育成コーディネーター	2人	人材育成講座の実施																																														
機器管理担当スタッフ	1人	機器利用の促進	24年度新規																																													
利用種別	設置数	利用数	備考																																													
居室	4室	4室																																														
実験室	4室	2室	(H25.4に2企業入居済み)																																													
動物飼育室	4室	0室																																														
動物飼育室(鳥大5階)	2室	2室																																														
利用月	利用回数	月平均																																														
4～9月	2,385回	397回																																														
10～3月	4,783回	797回																																														
合計	7,168回	597回																																														

事業名・内容	事業の実績等
<p>(3) とっとりバイオフロンティア基金事業</p> <p>基金を設置し、とっとりバイオフロンティアの施設機能の充実及び利用者に対するサービス向上に取り組むことで、共同研究の推進や研究開発の強化を支援する。</p>	<p>施設整備等を行い、利用者へのサービス向上と機能充実を図ることとしていたが、交付が年度末になったことから、全額を繰り越したうえで平成25年度以降執行することとしている。</p> <p>①施設設備・機器整備業務 ②施設利用促進業務 ③バイオ人材育成講座等の研修業務 ④先進施設や類似施設の視察、研修等の職員研修事業</p>

2. 国際先導的有害性試験法の開発

<p>(1) 石油製品需給適正化調査等事業</p> <p>鳥取大学との共同研究契約により、化学物質によって毒性が発現する可能性が高い肝毒性、腎毒性、神経毒性のそれぞれの毒性に関する有害性評価システムについて、簡便で高精度の試験管内 (in vitro) 試験系の開発を、とっとりバイオフロンティアを研究実施拠点とし、県外の試験研究機関と連携して試みる。</p>	<p>研究の進展状況は、概ね計画どおり。</p> <p>○研究開発の実施・進捗状況 平成23年度から実施した4つの研究テーマを推進（平成23年8月から5年間の事業） 平成25年度末を中間評価することとしており、平成24年度においては、各参画機関で事業を実施したところ。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ名</th> <th>参画機関</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 染色体工学技術を活用した肝毒性及び腎毒性評価系の開発</td> <td>機構、鳥大、岡大</td> </tr> <tr> <td>② 神経毒性物質評価のための高精度Invitro試験法の開発</td> <td>住友化学</td> </tr> <tr> <td>③ 複数のinvitro試験を迅速かつ効果的に実施可能なHTP試験システムの開発</td> <td>産総研</td> </tr> <tr> <td>④ ヒトの代謝機能を導入したinvitro試験法の開発</td> <td>食薬センター</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎研究開発の状況については、資料編(42ページ)に記載</p> <p>○会議等の開催状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究推進会議開催（8/2、11/16、1/11） ・研究推進委員会開催（9/28、2/8） 	テーマ名	参画機関	① 染色体工学技術を活用した肝毒性及び腎毒性評価系の開発	機構、鳥大、岡大	② 神経毒性物質評価のための高精度Invitro試験法の開発	住友化学	③ 複数のinvitro試験を迅速かつ効果的に実施可能なHTP試験システムの開発	産総研	④ ヒトの代謝機能を導入したinvitro試験法の開発	食薬センター
テーマ名	参画機関										
① 染色体工学技術を活用した肝毒性及び腎毒性評価系の開発	機構、鳥大、岡大										
② 神経毒性物質評価のための高精度Invitro試験法の開発	住友化学										
③ 複数のinvitro試験を迅速かつ効果的に実施可能なHTP試験システムの開発	産総研										
④ ヒトの代謝機能を導入したinvitro試験法の開発	食薬センター										

3. その他

<p>(1) 戦略的基盤技術高度化支援事業</p> <p>鋳造、鍛造、切削加工、めっき等の20分野技術の向上につながる研究開発からその試作までの取組を支援する国の委託事業である。</p> <p>特に、複数の中小企業や大学、公設試験研究機関等が協力した研究開発であって、この事業の成果を利用した製品の事業化について売上見込みやスケジュールが明らかになっている提案を支援する</p>	<p>県内中小企業のものづくり基盤技術の高度化に資するプロジェクトを事業管理機関として、1件の新規採択案件を含め、継続案件と合わせて4件を支援した。</p> <p>○平成24年度新規採択テーマ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>プロジェクト名</th> <th>参加機関</th> <th>受託額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境対応車用中空シャフトの熱間中空鍛造と回転加工による複合成形技術の開発</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・(株) 明治製作所 ・豊国石油 (株) ・米子工業高専 ・鳥取県産業技術センター </td> <td>44,988 (千円)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※委託契約期間：平成24年9月14日～平成25年3月31日(年更新契約にて26年度末までの予定)</p> <p>○その他の実施中事業テーマ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>プロジェクト名</th> <th>参加機関</th> <th>受託額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>次世代トランスミッション用歯車硬化層の精密制御と量産技術に関する研究 (※23 補正事業)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県金属熱処理(協) ・ファデコ (株) ・鳥取県産業技術センター ・鳥取大学 </td> <td>32,476 (千円) 平成24年12月末終了</td> </tr> <tr> <td>長寿命・高効率照明用 LED モジュール基板の開発</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・(株) フィアライト ・アロー産業 (株) ・太洋住研ホーロー(株) ・鳥取県産業技術センター </td> <td>19,851 (千円) 平成25年3月末終了</td> </tr> </tbody> </table>	プロジェクト名	参加機関	受託額	環境対応車用中空シャフトの熱間中空鍛造と回転加工による複合成形技術の開発	<ul style="list-style-type: none"> ・(株) 明治製作所 ・豊国石油 (株) ・米子工業高専 ・鳥取県産業技術センター 	44,988 (千円)	プロジェクト名	参加機関	受託額	次世代トランスミッション用歯車硬化層の精密制御と量産技術に関する研究 (※23 補正事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県金属熱処理(協) ・ファデコ (株) ・鳥取県産業技術センター ・鳥取大学 	32,476 (千円) 平成24年12月末終了	長寿命・高効率照明用 LED モジュール基板の開発	<ul style="list-style-type: none"> ・(株) フィアライト ・アロー産業 (株) ・太洋住研ホーロー(株) ・鳥取県産業技術センター 	19,851 (千円) 平成25年3月末終了
プロジェクト名	参加機関	受託額														
環境対応車用中空シャフトの熱間中空鍛造と回転加工による複合成形技術の開発	<ul style="list-style-type: none"> ・(株) 明治製作所 ・豊国石油 (株) ・米子工業高専 ・鳥取県産業技術センター 	44,988 (千円)														
プロジェクト名	参加機関	受託額														
次世代トランスミッション用歯車硬化層の精密制御と量産技術に関する研究 (※23 補正事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県金属熱処理(協) ・ファデコ (株) ・鳥取県産業技術センター ・鳥取大学 	32,476 (千円) 平成24年12月末終了														
長寿命・高効率照明用 LED モジュール基板の開発	<ul style="list-style-type: none"> ・(株) フィアライト ・アロー産業 (株) ・太洋住研ホーロー(株) ・鳥取県産業技術センター 	19,851 (千円) 平成25年3月末終了														

事業名・内容	事業の実績等																							
	精密板鍛造の材料歩留りと金型寿命及び金型部品品質向上による低コスト化技術の開発		<ul style="list-style-type: none"> ・(株)寺方工作所 ・(株)プレス技術研究所 ・鳥取県産業技術センター 	21,540 (千円) 平成25年3月末終了																				
※平成25年3月末終了の2テーマは引き続き、H25年度補完研究実施予定																								
○セミナーの開催																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>セミナー名</th> <th>期日</th> <th>参加者数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>競争的研究資金獲得支援セミナー</td> <td>10/11</td> <td>30社46名</td> <td>来年度以降の申請・採択に向けてフォロー</td> </tr> </tbody> </table>					セミナー名	期日	参加者数	備考	競争的研究資金獲得支援セミナー	10/11	30社46名	来年度以降の申請・採択に向けてフォロー												
セミナー名	期日	参加者数	備考																					
競争的研究資金獲得支援セミナー	10/11	30社46名	来年度以降の申請・採択に向けてフォロー																					
○事業化等の実績																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>総数</th> <th>事業化</th> <th>事業化の状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23年度終了まで</td> <td>7件</td> <td>2件</td> <td>田中製作所、金属熱処理(協)</td> </tr> <tr> <td>24年度(3月)</td> <td>8件</td> <td>2件</td> <td>5件が補完研究実施中(フォローアップ 継続中)</td> </tr> </tbody> </table>					区分	総数	事業化	事業化の状況	23年度終了まで	7件	2件	田中製作所、金属熱処理(協)	24年度(3月)	8件	2件	5件が補完研究実施中(フォローアップ 継続中)								
区分	総数	事業化	事業化の状況																					
23年度終了まで	7件	2件	田中製作所、金属熱処理(協)																					
24年度(3月)	8件	2件	5件が補完研究実施中(フォローアップ 継続中)																					
<p>(2)産学官連携の推進</p> <p>次世代産業を育成支援するため、産学金官が連携して開催する「とっとり産業フェスティバル」や「鳥取環境ビジネス交流会」等の催事と協力しながら販路開拓・発注開拓の成果を高めていく。</p>	<p>「とっとり産業フェスティバル」、「鳥取環境ビジネス交流会」に参加し、出展企業の販路拡大等を支援した。</p> <p>○産学金官連携の催事への支援状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>期日</th> <th>支援状況</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取大学産学地域連携推進機構との意見交換会</td> <td>7/31</td> <td>次世代・地域資源産業育成事業について意見交換</td> <td>さざんか会館で開催</td> </tr> <tr> <td>第8回鳥取県産学官コーディネーター連携推進会議</td> <td>8/3</td> <td>38名参加 事務局を担当</td> <td>ホプスターととりにで開催</td> </tr> <tr> <td>とっとり産業フェスティバル</td> <td>10/5～10/6</td> <td>広報担当(チラシ、ポスターの作成、配布)当日のスタッフ派遣(4名) 総来場者数:1,410名</td> <td>「鳥取環境ビジネス交流会」同時開催</td> </tr> <tr> <td>鳥取大学産学地域連携推進機構との意見交換会</td> <td>12/12</td> <td>とっとり産業フェスティバルの運営について 企業のニーズ情報の収集について</td> <td>さざんか会館で開催</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記以外に、毎月、鳥大の産学・地域連携推進室連絡会に参加している他、不定期に開催される産業フェスティバル実行委員会等に出席。</p> <p>※とっとり産業フェスティバルの見直しについて</p> <p>平成25年度以降、実行委員会の運営等に積極的に参加し、さらに販路開拓等に資するよう運営していく。</p> <p>来年度は、実行委員長が鳥大から県へ変更、県・機構・鳥大から副実行委員長を1人ずつ選出して運営を行う。それに伴い、機構が運営に参加する比重が増え、出展企業のとりまとめと商談会を担当する予定。</p>				項目	期日	支援状況	備考	鳥取大学産学地域連携推進機構との意見交換会	7/31	次世代・地域資源産業育成事業について意見交換	さざんか会館で開催	第8回鳥取県産学官コーディネーター連携推進会議	8/3	38名参加 事務局を担当	ホプスターととりにで開催	とっとり産業フェスティバル	10/5～10/6	広報担当(チラシ、ポスターの作成、配布)当日のスタッフ派遣(4名) 総来場者数:1,410名	「鳥取環境ビジネス交流会」同時開催	鳥取大学産学地域連携推進機構との意見交換会	12/12	とっとり産業フェスティバルの運営について 企業のニーズ情報の収集について	さざんか会館で開催
項目	期日	支援状況	備考																					
鳥取大学産学地域連携推進機構との意見交換会	7/31	次世代・地域資源産業育成事業について意見交換	さざんか会館で開催																					
第8回鳥取県産学官コーディネーター連携推進会議	8/3	38名参加 事務局を担当	ホプスターととりにで開催																					
とっとり産業フェスティバル	10/5～10/6	広報担当(チラシ、ポスターの作成、配布)当日のスタッフ派遣(4名) 総来場者数:1,410名	「鳥取環境ビジネス交流会」同時開催																					
鳥取大学産学地域連携推進機構との意見交換会	12/12	とっとり産業フェスティバルの運営について 企業のニーズ情報の収集について	さざんか会館で開催																					
その他																								
1 本部施設の賃貸																								
<p>(1)施設管理事業</p> <p>当財団の施設を入居室として企業へ貸し出しを行うほか、清掃・警備委託等の維持管理を行う。</p>	<p>機構内のサテライトルーム等を企業に貸し出すとともに、施設の適切に管理した。</p> <p>○入居状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>室数</th> <th>入居数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サテライトルーム</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>4/1より1室入居予定</td> </tr> <tr> <td>インキュベートルーム</td> <td>4</td> <td>4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※会議室として利用している1室を除く</p>				区分	室数	入居数	備考	サテライトルーム	12	10	4/1より1室入居予定	インキュベートルーム	4	4									
区分	室数	入居数	備考																					
サテライトルーム	12	10	4/1より1室入居予定																					
インキュベートルーム	4	4																						

事業名・内容	事業の実績等																																														
	○修繕等施設管理の状況 1件1,000千円超の修繕なし。																																														
<p>(2) 県中部地区での相談会開催</p> <p>当財団の業務サービスを県内企業に広く提供するために県中部地区に当財団職員が出向いて経営・知財・企業再生等の相談会を開催する。</p>	<p>県中部地域において、特許相談の実施や産学金官の連携を推進するとともに、企業取引コーディネーター等が受注機会の拡大等を支援した。</p> <p>○中部地区における企業支援の状況</p> <table border="1" data-bbox="456 405 1489 683"> <thead> <tr> <th>支援項目</th> <th>場所</th> <th>回数等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特許相談</td> <td>倉吉商工会議所</td> <td>6回開催</td> <td></td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>倉吉図書館</td> <td>7回開催</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中部地区産学金官連携推進連絡会</td> <td>倉吉商工会議所</td> <td></td> <td>1/28開催</td> </tr> <tr> <td>琴浦町産学金官連携情報交換会</td> <td>ホテル東伯イン</td> <td></td> <td>2/22開催</td> </tr> </tbody> </table>					支援項目	場所	回数等	備考	特許相談	倉吉商工会議所	6回開催		〃	倉吉図書館	7回開催		中部地区産学金官連携推進連絡会	倉吉商工会議所		1/28開催	琴浦町産学金官連携情報交換会	ホテル東伯イン		2/22開催																						
支援項目	場所	回数等	備考																																												
特許相談	倉吉商工会議所	6回開催																																													
〃	倉吉図書館	7回開催																																													
中部地区産学金官連携推進連絡会	倉吉商工会議所		1/28開催																																												
琴浦町産学金官連携情報交換会	ホテル東伯イン		2/22開催																																												
2 管理運営費																																															
<p>(1) 基幹事業に係る人件費</p> <p>当財団の組織体制を強化するために、プロパー職員を中心とした組織体制への移行を図る。</p> <p>①プロパー職員の増員</p> <p>現在（平成23年度末現在）10名の職員を11名へ増員する。</p> <p>②事業の継続性確保</p> <p>前年同様、当財団が実施すべき核となる次の事業を「基幹事業」として位置付け、その実施に必要な組織及び人員の定数化を図り、事業の継続性を確保する。</p>	<p>プロパー職員を新たに2名採用し、機構全体で13名体制とし、事業の継続性の確保、組織体制の強化を図った。</p> <p>なお、欠員となっているコーディネーターの確保に努める。</p> <p>○職員の採用状況</p> <table border="1" data-bbox="456 943 1489 1543"> <thead> <tr> <th>採用内容（人数）</th> <th>採用時期</th> <th colspan="2">試験実施</th> <th>受験者数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>LED機構設計支援員（1）</td> <td>採用者なし 8月（1）</td> <td>書類6月 書類7月</td> <td>面接6月 面接7月</td> <td>2 1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>リサイクル販路開拓コーディネーター（1）</td> <td>7月（1）</td> <td>書類6月</td> <td>面接6月</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>常勤職員（2）</td> <td>9月（2）</td> <td>1次（筆記）</td> <td>2次（面接）</td> <td>31</td> <td></td> </tr> <tr> <td>農商工連携専門コーディネーター（2）</td> <td>採用者なし 10月（1） 採用者なし 採用者なし</td> <td>書類8月 書類9月 書類10月 書類12月</td> <td>面接未実施 面接9月 面接11月 面接12月</td> <td>2 1 1 2</td> <td>販路開拓担当1人欠員</td> </tr> <tr> <td>エコカースタッフ（1）</td> <td>11月（1）</td> <td>書類10月</td> <td>面接10月</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>エコカーマネージャー（1）</td> <td>1月（1）</td> <td>書類11月</td> <td>面接11月</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○組織体制の整備に関する実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス研修の実施 東部2回、西部2回（計4回開催） 					採用内容（人数）	採用時期	試験実施		受験者数	備考	LED機構設計支援員（1）	採用者なし 8月（1）	書類6月 書類7月	面接6月 面接7月	2 1		リサイクル販路開拓コーディネーター（1）	7月（1）	書類6月	面接6月	5		常勤職員（2）	9月（2）	1次（筆記）	2次（面接）	31		農商工連携専門コーディネーター（2）	採用者なし 10月（1） 採用者なし 採用者なし	書類8月 書類9月 書類10月 書類12月	面接未実施 面接9月 面接11月 面接12月	2 1 1 2	販路開拓担当1人欠員	エコカースタッフ（1）	11月（1）	書類10月	面接10月	1		エコカーマネージャー（1）	1月（1）	書類11月	面接11月	1	
採用内容（人数）	採用時期	試験実施		受験者数	備考																																										
LED機構設計支援員（1）	採用者なし 8月（1）	書類6月 書類7月	面接6月 面接7月	2 1																																											
リサイクル販路開拓コーディネーター（1）	7月（1）	書類6月	面接6月	5																																											
常勤職員（2）	9月（2）	1次（筆記）	2次（面接）	31																																											
農商工連携専門コーディネーター（2）	採用者なし 10月（1） 採用者なし 採用者なし	書類8月 書類9月 書類10月 書類12月	面接未実施 面接9月 面接11月 面接12月	2 1 1 2	販路開拓担当1人欠員																																										
エコカースタッフ（1）	11月（1）	書類10月	面接10月	1																																											
エコカーマネージャー（1）	1月（1）	書類11月	面接11月	1																																											

別表

事業名		項目	実績数値	その他の指標
事業化育成支援事業		マネージャー支援件数	延べ支援件数 1,065 件、 実件数 296 法人	
県内企業海外チャレンジ支援事業		補助金採択件数	10 件	採択金額 6,567 千円
受発注情報等収集提供事業		コーディネーター成立件数	372 件	成立金額 248,981 千円
緊急発注プロジェクト				成立金額 88,889 千円
専門展示会出展支援事業	国内	出展件数、法人数	6 件、18 社(延べ)	成立金額 14,741 千円
	海外	出展件数、法人数	4 件、19 社(延べ)	成立金額 1,620 千円
商談会等開催事業	食品関連	出展件数、法人数	4 件、70 社	成立金額 11,785 千円
	電機・機械関連	出展件数、法人数	5 件、57 社	成立金額 510 千円
	ものづくり系	出展件数、法人数	4 件、106 社	成立金額 2,768 千円
海外商談会		出展件数、法人数	4 件、34 社	成立金額 12,520 千円
ロシアビジネスサポートセンター事業		相談件数	367 件	
貿易支援体制整備事業		コーディネーター支援件数	817 件	
		アドバイザー助成件数	1 件	
環日本海圏経済交流支援事業		コーディネーター支援件数	64 件	
		スタッフ支援件数	542 件	
専門家派遣事業		派遣件数	42 先	
再生支援協議会事業		2 次対応件数(完了)	8 件	
中小企業相談支援事業		相談件数、派遣件数	66 件、133 件	
ものづくりカイゼン塾		開催回数、参加者数	6 講座、410 名	満足度 79%~95%
ISO 等取得促進事業		開催回数、参加者数	4 回、91 名	満足度 79%
情報化基盤整備促進事業		開催回数、参加者数	1 回、46 人	満足度 100%
エコカー関連産業育成・支援事業		マネージャー等支援件数	83 件	
新先端技術マッチング支援事業		開催回数、参加者数	1 回、39 名	満足度 90%~100%
知的財産活用ビジネス支援事業		事業化支援件数	6 件	
特許流通支援事業		特許成約件数	32 件(企業訪問 337 件)	
特許流通フェア事業		出展件数、参加者数	1 件、4 社	
中小企業外国出願支援事業		出願件数	4 件	
特許等取得活用支援事業		コーディネーター支援件数	712 件(企業訪問 85 件)	
ベンチャー企業創出育成支援事業		専門家派遣件数	12 件	
		ベンチャー企業補助件数	12 件	補助金額 42,275 千円 起業数 18 社(累計)
		ベンチャーマーケット出展件数	5 社	
リサイクル産業クラスター形成支援事業		新規企業数	10 社	
次世代環境産業創出プロジェクト事業		プロジェクト数	3 件	
太陽光発電システム施工・維持管理研修事業		受講者数	52 名	知識の向上等 72%
LED 産業競争力強化事業		支援案件数	9 件	
リサイクル産業育成・支援事業		コーディネーター企業訪問件数	99 件	
研究開発事業		採択件数	7 件	採択金額 3,863 千円
次世代・地域資源産業育成事業		採択件数	19 件	採択金額 122,576 千円 事業化件数 64 件(累計)
農商工連携ファンド事業		採択件数	7 件	採択金額 26,029 千円 事業化件数 35 件(累計)
農商工連携研究開発支援事業		採択件数	3 件	採択金額 1,800 千円 事業化件数 4 件(累計)
地域資源活用・農商工連携促進事業		コーディネーター支援件数	131 件	公募事業件数 4 件
6 次産業総合推進事業		事業化計画認定数	6 件	
県内産業の人材育成・確保促進事業	トップセミナー	開催回数、参加者数	2 回、116 名	満足度 61%、77%
	中堅リーダー育成	開催回数、参加者数	8 回、20 名	理解度 79%、95%
	インターンシップ	参加者数	22 名	
とっとりバイオフロンティア管理運営事業	専門人材育成	研修参加者数	240 名	満足度 92%
	機器利用回数	機器利用回数	7,168 回	

平成24年度実績報告（資料編）

○専門展示会（海外）支援状況（A-I-2-（4））

期日	名称・場所	出展企業数	商談件数	成立金額	販路開拓等に結びついた事例等
8/16 ～ 8/18	香港FOOD EXPO	2社（エムケイ開 発、エムコ）	56件	0円	<ul style="list-style-type: none"> 鮮度保持輸送システム技術を保有する関西の企業が香港一等地（コズウェイ）にアンテナショップ「JAPANプレミアムストア」の開設構想を進めており、県西部企業が地元青果商材等の出展販売を協議中。 今後の販路展開について協議中
9/6 ～ 9/11	吉林投資貿 易博覧会	5社（澤井珈琲、山 根農機、KSトレード、 石田商事、片山電 気）	100件	0円	<ul style="list-style-type: none"> 県西部企業取扱の精米機を鳥取県内企業の現地法人を窓口として吉林省を中心に販売展開を調整中。 県東部企業が展示会でのニーズを踏まえ、大連の同社海外事務所の現地法人化手続を進め、販売体制強化に着手中。 代理店契約等継続協議中
10/3 ～ 10/5	鳥取ブラン ド展inロシ ア(DALAGRO 食品専門展 出展)	7社（南部町役場、 澤井珈琲、エムコ、 かのや、J.A.鳥取、 シャルビー）	輸入者確定 済のため現 地での販促 を実施。	約42万円 （現地で の販売金 額、店舗販 売分を除 く。）	<ul style="list-style-type: none"> 5月のバイヤー招聘による事前商談会等をもとに県内6社の商材輸出を実施。鳥取ブランド展として輸出商材企業による現地での販促を実施した。 許認可手続き及び輸出手続を踏まえ、実際に現地で価格を付けて販売 出展7社中2社の商材は、量は多くないものの1～2カ月に1度のペースで定期的な受注、混載輸出が継続。 商材輸出手続が間に合わなかった企業についても現地での商談を実施し、その後販促用サンプル商材の販売・輸出を実施。ロシア側で販路開拓中。
11/1 ～ 11/3	シンガポ ールOishii Japan	5社（稲田本店、エ ムケイ開発、越河、 さんこうえん、フ ァイナル）	93件	120万円 成約3件	<ul style="list-style-type: none"> 商談件数は多くなかったが、タイや香港など東南アジア地域のバイヤーも多く来場し、成約見込みの高い商談が多かった。 輸出が比較的容易なフリーポートでもあり、今後発展が期待される東南アジア諸国及び中国等への販路展開の窓口としても期待できる。

○商談会等開催状況（A-I-3-（1））

食品関連

期日	名称・場所	参加者数	商談件数	成立金額	販路開拓等に結びついた事例等
4/19 ～ 4/21	おーばん水産商談 会	店舗視；4店、工場 視察；12社	2件	452千円	<p>（食品関連）</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年の3月に発生した東日本大震災をきっかけに東北のバイヤーとつながりを持ち、本年度4月から5月にかけて鳥取物産展（催事）を福島県及び青森県で開催。 鳥取県から9社出展し、多くの来場者あり。成約金額も8,563千円に及んだ。
4/25 ～ 305/2 ～7	催事 鳥取県物産展（福 島中合店） （中合三春屋店）	6社 3社		6,067千円 2,496千円	
6/27 ～ 6/28	鳥銀食品商談会：ホ テルサンルート米 子	バイヤー；4社、セ ラー；31社、工場 視察；7社	成立15件 推進22件	2,770千円	
7/10 7/12	マルイ車尾店との 商談	工場視察；11社	マルイ車尾店による商品取 扱い		

電機・機械関連（提案型）

期日	名称	参加者	商談件数・折衝状況	販路開拓等に結びついた事例等
6/28	シャープ㈱ニーズ プレゼン会・個別商 談会	・ニーズプレゼン 会27社1大学、 1高校、3機関 計70名	10件 ⇒継続8件が9/12のSHARP商談 会へ、断念2件	
7/3 7/4	デンソー展示商談 会	22社	44件、672名来場 ⇒商談中成立見込あり5件、継 続中37件、断念2件（3/31）	<ul style="list-style-type: none"> 商談会事業においては、昨年度から準備してきた「デンソー向展示商談会」が実施できた。鳥取県から22社出展し、デンソー側から672

				<p>人の技術者等が来場された。 ～現在これをきっかけに名古屋のメーカーから鳥取県の企業に対し、金型発注がなされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> デンソー展示商談会で、成立見込みのある案件は5件あるが、自動車は成立まで3～5年がかかるため、慎重に進める必要がある。⇒成立に向けてティアワンメーカー（自動車メーカー直下の第1次下請け業者、主力部品供給業者）より訪問いただき、打ち合わせなど継続的に進めている。
7/12 7/13	積水ハウス 商談会	20社	20件 ⇒成立1件(510千円)、継続5件、 断念14件 (3/31)	<ul style="list-style-type: none"> 商談会で提案したウッドデッキ資材が、大手ハウスメーカー（積水ハウス）の山陰支店との成約に至った。
7/25	鳥取県LED関連産業 企業商談会 in 関西	発注18社、県内受注5社	42件 ⇒継続7件（うち4件サンプル成立） ・保留0件・断念35件(3/31)	<ul style="list-style-type: none"> LED商談が進み、サンプル43万円を受注
9/12	SHARP商談会	5社	8件⇒継続8件 (3/31)	
2/13	マツダ展示商談会	5社	来場者の関心高く好感触 126件⇒継続中・5社とも再訪問してプレゼンを実施	<ul style="list-style-type: none"> マツダ来場者アンケートの結果、商談したい企業、改善すれば商談したい企業の上に県内5社がランキングされた。

モノづくり系

期日	名称	参加者	商談件数・折衝状況	
8/7	中国ブロック 商談会	発注62社、県内受注29社	83件 ⇒成立4件(837千円)、継続62件、 断念17件 (3/31)	
9/12	企業発掘商談会in 津山	発注8社、県内受注29社	87件 ⇒成立5件(570千円)、継続49件、 断念33件 (3/31)	<ul style="list-style-type: none"> 9月の発掘商談会で面談した企業より10月以降も毎月、継続して仕事を受注している。
12/11	鳥取県進出企業等 商談会	発注10社 県内受注26社	65件 ⇒成立3件(1,361千円)、継続48件、 断念14件 (3/31)	
2/21 2/22	近畿・四国合同商談 会	発注133社 県内受注22社	61件 図面見積を多数いただいた⇒ 成立0件、継続55件、断念6件 (3/31)	<ul style="list-style-type: none"> 近畿・四国合同商談会では発注企業が広範囲だったため、普段出会えない企業とも面談することができた。

○商談会開催状況（A-I-3-(1)）

期日	名称・場所	参加者数	商談件数	成立金額	
7/17	香港事前商談会：米子 商工会議所	5社	10件	本商談会 に商談を 引継ぎ	バイヤー3社を招聘し、8月本番に向けた価格設定や商品開発に取り組むための事前調整を実施し、本番の効率的商談に向けた事前準備ができた。
8/20	香港商談会：ノボテル センチュリー 出展形態：香港バイヤー30社程度との商談 会実施	6社	45件	1,200 万円	各企業が事前商談会を踏まえた現地での商談会を実施し、商談会で面識のできたバイヤーを個別訪問、サンプル提供するなど、引き続き成約に向けたフォローアップを実施している。
5/28	ロシアの事前商談会： 米子CC	11社	23件	約52万円	事前商談の結果を踏まえて10月の鳥取ブランド展に向けた出荷を実施。 ロシアの許認可手続きを踏まえ実際の現地販売に繋げることが出来た。
3/11	食品輸出商談会 in 山 陰2013：松江東急イン	12社	21件	—	ジェットロと共催でカナダ、ドイツ、ロシア、アラブ首長国連邦（UAE）、フィリピン、台湾、香港、シンガポールの日本食に関心のある企業3社を招へいし、山陰地域の食材や食品を商談した。

○ものづくりカイゼン塾（A-II-2-（1））

期日	名称・場所	・講師・講演内容	参加者数	備考
4/26	「自動車産業新規参入者支援セミナー」	・今井 秀一 氏(㈱ワールドテック顧問) 「自動車部品産業に求められる姿」 「展示会でのポイント」 ・寺倉 修 氏 (㈱ワールドテック代表取締役社長) 「自動車部品品質と設計の取り組み」	30名	
第1回：8/25 第2回：9/8 第3回：9/21	「経営者のための販売戦略塾」	・大平 孝 氏 (㈱ゴールドボン代表取締役) マーケット分析、商品開発、販売戦略等	43名 47名 43名	全3回
10/16	「医療・福祉・健康機器分野新規参入者支援セミナー」	・西尾 治一 氏 (NPO法人医工連携推進機構理事) 「医療機器ビジネスの特徴と中小企業」 ・鈴木 庸介 氏 (㈱スズキプレシオン代表取締役会長) 「医療機器分野の実状とものづくり企業の参入体験」 ・宮本 雅臣 氏 (中国経済産業局地域経済部) 「医療機器開発に係る国の施策～中国地域における採択事例から～」	80名	
11/8	「商品開発・企画力向上セミナー」	・山村 真一 氏(㈱コボ代表取締役社長) 「自社の強みを活かす商品開発のはじめかた」 ・亀崎 高志 氏 (地独)鳥取県産業技術センター) 「鳥取県における産業デザイン振興の取り組みについて」	54名	
第1回：2/7 第2回：2/8	「生産現場カイゼン講座」	・加藤 瑠一 氏(㈱アルマ経営研究所 執行役員 チーフコンサルタント) 「生産管理・改善の理論と方法」	37名 37名	
3/6	「知的財産活用グローバル展開セミナー」	・李 原馥 氏 (財原州テクノバレー院長) ・徐 廷赫 氏 (同 院長代理) 「韓国と日本の医療機器部品素材連携協力」 ・茂木 裕之 氏 ((独)工業所有権情報・研修館 海外知的財産プロデューサー) 「海外事業展開に向けた課題」	39名	

○とっとり発ベンチャー企業補助金(採択分のみ) (B-I-4-(1))

第1回審査会 (H24.6.29) (申請4件)

申請者	事業内容	採択金額	備考
㈱ジーピーシー研究所	「医薬品開発の初期段階における創薬支援事業」	2,666	
明倫まちづくり合同会社	「コミュニティ活性化のため蜂蜜酒の製造販売を地域の生業に育てる」	1,349	
小計	2件	4,015千円	

第2回審査会 (H24.8.21) (申請6件)

申請者	事業内容	採択金額	備考
㈱Soundscape Music Records	「年齢性別問わず音楽を基盤とした地域の活力作りを邁進し、すぐ側に夢を実現させる事が出来るプロジェクト」	5,000	
㈱eu-PLUTINUM& Co.	「医療機関及び地域医療へ負担をかけない医療旅行の実現とそれに伴う地域経済活性化と国際化及び公衆衛生向上」	1,775	
ジーライト㈱	「廃ガラスと鶏糞を材料としたガラス発泡材を圧力容器にて高圧処理し高リン酸肥料の製造方法の確立をする」	3,040	
㈱スリーアール	「リサイクル材を活用して、アスファルト表面をシーリングすることにより、再舗装の経費を少なくする研究開発」	2,605	
㈱朝井	「子どもから高齢者まで楽しめ、健康・体力維持が図れるグラウンド・ゴルフの屋内プレー用具を普及させる」	2,810	
小計	5件	15,230千円	

第3回審査会 (H24.10.5) (申請1件)

不採択

第4回審査会(申請なし)

第5回審査会 (H25.1.31) (申請3件)

申請者	事業内容	採択金額	備考
(株)Ma o	「障がい者も、共に豊かに生活できるスキルアップを図るための様々な講座を通じ、納税者としての自立も目指す事業」	5,000	
(株)結	「精神障がい者が笑顔でその人らしく人生を送るために！その人の夢や希望を大事に退院後の生活を応援します」	5,000	
日本トレーディングシステム(株)	「多様なシステム関連業務に精通するプロ集団による中小企業の利益につながるシステム化支援プロジェクト」	4,380	
小計	3件	14,380千円	

第6回審査会 (H25.3.15) (申請2件)

申請者	事業内容	採択金額	備考
(株)コミュニティファーム	「郊外休耕地と商店街空店舗を活用した食の6次産業化による持続可能な地域ビジネスモデルの開発」	3,650	
合同会社健康塾	「高齢者の運動機能を把握するソフトを活用した介護予防重視型デイサービス及びソフトの販売事業」	5,000	
小計	2件	8,650千円	

○リサイクル産業クラスター形成の状況 (B-II-1-(1))

期日	名称	参加者数	研究開発の内容等	連携企業等
6/22	①「鳥取・島根連携鉄鋼スラグ等商品化研究会 (陸上用途)」	出席者22名	安全性の確保、特に重金属溶出抑制、二次コンクリートの材料としての可能性について協議	米子製鋼、湯川建設、やまこう建設、日本ハイコン、日立金属、大福工業、平井建設、鳥取県、島根県、鳥取大学、松江高専
4/19	「蛍光管リサイクル」(研究会)(注)	出席者11名	・装置開発(水銀除去、ガラス洗浄)が終わり、一般廃棄物リサイクルの仕組みの構築 ・新たに、最終汚泥残差(水銀、蛍光粉、凝集剤)のリサイクルを行う共英製鋼(山口県)との連携	V・TEC、紺本鉄工所、遠藤鉄工所、技工社、フジ化成工業、鳥取再資源化研究所、鳥取県産業技術センター、鳥取県衛生環境研究所
4~6月	「バイオマス資源有効利用」(取り組み)	9名	中国電力火力発電所の燃料に供給するため、バイオマス資源の過熱水蒸気技術を活用し、減容化装置の開発 実証実験を踏まえ、減容化による燃焼率の高い条件を見出す。ジョンソンボイラ(大阪)と連携が可能、具体的に推進	赤松産業、東洋建設、J A鳥取西部、とっとり花回廊、鳥取大学、東京海洋大学、(予定：鳥取県産業技術センター)、ジョンソンボイラー
7/10	「鳥取・島根連携鉄鋼スラグ等商品化研究会(海洋用途)」	出席者25名	6月に開催した「陸上用途」に続き海洋用途の研究会を開催	米子製鋼、湯川建設、やまこう建設、日本ハイコン、日立金属、大福工業、平井建設、鳥取県、島根県、鳥取大学、松江高専
7~8月	環境観光資源としての温泉熱駆動エンジンの開発(取り組み)	3名	皆生温泉、東郷温泉、三朝温泉、関金温泉、はわい温泉など多数の温泉地を持つ温泉熱(地熱)エネルギー資源を活用	カンダ技工、米子高専
7月(新規)	環境浄化材の開発と実用化に関する研究(取り組み)	4名	半導体工場等で使用するフッ素吸着、リン吸着材の開発	昭和化学工業、産業技術総合研究所1社
7~8月(新規)	養魚用魚粉の開発(取り組み)	3名	急速冷却装置の開発とリサイクル魚粉の品質劣化を抑え、ハイレベルな魚粉の開発	錦海化成工業、三浦鉄工 2社
10/30	鳥取・島根鉄鋼スラグ等商品化研究会	31名	鳥取・島根両県が連携し、鉄鋼スラグ等の排出者や再生利用者、研究機関、行政機関などの関係者が一同に会し、鉄鋼スラグ等の有効利用、利用促進に係る課題を協議 循環型社会の実現に向けた具体的な取組を一丸となって促進	米子製鋼、湯川建設、やまこう建設、日本ハイコン、日立金属、大福工業、平井建設、鳥取県、島根県、鳥取大学、松江高専

10～11月 (新規)	鋳物砂を細骨材として利用したコンクリートの開発に関する研究	5名	鋳物ダストの二次コンクリート製品、再資源材料としての有効利用とその効果の検証を行い商品化に繋げる	日本ハイコン、米子製鋼、松江高専 2社
10～11月 (新規)	廃棄オイルフィルターの有効利用に関する研究	3名	廃オイルフィルターのリサイクルシステムの構築における紙とグリセリンの混合物の燃料化	松原産業、鳥取県産業技術センター (機械素材) 1社
1月～2月 (新規)	機械散布できる海藻特殊肥料の商品化に関する調査研究	3名	中海の海藻を主とし、肥料三大要素を満足し、機械で散布することのできる肥料の商品化を目指す。	(有)米子気缶化学研究所、藤森産業機械株 2社

(注)○蛍光管リサイクルシステムの構築

- ・県内初となる蛍光管リサイクル循環システムを構築した(連携企業7社(内県外企業1社)、研究機関2機関)。

○新規リサイクルビジネス企業10社

法人名	取り組み内容
(株)スリーアール	簡易路盤材(鋳さいりサイクル)
(株)ジーライト	リン吸着材(ガラスリサイクル)
錦海化成工業	飼料(カニガラ、食品残差リサイクル)
日本ハイコン(株)	コンクリート製品開発(鋳さいりサイクル)
ティーアイ環境開発	下層路盤材(鉄鋼スラグ等リサイクル)
高林産業(株)	使用済み紙おむつリサイクル
新和産業(株)	中海の海藻を利用した有機肥料
昭和化学工業	環境浄化材の開発と実用化に関する研究
ワイスペック	銅線端材リサイクル
中部商会	バイオマス資源活用

○事業化、商品化に向けた補助事業の支援(取り組みには、補助事業の支援が不可欠)

- ・リサイクル製品・実用化リサイクル技術製品実用化事業

区分	法人名	実施状況
新規(2件)	(有)錦海化成工業	養魚用魚粉の開発: サンプル作成、効果の確認
	新和産業(株)	中海の海藻を利用した有機肥料: 実証試験中
継続(2件)	(株)中井技研	バイオマス燃料装置の開発: 開発終了、販路開拓
	(株)赤松産業	国産アロマオイルの認知症への臨床応用に関する研究: 鳥取大学による臨床試験の実施

- ・ものづくり事業化応援補助金
(新規(調査型)、継続(事業化型))

区分	法人名	実施状況
新規(2件)	新和産業(株)	評価用サンプル、供試体を作成
	松原産業(有)	先進地視察、調査の実施
継続(2件)	(有)アウトウッド	量産体制に向け検討
	やまこう建設(株)	サンプル作成、経過観察中にある

- ・当財団研究開発事業補助金 5件

○成長・発展産業への支援状況（B-II-1-（2））

支援項目		期日	名称	参加者等	備考	
LED分野	セミナー・研修開催事業	7/5	LEDセミナー ・タイトル：“LEDランプ”と“LED電灯器具”に対する電気用品安全法の規制 ～規制対象/非対象・型式の区分・技術基準などの解説～ ・講師：一般財団法人電気安全環境研究所技術規格部試験技術統括グループ 上参郷 龍哉 氏	81名参加	○セミナーの満足度 ・満足17%, まあまあ満足46%, 普通37%, やや不満足及び、不満足10% ○セミナーの感想、意見等（抜粋） ・技術基準の細部まで説明頂き参考になった ・疑問に感じていた技術基準について理解でき、満足、 ・詳細且つ豊富な説明（法令、技術等）と資料で理解しやすかったです ・PSE認証のための具体事例を示してもらえば、より理解できる。	
		11/26	LEDセミナー ・タイトル：Excel によるLED照明の熱設計～製品性能・寿命・安全性の確保～ ・講師：株式会社 サーマルデザインラボ 代表取締役 国峯尚樹氏	33名参加	アンケート結果（20名）は次のとおり。 ○セミナーの満足度 ・満足35%, まあまあ満足50%, 普通15%, やや不満足及び、不満足10% ○セミナーの感想、意見等（抜粋） ・熱設計の基本手法が理解できた ・実際の電球をモデルにされていてわかりやすかった ・専門的な所でのセミナーであった、今後の開発に役立てたい ・もう少しじっくり教えてくださるとよかったです。	
	マッチング事業	H24/4～H25.3	専門家派遣	4県地域13社に専門家派遣実施	発表展示8社	(鳥取7、島根3、広島2、山口1) 鳥取企業：ライツアドバンステクノロジー、光電気通信システム、トータルテクノ、ジーニア&アーレイ鳥取、三友、片山電機が熱設計、PSE、製品安全の専門家を活用
		H25.1.31	中国地域LED関連産業技術交流会(福山市)			
	販路開拓事業	H25/3/5～3/8	「ライティング・フェア2013」出展（東京ビッグサイト）	鳥取出展企業7社	DS コーポレーション、V・TEC、三友、ライツアドバンステクノロジー、鳥取電子、片山電機、フィアライト ○ライティング・フェア2013 鳥取出展企業のアンケート結果 ・相談（名刺交換・商談説明）982件 ・後日訪問・打合せ等 88件 ・見積り依頼 62件	
機能性食品分野	専門展示会共同出展支援事業	10/3～10/5	「食品開発展2012」出展	鳥取出展企業4社	: カンダ技工、澤井珈琲、鳥取菌興椎茸、鳥取大山ハーブティー開発研究会	

○次世代環境産業創出プロジェクト事業（B-II-1-（3））

分野	実施状況
LED分野	○花き栽培用LED照明器具 ・H23年度実証実験報告会5/14 ・H24年度開発仕様通知6/20 ・開発品納入8/31 ・照射実証実験 ・ストック 9月～12月実施 ・トルギキョウ 11月～3月実施 ・実証実験圃場現場確認 8/31, 10/11, 12/19 ・実証実験報告会 3/19

	<ul style="list-style-type: none"> ○屋外空間演出用LED照明機器 ・事業説明会1/15・公募1/28 ・受託者審査会2/6 ・開発仕様打合せ2/22, 3/7 ・契約締結3月 ・機器開発・試作 2月～6月 ・機器納入6/30・機器設置7月 ・実証開始 7月～H26/3月
再生エネルギー分野	<ul style="list-style-type: none"> ○V・TEC ・DC/ACインバーター仕様決定;9月 ・事業実施進捗協議;7/30 ・同 回路設計;9月 ○スカイ電子 ・コア設計～試作;4～10月 ・特性計測評価;10/30 変更実施 ・コア設計～発電機試作;12月～2月、特性計測評価:3月 ・マイクロ水力発電機搭載実証実験 3/18

○太陽光発電システム施工・維持管理研修事業（B-II-1-（4））

全10講座（受講期間：6月～12月、・受講者：東部会場31名、西部会場21名）

	期日	名称・場所	内容	参加者数	備考
実施 済	6月	講座1, 2・ 鳥取、米子	電気基礎 (太陽電池基礎、系統連系、関係法規)	鳥取：26名、28名、 米子：19名、20名	各会場とも2日間 実施
	7月	講座6・ 鳥取、米子	構造基礎 (関係法令解説)	鳥取：25名、 米子：18名	
	8月	講座7・ 鳥取、米子	構造基礎応用 (構造計算)	鳥取：30名、 米子：14名	8月のみ 2回実施
		講座8・ 倉吉	構造基礎応用 (構造計算その他)	35名	
	9月	講座3, 4・ 鳥取、米子	応用(施工)(関係法規、施工の留意点)、 応用(保守管理)(電気測定基礎)	鳥取：23名、28名、 米子：11名、10名	各会場とも2日間 実施
	10月	講座5・ 鳥取、湯梨浜町	応用(保守管理) (実技、解析)	鳥取：17名 湯梨浜町：15名	西部会場 ：東伯郡湯梨浜町
	11月	講座9・ 倉吉	システム設計	31名	
	12月	講座10・ 倉吉	安全衛生 (労働安全衛生)	22名	

○普及が進む太陽光発電システムについて、適切な施工・維持管理に対応可能な人材を育成し、県内企業の競争力強化を推進（H24年度新規事業、東部会場・西部会場合わせて計52名が受講）

○次世代・地域資源産業育成事業（B-III-2-（1））H24年度交付決定事業

区分	企業名	事業計画名	備考
次世代 産業	(株)鳥取再資源化研究所	再資源化資材によるフッ素吸着材に関する研究開発	
	(株)ジーピーシー研究所	染色体工学技術を駆使した創薬開発支援事業	
	株式会社シャルビー	鳥取県産の美容成分を配合した化粧品シリーズにおける新製品開発と新規販路開拓事業	
	八幡物産株式会社	二十世紀梨果汁加熱濃縮液シロップに含まれる新規成分の機能性評価及びそれを利用した機能性食品の開発	
	おしどり調剤薬局有限会社	大豆おからを利用し乳酸菌培養による健康食品の開発	
地域資源	(株)ビック・ツール	劇的な切れ味と圧倒的な耐久性で、現場が求める「ドリル」の生産販売	
	(株)氷温研究所	ナノ窒素技術および微小氷を用いた新規氷温流通システムの開発並びに販路開拓	
	井上青輝園	大山町産「抹茶」「かぶせ茶」の販路開拓事業	
	(株)大山竹炭工房	孟宗竹の有効利用・高付加価値化製品の販路開拓	
	特定非営利活動法人 琴浦 グルメストリートプロジェクト (中小企業者以外)	地域ブランド「琴浦グルメストリート」を活用した観光資源開発	
	(株)はーと食品鳥取	網代港で水揚げされた鮮度のよいもさえびを使用した“もさえ	

区分	企業名	事業計画名	備考
		びチップ”等を通して「はーと市場」ブランド化事業展開	
	(株)ファイナル	「健康茶の受託製造&販売メーカー」ファイナルの国内外PRによる販路開拓拡大	
	(有)一糸	智頭杉を活用した山川式文字彫刻商品等の販路開拓	
	(有)佐々木山光園	「梨&ベジタブル・カレー」「王秋ジェラート」の新商品開発と東アジア等への販路開拓	
	(株)サカモト	智頭杉を活かした安心と美の玄関空間を演出する再生エネを取り入れたLED組み込み自立電源システム対応インテリア製品の開発と販路開拓	
	NPO 法人就労支援センター 和貴の郷 (中小企業者以外)	鳥取県の水産資源を活かした「とっとり 酒のあてセット」の開発・首都圏への販路開拓	
	鳥取電子株式会社	ソーラー一体型全天候LED照明防犯灯タイプの開発及び販路開拓	
	株式会社バルコス	皮革製品の製品化技術を活用した「バルコス」製品の国内外PRによる販路開拓	
	丸京製菓株式会社	氷温技術を利用した「丸京どらやき」の国内外販路開拓	
	中浦食品株式会社	水産資源「いか」を独自技術で製造した「するめ糍漬」等の高付加価値化へ向けたブランド商品戦略とOEM供給メーカーとしての販路開拓事業	

○農商工連携促進ファンド事業 (B-IV-1- (1)) H24 年度交付決定事業 H24. 4. 1~H25. 3. 31

事業名	リーダー	金額	備考
らっきょう植付けにおける機械及び装置の開発	鳥取いなば農業協同組合	6,000	
本マグロ日本一境港発! マグロ魚醤プロジェクト	株式会社丸綜	2,181	
境港産の紅ズワイガニを活用したカニ焼酎と、カニの平麺 (一反猛麺) の開発	株式会社千年王国	2,849	
鳥取のフルーツと京菓子職人の技の融合による“ザ・ジャパン・スイーツ”の開発と海外進出	有限会社一善や	5,997	
温め効果で冷え知らず!! 鳥取県産のショウガいっぱい・ミネラルいっぱい健康美人シリーズ販路開拓事業	有限会社静間	4,262	
手軽に健康! “ボトルタイプ”なた豆茶の開発・販路開拓	NPO和貴の郷	2,313	
健康で笑顔が生まれる家創り~ゼロエネルギー等に対応した鳥取県の山の木で創る家~	小椋設計事務所	2,427	
合計(7件)		26,029	

○専門人材育成研修講座の開催状況 (D-I-1- (2))

人材育成コーディネーターを配置し、人材育成講座を実施してバイオ人材の養成を図った。

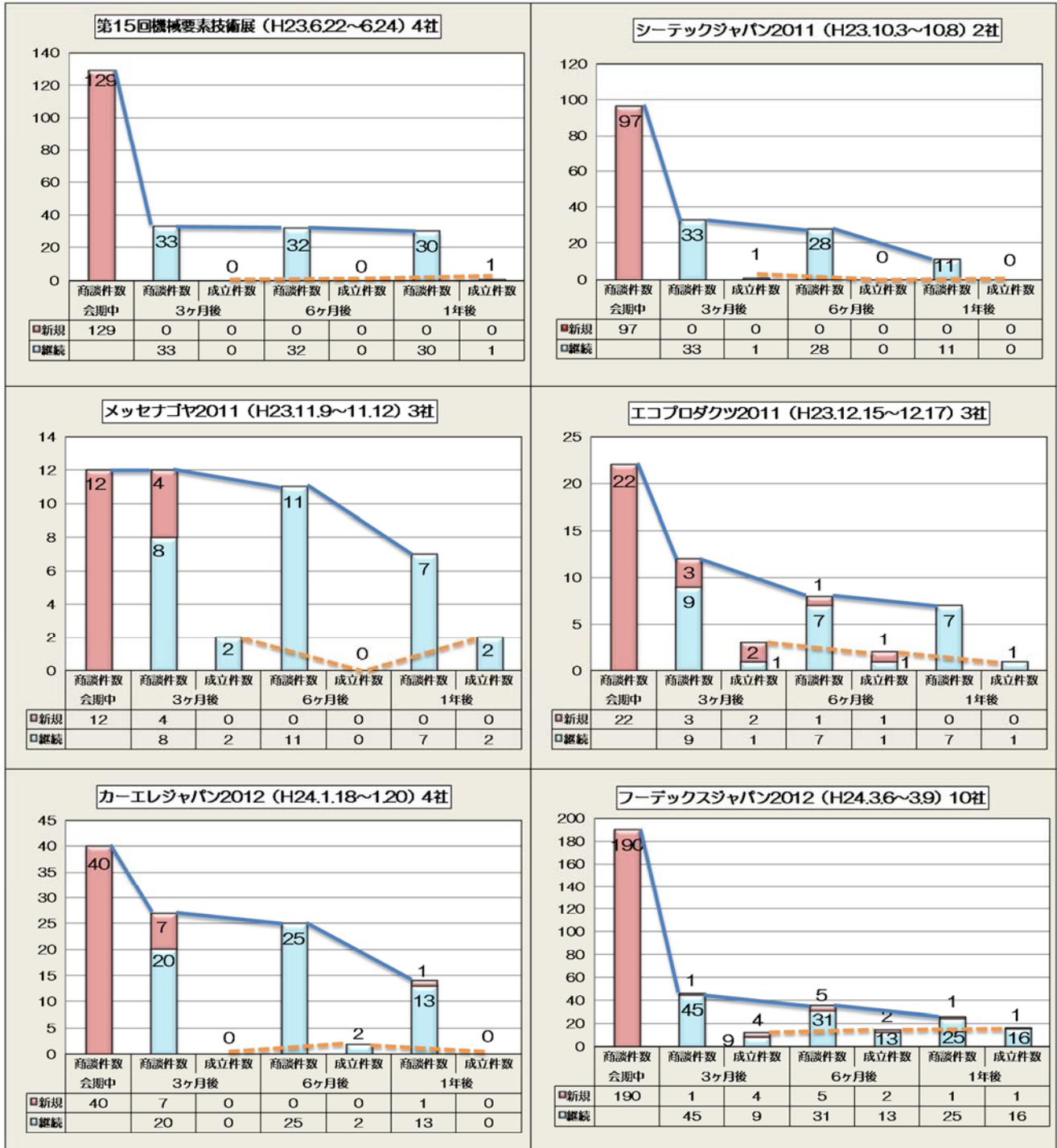
講座名	期日	受講者数
創薬塾	6/8	16名
	6/9	6名
毒性勉強会	6/29	32名
バイオフィロンティアってなあに	7/21	14名
染色体工学講座	8/8・9	13名
バイオベンチャー起業化のための人材育成講座	8/25	12名
	9/8	7名
バイオビジネス戦略入門	9/1	14名
	9/15	14名
東レ マイクロアレイセミナー	8/28	21名
バイオベンチャー講座	10/6	8名
共焦点顕微鏡セミナー	11/7	14名
食品・医薬品・化学物質の毒性勉強会	11/27	29名
研究開発戦略セミナー	11/30	25名
	12/1	7名
実験動物技術講座	12/13・14	8名

○石油製品需給適正化調査等事業研究開発の実施・進捗状況（D-I-2-（1））

テーマ名(研究内容)	研究実績
①染色体工学技術を活用した肝毒性及び腎毒性評価系の開発(機構、鳥大、岡大)	
<p>○中間目標</p> <p>反復投与毒性の invitro 試験に関する知見・ノウハウの整備及び標的臓器 invitro 試験法の開発</p> <p>～臓器中と培養細胞環境(試験系)とで細胞の挙動(特に遺伝子の発現)にどのような要因でどのような差異が生ずるのかを解析し、細胞試験に最適な培養環境、試験結果の補正方法等を確立するとともに、主要臓器(肝臓、腎臓)に関する細胞試験系を立案する。</p>	<p>a 選定した毒性評価用マーカーが、マウスを用いた毒性試験で機能していることを病理解析で確認</p> <p>b 選定したマーカー遺伝子の構造を分析し、レポーター遺伝子作製に必要なプロモーター領域を決定し、肝毒性モニター用レポーター遺伝子、腎毒性モニター用レポーター遺伝子を作製</p> <p>c 人工染色体ベクターに効率よく複数の遺伝子を導入する「マルチインテグレーションシステム」を用いて内部標準評価レポーター遺伝子及び肝毒性モニター用レポーター遺伝子をマウスES細胞のヒト染色体(HAC)ベクターに導入、発生工学技術を用いてこのES細胞から内部標準評価レポーター遺伝子が導入されたマウスの作製に成功</p>
②神経毒性物質評価のための高精度Invitro試験法の開発(住友化学)	
<p>○中間目標</p> <p>神経毒性に関するin vitro試験法の開発</p> <p>～神経毒性評価に重要な各種神経細胞の分化誘導法を確立する。</p> <p>また、分化した神経細胞と既知の神経毒性物質を利用して、神経細胞等の形態及び機能を指標に、各種毒性物質を分類する評価法を整備する。遺伝子解析等を行い、神経毒性の評価に有効なマーカー遺伝子を見いだす。</p>	<p>a 平成23年度に最適化したマウスES細胞から大脳神経細胞への分化誘導技術により作製した神経毒性評価用神経細胞の性状解析を実施し、毒性ターゲットと関連する各種レセプター(受容体)のmRNAの発現を確認</p> <p>b 神経の形態変化と相関して変動する新規神経毒性マーカー探索を開始</p>
③複数の invitro 試験を迅速かつ効果的に実施可能な HTP 試験システムの開発(産総研)	
<p>○中間目標</p> <p>複数の invitro 試験を迅速かつ効果的に実施可能な HTP 試験システム(少量で高速かつ効率的に安全性のスクリーニング)の開発</p> <p>～各種 invitro 試験を個別に実施した場合のコストの1/10以下のコストで試験が実施できる試験システムが満たすべき条件・性能を明確化し、試験システムの詳細設計を行う。</p>	<p>a MI-MAC (マルチインテグレーションマウス人工染色体)ベクターへのレポーター遺伝子の挿入により、クローン間のばらつきをきわめて小さい均一な細胞集団が従来の樹立方法と比較し簡便かつ短期間で樹立できることを解明</p> <p>b これらの細胞発光強度は、従来法で樹立した細胞より顕著に高いこと、長期間の培養による経時的な発現の消失が起きず、長期間安定的に発光することも解明</p>
④ヒトの代謝機能を導入した invitro 試験法の開発(食薬センター)	
<p>○中間目標</p> <p>ヒトの代謝機能を導入した試験法の開発</p> <p>～試験細胞に導入すべき代謝機能の範囲・導入方法、代謝機能発現状態の確認方法を細胞試験法ごとに立案する。</p>	<p>a Invitro 試験法の開発に必要な動物個体からの初代肝臓細胞を培養するための方法を検討</p> <p>b また、 invitro 試験系へのヒト代謝機能の導入についても検討を進めたが、科学的にきわめて難しい状況のデータを出し、これから先の状況判断を明確にした。</p>

平成23年度出展分 専門展示会出展後のフォロー状況（平成25年3月31日現在）

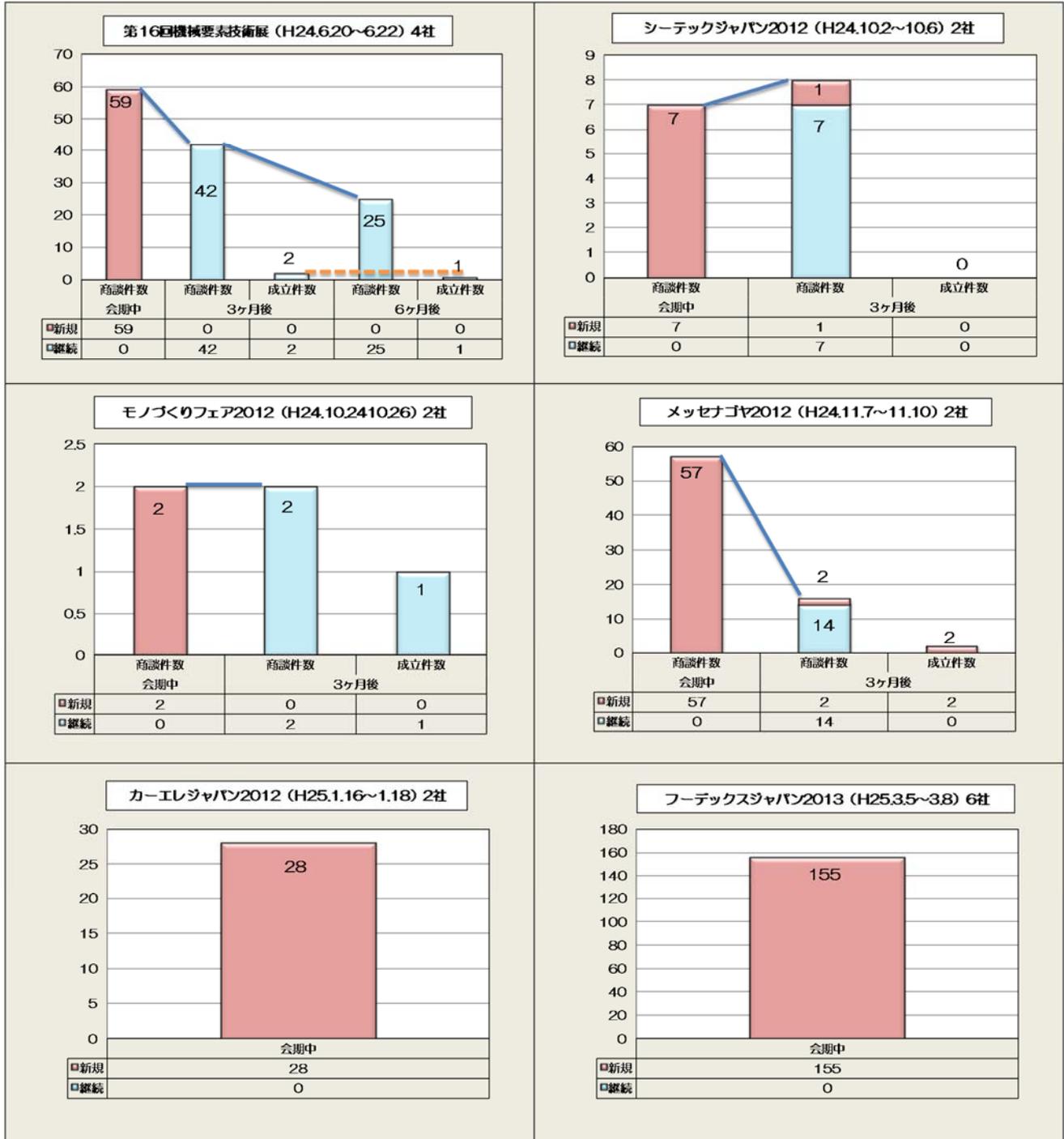
新規案件 継続案件 商談件数推移 成立件数推移



- フーデックス（食品商談会）はモノづくり系とは違い商談成立までが速く、金額も1件100万以上と高額なものが多い。
- メッセナゴヤ、エコプロ（商品・完成品を出展する展示会）では、3ヶ月後から1年後ぐらいが成立しやすい。
- 機械要素、シーテック、カーエレ（モノづくり系・部品が中心となる展示会）では出展してから成立するまでに3ヶ月から半年ぐらいかかり、場合によっては1年経って成立する。

平成24年度出展分 専門展示会出展後のフォロー状況（平成25年3月31日現在）

新規案件 継続案件 商談件数推移 成立件数推移



- 機械要素技術展は、会期中に成立した案件が6カ月後にも継続取引となっている。
- シーテックは会期から3ヶ月経過したが商談成立なし。電子部品は半年後に成立する案件もあるので、継続的なフォローをしていく。
- メッセナゴヤは、デンソー展示商談会でつながりができた方にご紹介頂いたり、ヨットハーバーに提案するなど、商談の期待ができる案件が多い。
- カーエレは、会期中の商談成立はなかったが、今後も継続的なフォローをして成立につなげていく。